



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

GUIDE BOOK 2022



酪農学園大学
公式サイト

contents

- 3 47都道府県から「夢」が集まる大学
- 7 酪農学園大学で学ぶことであなたの好きをかたちにできる理由
- 13 高校生の「好き」がかたちになります
- 27 建学の精神
- 28 学長メッセージ
- 29 教育基本方針
- 31 学群・学類紹介
- 33 基盤教育



35
農食環境学群
循環農学類



45
農食環境学群
食と健康学類



55
農食環境学群
環境共生学類



67
獣医学群
獣医学類



75
獣医学群
獣医保健看護学類

- 83 国際交流
- 84 地域・企業連携
- 85 酪農学園大学大学院
- 86 酪農学園大学で教員を目指す
- 87 キャリアサポート
- 88 [Campus Life]
キャンパス
部活動 クラブ・サークル
暮らし
- 95 オープンキャンパス
- 97 キャンパスマップ

大学って、何をするとところだろう？
みんなが行くから、行くところ？
就職のための通過点？

自分の「好き」を
かたちにするとところ

私たち酪農学園大学は、そう考えています。
それを次の5学類で追求し、日々実践しています。

- 「永続性のあるバランスの取れた農業」を目指す 循環農学類
- 「食のスペシャリストと管理栄養士」を目指す 食と健康学類
- 「環境と調和・共生する社会」を目指す 環境共生学類
- 「臨床から先端研究までを視野に入れた獣医師」を目指す 獣医学類
- 「高度化する獣医療をサポートするスペシャリスト」を目指す 獣医保健看護学類

人間は好きなことに打ち込む時に、全力を傾けて努力します。
そして目標を達成した時に、深い喜びを感じます。
あなたが自分の「好き」に打ち込んで、
人格の形成という「かたち」に結びつけ
人生を切り開いていくことを
酪農学園大学のすべての教職員は全力で応援します。

北の大やで
「好き」を
かたちに





山本 胡桃さん
 ■獣医学類4年
 ●北海道札幌市 / 北海道札幌啓成高校出身

理想の
 獣医師になって
 全ての動物に愛を



中村 真子さん
 ■食と健康学類3年
 ●神奈川県 / アレセイア湘南高校出身

広い大地で学び
 多くの経験を
 したい



塚原 渉さん
 ■獣医学類5年
 ●東京都 / 東邦大学付属東邦高校出身

頼られる
 獣医師になる



三浦 雅子さん
 ■獣医保健看護学類4年
 ●北海道札幌市 / 北海道札幌啓成高校出身

高度医療と
 救命救急を提供できる
 動物看護師に
 になりたい



高岡 奈央さん
 ■獣医保健看護学類2年
 ●神奈川県 / 上清南高校出身

人として
 動物看護師として
 輝く人になりたい



宮田 瑛さん
 ■環境共生学類2年
 ●東京都 / 相模女子大学高等部出身

野生動物と人が
 共生できる環境を
 つくりたい



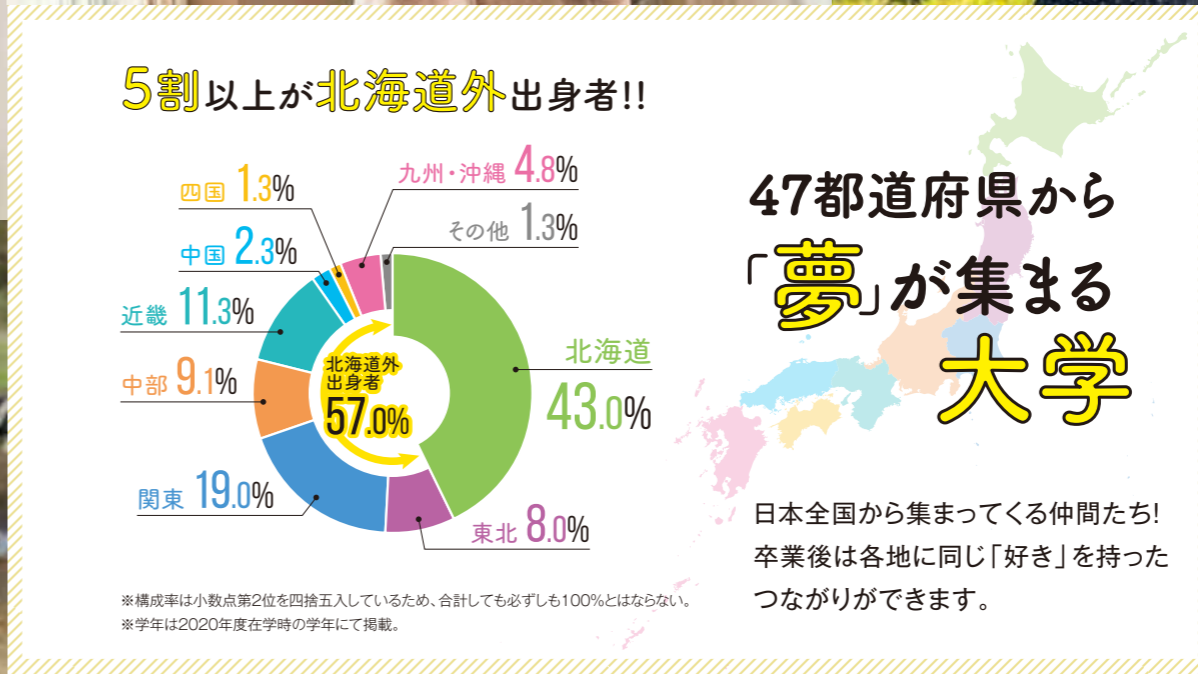
池上 はるかさん
 ■獣医学類5年
 ●東京都 / 日本大学鶴ヶ丘高校出身

農家さんに
 寄り添った
 獣医になりたい



佐々木 殉子さん
 ■循環農学類4年
 ●宮城県 / 宮城県古川黎明高校出身

地元の酪農を
 支えたい



47都道府県から 「夢」が集まる 大学

日本全国から集まってくる仲間たち!
 卒業後は各地に同じ「好き」を持った
 つながりができます。



山崎 裕夢さん
 ■食と健康学類3年
 ●北海道湧別町 / 北海道湧別高校出身

自分がつくった
 食品を通じて
 人を笑顔にしたい



笠原 真優さん
 ■獣医保健看護学類4年
 ●千葉県 / 国府台女子学院高等部出身

牛のことなら
 何でも分かる
 動物看護師に
 になりたい



山田 姫慧さん
 ■循環農学類3年
 ●青森県 / 名久井農業高校出身

日本の食を
 支える
 獣医になりたい



農業を通して
 成長し続ける
 農業教員に
 になりたい



釜石 憲人さん
 ■食と健康学類3年
 ●岩手県 / 盛岡農業高校出身

肉醬の
 製造研究が
 したい



福角 百華さん
 ■環境共生学類4年
 ●宮城県 / 宮城県白石高校出身

豊かな水環境と
 人の暮らしが
 共生する社会に
 したい



堀 純名さん
 ■食と健康学類
 (管理栄養士コース)4年
 ●北海道札幌市 / 北海道札幌啓成高校出身

生産者と近い
 栄養士に
 になりたい



上村 実優さん
 ■循環農学類2年
 ●鹿児島県 / 市来農業高校出身

大好きな牛と
 向き合える人で
 ありたい



井 健太郎さん
 ■循環農学類3年
 ●熊本県 / 菊池農業高校出身

実家の畜産業を
 継ぎたい



丹羽 雄大さん
 ■獣医保健看護学類2年
 ●大阪府 / 機の木高校出身

家畜人工受精師を
 始めとした
 人と動物をつなげる
 仕事に就きたい



大枝 夏希さん
 ■獣医学類3年
 ●奈良県 / 畝傍高校出身

人と動物が
 共に幸せな世界を
 つくる獣医師に



田宮 滉太さん
 ■環境共生学類3年
 ●北海道新得町 / 北海道帯広三条高校出身

UAVを用いて
 北海道の農業を
 支えたい



原田 泰雅さん
 ■環境共生学類4年
 ●北海道札幌市 / 札幌藻岩高校出身

人と野生動物が
 共存する
 未来を目指す



本場・北海道での体験があなたを変える

実践酪農学実習

学外の酪農場で数カ月の長期実習を行う実践的な学習。酪農場現場で受け入れ農家から学ぶ実習と、学内での講義（座学）を交互に行うことにより、現場の実際をより深く理解し、即戦力の人材を育成することを目的とする。学外の農家で10日程度の実習を繰り返して行う実践的な学習。畑作、特に施設園芸農家を対象に、現場の実際を体験的に学ぶ、即戦力のある人材を育成することを目的とする。

はまなか 浜中町

実習で本当の知識が身に付きました

循環農学類 2年
窪田 菜月さん
福岡県 / 九州国際大学付属高校出身

入学案内に実習のカリキュラムがたくさんあったのが、入学の動機です。1年次では広く農業全体のことや酪農を知り、2年次でよいよ実習に。4カ月間の現場の体験は、とても楽しいものでした。実習先では朝4時に起床し、4時半から牛舎の仕事。搾乳の準備や搾乳をし、牛を放牧に出します。その後子牛の給餌などをを行い、10時に終了。昼休みを経て、午後は2時半に放牧から戻ってきた牛を牛舎に入れます。搾乳と牛舎の掃除が終わるのが、7時頃。就寝前にレポートの準備として、作業の内容や気づいたことをノートに書きました。夕食の時に実習先の皆さんの話を聞くことが、九州出身の私には北海道での生活を知るいい時間でした。



私は非農家出身で、酪農のことは一切知りませんでした。実習に入ってみて、「講義で学んだことは、実際にはこんなことだったのか!」と驚きの連続。いい意味で、知識とのギャップが大きかったですね。実際に学べたり身に付いた感じがします。将来の目標は模索中ですが、学生生活の中で自分の得意と不得意を見極めながら、少しずつ得意なところを見つけていけたら良いと思っています。本学の先生はみんなとても学生思いです。迷っていることがあれば、緊張するかもしれませんが、思い切って先生に聞いてみると目の前が明るくなりますよ。「挑戦したい、やってみよう」と思ったら、積極的に先生に相談して、実習やフィールドワークに参加すると良いと思います。

はまなか 浜中町

将来の夢は新規就農。実習で牛を見る目が身に付く

循環農学類 4年
笹嶋 由衣さん
北海道苫小牧市 / 更別農業高校出身

私は高校の酪農実習や授業を通して、将来酪農に携わる仕事がしたいと思い、入学しました。最初は家畜人工授精師など酪農の現場で役立つ資格を取れるのが良いと思っていましたが、講義中心の学習から実践をイメージするのが苦手なので



不安になり、いろいろ迷っているときに実践酪農学実習を知りました。楽しそうと思い、2、3年次に各4カ月間の実習に行きました。毎日牛とかかわる中で、発情期や体調の良しあし、飼料をしっかりと食べているかなど、意識的に牛の観察をしながら、搾乳や掃除などの作業をしました。そうすることで、牛を見る力が少しずつ身に付いたと思います。将来は新規就農をしたいと思っています。本学は動物が好きなお人にも、とても楽しい大学です。

あしよろ 足寄町

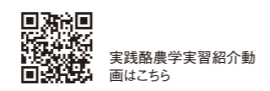
農業改良普及員として農家さんを支えたい

循環農学類 4年
芦澤 弘基さん
山梨県 / 市川高校出身

私は大学パンフレットで実践酪農学実習を知り、長期の実習もたくさん経験できると思い、入学しました。1年次で酪農の基礎や牛の生態などを学びましたが、なかなか頭に入ってきませんでした。しかし2年次、3年次と4カ月間の実習に行ったことで、理解できるようになりました。教科書や授業ではイメージが難しかったことが、現場での経験で分かるようになったのです。経営方針の違う2カ所の牧場で実習させてもらったことで、いろいろな経営のやり方があることも学べました。また、コミュニケーション能力も付いたと思います。卒業後は農業改良普及員になって、農家さんの支えになりたいと思っています。実践酪農学実習は長期間で、知識や経験を得ることができて充実するので、本学に入ってぜひ履修してほしいですね。



P7~12で紹介している実習先
※市町村名の後ろの()内の距離は本学から各市町村役場までの距離です。



酪農学園大学で学ぶことで
あなたの好きをかたちにできる理由



北海道の大自然が

あなたを成長させるキャンパス

えんがる 遠軽町
ゆうべつ 湧別町
さるま 佐呂間町

獣医学群 獣医学類
病院実習専修コース(オホーツク)、
生産動物医療クリニカルローテーション

獣医学類
生産動物内科学ユニット
田島 誉士 教授



獣医学類学外実習紹介動画はこちら

本学は札幌圏に位置し、広大なキャンパスを有しているもの大都市近郊であるがゆえに、近隣の畜産農家は減少の途をたどっています。実学教育を旨とする本学では、立派な



聴診

「牛の獣医さん」を育てるために、実際の診療に参加する臨床実習を重視しています。しかし、大学が立地する環境は、多くの学生のニーズに応え続けるのに十分とはいえません。そこで本学から約200kmほど離れたオホーツク海側の遠軽町に、「酪農学園大学えんゆ



獣医学類の5年生

爪の管理(削蹄)



獣医学類の5年生

整形外科処置

う研修センター」を設け、そこに宿泊して現地で実習が行える体制を整えています。この地域は、畜産動物の数もそれに携わる人々も、さらにはそれらに関連する産業に従事する方々も、大学近郊より大きな規模で活動しています。また、獣医学類では、遠軽町、湧別町、佐呂間町にあるオホーツク農業共済組合の家畜診療所を活用して、生産獣医療に携わる獣医師とともに日常診療に参加するという診療実習を実施しています。大学で習得した臨床基礎技術や疾病関連知識を、実際の現場で、経験豊富な臨床獣医師とともに、応用する術を経験します。



手術補助

獣医学類の5年生



子牛の診療中

獣医学類の5年生

えんがる 遠軽町
ゆうべつ 湧別町
さるま 佐呂間町

獣医学群 獣医学類
総合臨床実習B

獣医学類
動物医療学ユニット
菅野 美樹夫 教授

獣医学保健看護学類は、日々発展していく獣医臨床の現場で、チーム獣医療を担うことができる高い知識と技術をもった「動物看護師」を養成することを目標に、2011年4月に獣医学群に新設されました。このような中、この臨床実習では、4年次に開講され、学生が将来の職業を見据えて学ぶことのできる実践的な実習と位置付けています。

オホーツク地域は、北海道でも有数の酪農地帯です。大規模酪農家も多く存在しています。このような地域に向き、家畜に触れ、生産者とコミュニケーションを取り、獣医師へのアシストなど動物看護師としての素養を身に付けます。まさに獣医療の現場に身を置き、「チーム獣医療」の一員として対応する感覚を養える実践的実習と言えます。学内の講義や実習には無い緊張感や、往診依頼された牛の刻々と変わる病態に対応すべくスピード感が身に付きます。人工授精業務においては、

獣医学保健看護学類の4年生



獣医学保健看護学類学外実習紹介動画はこちら



牛の手術工程についてメモをとる



獣医学保健看護学類の4年生

家畜人工授精師

直腸検査



点滴の管理を学ぶ

的確に発情適期を見つける手段を生産者やベテラン家畜人工授精師から学ぶことができます。これからの実学を推進する上で重要な基盤である地域の家畜診療所や生産農場と連携して動物看護学教育を進めていきます。



人工授精業務の見学

えんぶ 恵庭市

獣医学群 獣医学類
生産動物医療学アドバンスドコース、
生産動物医療クリニカルローテーションおよび
酪農学園大学附属動物医療センター 通常診療

獣医学類
生産動物内科学ユニット
安藤 達哉 准教授

毎朝7時。酪農学園大学附属動物医療センターでは、生産動物医療分野に所属する学生たちによる入院および提供畜への診療活動が始まります。患者の温かみ、息遣い、食欲や活気そして昨日とは違う声なき訴えを感じ取る心の対話は真剣です。そして、「製品を消費者に届ける生産者とその原料をつくり出す牛たちが居る臨床現場でもっと痺れる勉強がしたい」の思いを叶えるために舞台は生産農場へ移ります。

置、乳房炎、周産期病、そして子牛の呼吸器疾患などへの予防対策と、受け持つ業務は多岐にわたり、所属する学生は練習ではない真剣勝負に日々挑みます。診る、聴く、触る。直腸尿、乳汁、血液そして糞便検査。超音波やレントゲンを使用した診断と治療。学生は現場の獣医療に触れながら獣医師とはどうあるべきかを体感します。第八感まで研ぎ澄ます貴重な時間と日々向き合い、生命の前に学びの終わりはありません。

医療センターでは、2018年度春から恵庭市において酪農業(経産牛頭数120頭、育成牛頭数100頭)を営む生産農場での、すべての獣医療業務を請け負う試みを開始しました。人工授精、受精卵移植および定期繁殖検診、疾病牛への処診療や外科的手術および蹄病等への処



安藤准教授

先生より検査方法について学ぶ



直腸検査

獣医学類の5年生

酪農学園大学で学ぶことで
あなたの好きをかたちにできる理由

環境共生学類



湿原で自動撮影カメラの設置

はまなか
浜中町

農食環境学群 環境共生学類
生物多様性保全研究室のフィールドワーク

生物多様性保全研究室
立木 靖之 准教授

みなさんは、北海道のごくまでも続く森林や湿原の中を歩いてみたいと思いませんか？ またそこに生息する野生動物と自然が見せる感動的な風景を見てみたいと思いませんか？ 北海道は日本最大の土地面積を有し、最も多くの自然公園、独特の景観と生態系があります。北海道は自然環境の保全を学ぶ場所としてこれ以上ないフィールドと言えるでしょう。

一方、地球規模の気象変動や温暖化、野生動物と人の軋轢などさまざまな脅威によって地域の生物多様性が失われています。これらの諸問題は、本学の環境共生学類で専門的に学ぶことができますが、私の担当する「生物多様性保全研究室」では、野生動物や森林などの地域の生物多様性と人間との境界線に発生する諸問題の解決を目指し、両者が共存できる方法を探るための研究や調査を行っています。そのため、私の研究室では野生動物と人が接する最前線での野外調査のみならず、人の考え方や歴史にも注目するような社会的なことにも注目して研究を行っています。

野外調査（フィールドワーク）はチームで行います。お互いに励まし合って目的を達成するというプロセスを通して、将来環境分野に就職しても、全く違う分野に就職しても、必ず役立つ基礎的な人間力を身に付けることができます。この大きな空の下に広がるフィールドと一緒に学んでみませんか。

1・2 高台からの定点観測 / 3・7 湿原植生のシカ被害調査のための柵を設置 / 4・5・6 市街地に出没するシカの観察



うらほろ
浦幌町

農食環境学群 環境共生学類
野生動物生態学研究室のフィールドワーク

野生動物生態学研究室
佐藤 喜和 教授



ヒグマの爪あと



定点カメラ設置

北海道の豊かな自然を象徴する野生動物、ヒグマ。最大で400kgを超える大型哺乳類が、今日もこの北の大地で悠々と暮らしています。一方で、農地に出没して作物を荒らしたり、市街地に出没して住民の安全を脅かしたり、稀に人身事故を起こしたりするの事実です。後世までヒグマが暮らしていける環境を守りつつ、人の暮らしとのトラブルを減らすため、専門的な知識と技術を持つ人材が求められています。

そうした知識や技術を身に付けるには、キャンパス内の座学や実習だけでなく、ヒグマの暮らしを森を地形図とコンパスを片手に歩き、野生動物の痕跡を見分け、生態や動向を調査する経験が欠かせません。私たちは北海道十勝地方の浦幌町を調査研究拠点に、3年次から4年次にかけて各自がテーマを設定して卒業研究に挑みます。クマの生態や行動や個体群動態、森林や人の営みとの関係、そして人との共生に向けた課題の解決など、テーマは多岐にわたります。得られた成果は、大学内だけでなく、報告会などを通じて地域にも還元します。豊富なフィールドワークを通じて、野生動物の問題とその解決は人の課題であることを実感しながら、問題解決に貢献できる人材になるための一歩を踏み出します。

しべちゅ
標茶町

農食環境学群 環境共生学類
環境地球化学研究室のフィールド観測（釧路湿原）

環境地球化学研究室
吉田 磨 教授

豊かな自然と、人の生活を守るため私の研究室では、地球規模で物事を考えつ

つ、地域に根差した活動をしています。環境の急激な変化と生物多様性の喪失は大きな課題です。環境変化の原因は何か、どうすれば元の自然の姿に戻せるのか、そんな研究を「環境のお医者さん」になって解き明かしていきます。

自然環境保全と持続可能な産業の共生を目指して、北海道のさまざまな研究フィールドで教育を展開しています。



シラルトロ湖でのフィールド観測



フィールド観測紹介動画はこちら

TOPICS

他大学でも
学ぶことができる！

札幌圏大学・
短期大学間
単位互換協定
(Green Campus)

札幌圏の大学・短期大学間の交流と協力を促進し、幅広い学修機会の提供と一層の教育内容の充実を図るために、道内私立大学・短期大学間の協定としては最大規模となる単位互換協定が2002年4月より実施されています。発足時は本学を含めた4大学・2短期大学でスタートしましたが、現在は11大学・3短期大学（酪農学園大学、北翔大学、北翔大学短期大学部、札幌学院大学、北星学園大学、北星学園大学短期大学部、札幌大学、札幌国際大学、札幌国際大学短期大学部、東海大学、藤女子大学、北海道科学大学、北海道情報大学、北海道文教大学）間で実施されています。

高校生の「好き」がかたちになります



高校生の私



3軸センサー



農食環境学群
循環農学類
家畜繁殖学研究室4年
山岡 佳代さん
北海道標茶町 / 釧路北陽高校出身

01 苦手な勉強が面白くなり、研究職へ

農食環境学群
循環農学類

私の母は動物看護師です。高校生の時、勤め先の動物病院によく遊びに行き、その獣医さん(本学出身の女性)によく話を聞きました。クールでかっこいいなあ、私も動物が好きだからなりたいたいけど、獣医学部は難しい。その獣医さんが家畜人工授精師というものがあると教えてくれたので、本学に入学。その目的のためなら堂地先生の研究室がいいと知り、3年次に所属しました。ここには家畜人工授精師を目指す人のほか酪農家の後継者などがおり、みんな熱心に自分の将来に向かっていきます。非農家出身の私には、さまざまな知識と経験を身に付けられた場所であり、家畜人工授精師の試験にも無事合格しました。サークルには入っていませんが、雑貨店で接客のアルバイト

をし、セミ活動の環として学内の肉牛農場で牛の世話もしています。時間がいくらかあっても足りないほど忙しいので、自己管理能力も高まったと思います。卒論のテーマは、ある企業との共同研究による分娩を予測する装置の研究です。妊娠している牛に装置(3軸センサー)を付けてデータをとり、それを分析して、いつ出産するかを予測するのですが、牛の個体差が大きく、苦勞の連続です。2年次の授業でホルモンに興味を持ち、その勉強を専門的に続けてきました。もともと勉強には苦手意識がありました。が、好きになると熱中して打ち込めるようになりまし

た。本学の先生方はオープンなので、私はほかに動物生殖工学研究室と家畜生産改良学研究室の2つの研究室に入らせて研究することができました。家畜人工授精師の資格を取りましたが、「研究職の道もある」という先生のアドバイスに従って就職活動をした結果、就職先は北海道立総合研究機構(道総研)の研究員に決定。卒業後は豚か牛の研究をすることにします。漠然と動物や酪農に携わりたいたいと思っけていても、在学中にやりたいものがきつて見つかると、それが本学の魅力です。

「農業が好きだからやってみたい」
「牛や馬が好きでいっしょに暮らしたい」
「自然が好きで森の中で勉強したい」
「チーズが好きだからつくりたい」
「子どもの頃から好きな動物を救いたい」

高校生の「好き」がかたちになります



好きなこと、やりたいことがあるのは素晴らしいこと。酪農学園大学は、ここでしかできない学びの宝庫です。

リケジョもノケジョもたくさんいます。

同じ「好き」を持った人たちと「やりたいこと」にどっぷり浸かってみるときっとあなたの「なりたい」がつかめます。



高校生の私



農食環境学群
環境共生学類
生物多様性保全研究室 4年
高原 実那子さん
東京都 / 学習院女子高等科出身



03 チャレンジしたいことに 応えてくれる大学

農食環境学群
環境共生学類

私は東京のセミナーと北海道のオープンキャンパスに行き、一目ぼれして、入学しました。最初はアクティブレジャーのような仕事がかかったのですが、マレーシアから来た留学生との国際交流サークル「スカレラ」に入ったことで、海外の環境問題に目覚めました。本学の奨学金を受けて、1年次で内モンゴル、2年次でマレーシアへ実習・調査に。砂漠化が進む内モンゴルの実態を見て、遊牧生活が環境に適合していることを知り、マレーシアでは現地で環境保全活動をしているNGOのネイチャーツアーや保護活動に参加しました。

3年次ではSATOYAMAUMIプロジェクトでカンボジアに1カ月行き、子ども

たちに環境保全のやり方を教えるワークショップを開催。自分で英語の教材を作り、それを現地語に翻訳してもらって、紙芝居などで説明しました。苦労も多かったけれど、とてもいい経験でした。交換実習で、台湾の台南にある大学でも勉強できました。活動的だと思われませんが、自ら行動して、実感として納得できることを積み重ねることで、たくましくなったと思います。卒論は札幌の手稲にある鉱山跡地周辺の森林調査です。人が住まなくなった集落が自然に戻っていくプロセスを調べています。

本学では先生と学生の関係がオープンで、やりたいことを伝えると、いいアドバイスがいただけます。また先生、学生の枠にとらわ

れずに意見交換ができます。研究室は相互にゆるやかなつながりがあり、他の教室に入りやすいのも魅力です。これまでの自分から変わりたい、いろいろなことにチャレンジしたいと思った時に、応えてくれる大学です。また、実感や直感を実践的に確かめる現場感覚をとっても大事にしている大学でもあります。卒業後、北海道大学の大学院農学研究科に進学しますが、本学は私の人生を変えてくれた学びの場です。

02 自分たちの殻を破る ことができました

農食環境学群
食と健康学類



2人は3年間、1つのテーマを追いかけてきました。それは地元江別の特産品、プロッコリーを素材とした新商品の開発。2人のプロジェクトは、着実に実を結んでいます。

山口 1年次の基礎ゼミで商品開発をしたのがきっかけです。江別の農産物がテーマで、選んだのがプロッコリー。基礎ゼミではドレッシングを作りました。でも、それで終わるのはもったいなくて、商品化したいなど。

小岡 先生に相談し、イタリヤンの「nodò」さんを紹介していただきました。2年次の後期からそのシェフにご協力をいただいています。シェフは私たちの試作品を試食しただけで、製造工程が分かっってしまう。プロのすごさを感じます。

山口 試行錯誤の末、牛乳を入れたクリームーナドレッシングに落ち着きました。ベーコン、黒コショウなども使い、パン、野菜、パスタに絡めてもいいんです。ディップに近い感じになり、最終的には瓶詰にして売りたいと思っています。

小岡 ビザ生地にプロッコリーと蒸し鶏をほさみ、このドレッシングで味付けしたサンドイッチも企画しました。学内で試食販売し、アンケートを取ったので、それも参考にして4年次で商品化するのが目標です。

山口 大学では「nodò」さんやアコース

ティック音楽のサークルで、社会人とかかわりもでき、刺激を受けています。演奏旅行で沖縄にも行きました。やりたいことを全力でやって、自分の殻を破れた気がします。

小岡 私は吹奏楽部で他大学の人も仲良くなりました。先生方は他のゼミの先生も含めて、色々相談に乗ってくれます。本学で学んで、のびのびと自分の個性を出していいたとわかりました。

山口 卒業後は農家の生産物を加工して全国に売るような、六次産業の仕事に就きたいですね。

小岡 私も北海道の魅力を食べ伝えられるような、一次産業の加工やマーケティングがしたい。農業や六次産業、地域起こしに興味のある人にとって、本学は可能性の宝庫だと思います。



農食環境学群
食と健康学類
マーケティング研究室 3年
小岡 美紗代さん
北海道札幌市 / 札幌丘珠高校出身



高校生の私

農食環境学群
食と健康学類
マーケティング研究室 3年
山口 雛さん
北海道札幌市 / 石狩南高校出身



高校生の私





高校生の私



獣医学群
獣医保健看護学類
動物集中管理研究室 4年
台丸谷 希美さん
北海道稚内市/
北海高校出身



獣医学群
獣医保健看護学類

05 自分の目と手で確かめる 研究の醍醐味を知りました

私が子供の頃貰い受けた犬は人見知りをし、何も食べずにいました。接するうちに心を開いてくれたので、「犬はいろいろ考えているんだ」と感じ、それを知りたくなったのが入学のきっかけです。本学では「幸せなしほ」という動物ボランティアの運営メンバーの一人になりました。ここではベットの譲渡会などのイベント開催や、2018年9月の胆振東部地震後のベットの捜索や譲渡に参加しています。

大学1年生で愛犬を亡くした時、何もできない悔しさを感じ、臨床現場に興味を持ちました。所属する研究室の活動が常に附属動物医療センターという臨床現場であるため、これまで学んだことを実際に見て、触れています。犬の鼻の中に入ってきた腫瘍の種類のため

にストローを使って鼻の中の細胞を取るのですが、そうした技術にも驚きました。現場では、動物に全身麻酔をかけている時間の計測や、その時の動物の状態の記録を取るなどし、臨床現場ならではの緊張感とやりがいがあります。

犬の麻酔の際に気管にチューブを入れるのですが、そのチューブの先端についているバルーンの圧が、卒論のテーマです。バルーンには気管をふさぐ役割があります。圧が高すぎると気管を圧迫したり、傷つけたりします。反対に低すぎると、麻酔のガスが外に漏れて大気汚染を引き起こす、動物の分泌物が逆流して誤嚥（ごえん）性肺炎の原因になるなどします。そこで庄のデータを取り、科学的に適切な値を



04 馬は人間のパートナー。 外科治療に貢献したい

キャンパスに牛がいる大学はほとんどありません。大動物の獣医師になれたかった私は、「ここだ！」と本学に入学しました。11歳の時から乗馬クラブで馬に乗っており、馬術部があるのも大きな理由です。1年次から馬術部に入り、4年間、毎朝5時集合で馬の世話。部活は週6日あり、吉小牧のノーザンホースパークに行ったり、日高方面で合宿したり、ということもよくあります。夜遊びすることもなく（笑）、ひたすら勉強と馬術部で大学生活が成り立っていました。馬は本場に伴侶動物、人間のパートナーだと感じます。

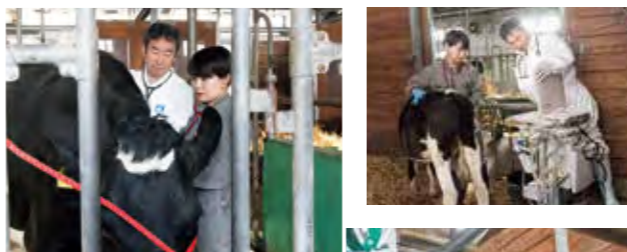
馬の骨折などの外科手術がしたくて、5年次でこのユニットに入りました。現在、歯の病気であるEOTRH（根部の吸収（歯がスカスカになる）や歯のセメント質の過形成などです。進行すると痛みがひどくなり、抜歯するしかありません。15年ほど前から、加齢性の疾患と認識されるようになりまし



た。この症例の馬が入院して

きて、それを学会発表したことから、研究テーマにしました。レントゲンを撮り、病歴を調べ、他の病気との関連を調べるなどしています。ハミを噛ませることも多く、歯は馬にとって大事な、そして酷使する器官であり、早期治療法の確立につなげていきたいと思っています。

獣医学の勉強は思った以上に基礎的な、たとえば薬理などの勉強が多いという印象です。本学は牛が身近なものも特長です。研究室に入った段階で、帝王切開を含めて外科手術を手伝う経験ができ、実体験を積むことができます。「これになりたい」と決めて入学しても、大学で変わる人もけっこういます。最初から決めつけず、いろいろなかところへ実習に行つて、自分に合った道を選ぶと良いと感じます。私も学内ではありますが、犬や猫の治療を経験しました。その結果として、やはり私自身は馬に携わる仕事に就きたいと再認識しました。将来は獣医師として、乗用馬の治療に貢献したいと思っています。



高校生の私

獣医学群
獣医学類
生産動物医療学分野
生産動物外科学ユニット 5年
杉浦 麗華さん
愛知県/
名古屋西高校出身





「酪農」「肉畜」「作物」の3分野でより実践的な学びができます

酪農学園フィールド教育研究センター

現場に強い実践力が身に付く

広大なキャンパスには、酪農・肉畜・作物に関する3つの農業生産ステーションを備えています。ここで搾乳、肥育、栽培などの実務をしっかり経験。各分野で強い実践力が育まれます。酪農学園大学ならではの規模と専門的な設備は、あなたの「好き」と「やりたい」にしっかり応えます。



酪農学園フィールド教育研究センターの紹介動画はこちら



酪農生産ステーション

キャンパス内にある牛舎で日々乳牛の飼育に取り組める。

異なるシステムの牛舎があり、循環農法型により約160頭の乳牛を飼育しています。フリーストール牛舎は牛が自由に行動・採食できます。繋ぎ飼いの牛舎は1頭1頭の牛をしっかり管理しながら飼育することができます。さまざまな酪農形態を学ぶことが可能です。また、草地・飼料畑はキャンパス内に牧歌的な景観を見せています。



草が血となり乳となる。牛の体の仕組みを学び、牛乳の素晴らしさに気付く学生も多い

DATA	
【土地】	
牧草地	54.6ha
デントコーン	16.3ha
放牧地	1.4ha
【主な施設】	
フリーストール牛舎	1,439.6㎡
繋ぎ飼いの牛舎	550.8㎡
育成牛舎	432.0㎡
搾乳棟	754.2㎡
バンカーサイロ	1,062.5㎡
乳牛(ホルスタイン種、ジャージー種)	



搾りたての新鮮な牛乳をうつす



循環型酪農は、牛の管理だけでなく、飼料生産も含めて成り立っていることを学ぶ(サイレージ用トウモロコシ圃場の実規模収量調査)



子牛や育成牛の管理を学生が行っている



酪農生産ステーションの紹介動画はこちら



収穫後2週間、乾燥庫に干したライムギを脱穀



収穫に向けコムギ生育ステージの判断法を学ぶ



花きの栽培や研究方法を学ぶ

コンクリート水田で水稻の形態変化を学ぶ

作物生産ステーション

先進的な施設、圃場を活用して、
品種改良から生理生態、病害虫管理を学ぶ

4棟のガラス温室は、温度や日射量などを計測し、自動で栽培環境を制御できます。冬場でも水稻などの作物の栽培が可能なので、1年を通して栽培や育種に関する研究、作物の病害虫防除の研究ができます。ビニールハウスでは、トマトやアスパラガスなどの野菜やカーネーションなどの花きの栽培研究が行われています。露地圃場では、ダイズやムギ類など畑作物の栽培が行われ、さまざまな教育研究に活用されています。

DATA	
【土地】	
露地栽培露地圃場	13,676.5㎡
園芸作物露地圃場	591.0㎡
展示圃場	673.2㎡
畑作物露地圃場	4,182.0㎡
サンプル採集圃場(作物病理学用)	116.6㎡
【主な施設】	
実習棟	1,275.0㎡
ビニールハウス	2,203.6㎡
花きガラス温室	331.0㎡
野菜ガラス温室	331.0㎡
作物ガラス温室	331.0㎡
作物保護ガラス温室	331.0㎡



作物生産ステーションの紹介動画はこちら



市場出荷直前の体重測定および写真撮影

DATA	
【土地】	
採草・牧草地	58.6ha
【主な施設】	
肉牛牛舎	1,672.0㎡(80頭)
豚舎	904.2㎡(100頭)
鶏舎	498.8㎡(ケージ:300羽・平飼い:300羽)
羊舎	419.5㎡(20頭)
肉牛(黒毛和種、日本短角種)	
豚(交雑種母豚(主にLW種*)、種雄豚(デュロック種)、肥育豚(主にLWD種*))	
羊(サフォーク種、テクセル種)	
鶏(白色レグホン、ロードアイランドレッド、烏骨鶏、アローカナ)	
*Wは大ヨークシャ種、Lはランドレース種、Dはデュロック種	



肉畜生産ステーションの紹介動画はこちら



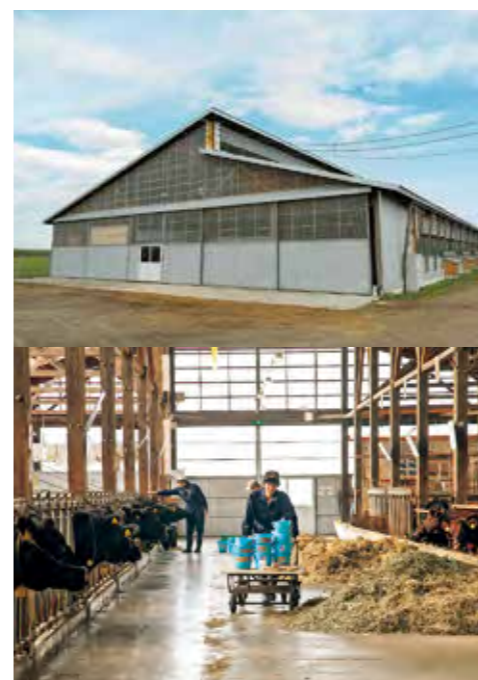
市場出荷牛のトラック積込

ここで生まれた子豚たち

親鶏はケージ飼いと平飼いの両方がある

肉畜生産ステーション 肉畜の飼育・生産・ 医療・出荷までを学ぶ

約80頭の黒毛和種や日本短角種がいる肉牛の畜舎と、めん羊、豚、鶏など中小家畜の畜舎群の2力所の農場があります。飼料設計から日々の世話まで学生が交代で行い、肉牛では低コスト飼料で最高等級のA5を獲得。肉牛の共進会にも積極的に出品し、好成績を収めています。その他の生産動物においても繁殖から出荷して肉になるまでの一連の流れを体験でき、看護を含めた動物医療の学びの場として活用されています。



高能力牛からの受精卵の回収



羊舎にて行われた羊の妊娠鑑定

酪農学園大学
だからできる、
プロフェッショナルな
製品づくり

「食」を科学する 実習を通して

食と健康学類 食品加工実習室

ソーセージやハム、ベーコンなどの製造工程を深く学べる本格的な実験実習設備を完備。ここで製造される製品は、「酪農学園大学ブランド」として、学内の生協にて委託販売しています。原料から販売まで、食に対する知識を体系的に学ぶことができます。



くん煙後のソーセージを加熱。加熱の目的は、肉の結着凝固、肉色の固定及び殺菌です。また授業では、食肉製品中の亜硝酸根残存量についてジアゾ化法を用いて測定しています。



くん煙後のソーセージをボイル槽まで運搬



くん煙後のソーセージ、ボリューム感たっぷり



酪農学園大学ブランドの食肉製品
現在、ベーコンとポロニアソーセージを主に販売



乳製品製造実験実習室・
食品加工実習室の紹介
動画はこちら



製品をくん煙するための木材をくん煙材といい、樹脂の含有量が少なく、香りがよく、防腐性物質の発生量が多いものが良いとされています。授業では、主にサクラチップを使用しています。



けっさつ
充填・結集後のエア抜き作業



肉粒のサイズは、目的とする製品に応じて粗挽き度合いが異なります。見た目の粗挽き感と食べたときのジューシー感を保持するために、きれいな肉粒が保たれるよう留意して作業しています。



オリジナルの牛乳・乳製品の製造には、学生が積極的に参加しています。



余計な空気混入による不良品発生を抑えるため、慎重に充填作業を行います。



牛乳・乳製品の原料乳は早朝に学内農場から運んできます。

食と健康学類 乳製品製造実験実習室

キャンパス内の乳牛から搾った新鮮な生乳を使って牛乳やチーズ、バター、アイスクリームなどの本格的な乳製品づくりを学べます。ここでつくられた乳製品は、食品加工実習室の製品と同様に、「酪農学園大学ブランド」として学内のみならず学外からも人気です。

牛乳製造設備は脱臭処理工程が入ることで生乳本来の風味を残すことを実現



酪農学園大学ブランドの牛乳・乳製品



実習として製造するほかに、ゼミ生が自分たちで考えたレシピのアイスクリームが学園祭で販売されます。



作られた牛乳は直ちに検査をし、翌朝には店頭に並びます。



チーズの熟成メカニズムの解明は重要な研究テーマの一つです。



手術室



診察室



処置室



集中治療室



X線検査室



CT検査室



MRI検査室



リハビリテーション室



入院棟



牛手術室



馬手術室



馬麻酔導入覚醒室

年間約27,000件の診療件数 獣医療の拠点で学ぶ

附属動物医療センターで 専門性の高い診療が学べる



附属動物医療センターの
紹介動画はこちら

伴侶動物医療エリア

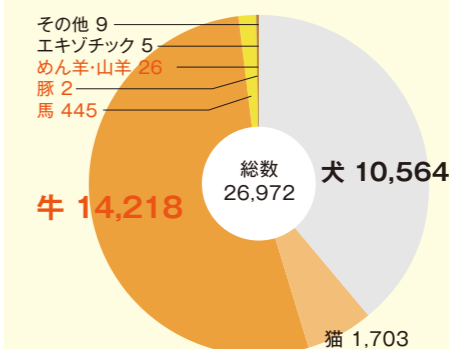


キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、年間の診療件数は犬や猫などの伴侶動物で約13,000件、牛や馬などの生産動物が約14,000件を数えます。附属動物医療センターでは、本学獣医学類および獣医保健看護学類すべての学生に先進的な獣医療を含む実践的な獣臨床教育を実施。伴侶動物医療部門には、内科・外科・循環器科・神経科・腫瘍科・リハビリテーション科、診療支援部門には、画像診断科・麻酔科・集中治療科などの診療科があり、臨床実習では専門性の高い診療と日本で最高レベルの動物のためのチーム医療に接触することができます。生産動物医療部門では、専用の入院棟と臨床実習棟で、生産現場に近い臨床実習を展開しています。また他にも、環境汚染物質・感染病原体分析監視センター、野生動物医学センターなどがあります。施設規模は全国の獣医師養成大学の中で最大です。

生産動物医療エリア



■2019年度診療動物内訳(件数)



生産動物の多さは、
北海道の大学ならでは!

TOPICS

OIE食の安全ジョイントコラボレーティングセンター

国際獣疫事務局(OIE)は、1924年に設立された世界の動物衛生の向上を目的とする政府間機関で182の国と地域が加盟しています。獣医学類衛生環境学分野は、2014年に東京大学食の安全研究センター、シンガポール獣医公衆衛生センターとともにOIE食の安全ジョイントコラボレーティングセンターの指定を受け、東南アジアおよびサハラ以南アフリカOIE加盟国の動物衛生・公衆衛生の向上に貢献しています。

特にウガンダでは2016年からJICAプロ

ジェクト「ムバララ県安全な牛乳生産プロジェクト」を実施し、研究に基づく指導により牛乳生産量が2割増加しました。2019年にJICA大学連携協定を結び、学生・大学院生も協力隊員として参加し、継続して酪農支援を行っています。



ウガンダ



TOPICS

ヨーロッパ獣医学教育機関協会(EAEVE)の国際認証取得へ向けて

本学の獣医学群では、ヨーロッパ獣医学教育機関協会(EAEVE)の国際認証評価を通じて、獣医学教育の質の保証と国際化に取り組んでいます。昨今、獣医学を取り巻く情勢は、国民の生命・健康・財産・福祉に関わる領域の拡大と高度化が進展しており、人獣共通感染症や家畜疾病対策、食品安全対策、薬剤耐性菌への対策など、獣医師が関与すべき問題が拡大・増加しています。このような獣医学への多様な社会的ニーズが高まる中で、獣医学教育の質の保証が求められています。本学は大学基準協会の認証も得ていますが、

国内での認証に留まらず、国際認証を取得することで本学の獣医学教育の質をさらに高める努力をしています。また、国際的な基準で食の安全を保証するためにも、畜産物を輸出入する国間で同等レベルの獣医学教育が求められています。そこで本学はEAEVEの国際認証評価を参考にするため、2019年10月にはEAEVE本部による事前訪問調査を受審してアドバイスを受けました。そして、EAEVE認証取得を視野に入れ、カリキュラム、教育環境の改善、学内規程の整備などを推進しています。

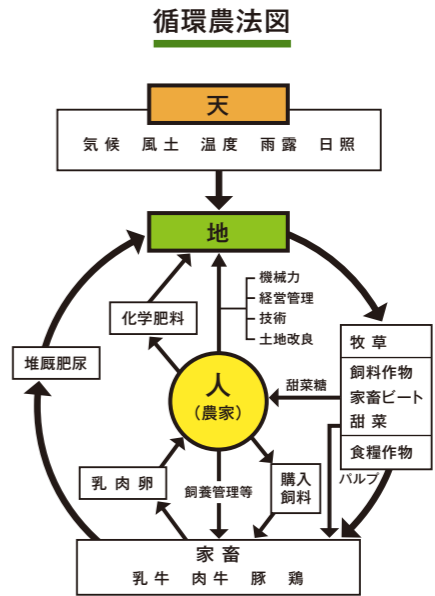


酪農学園大学は、一人の青年の

熱い想いから始まった。

酪農学園大学は創立時から変わらない想いを受け継いでいます。それは一人の青年が生涯をかけた使命感から生まれたもの。そして北海道の酪農の振興と歩みを同じくするもの。

創立者黒澤西蔵の軌跡のなかには、本学に息づく建学の精神があります。



◆田中正造との出会いが思想の原点

茨城の貧しい農家に生まれた西蔵は、14歳で学業を志して東京に出ました。住み込みの仕事しながら学校に通うなか、16歳の時に足尾銅毒事件で田中正造氏を知り、その正義感と人間愛に感銘を受けます。この出会いが西蔵の一生を決定づけました。田中正造氏は、人間にとって国土がいかに大切かを語り、「**健土健民**」を理想とする西蔵の思想の根がつくられたのです。鉱毒によって田畑を汚染され、健康を損なった農民救済のため西蔵は「青年行動隊」の結成を図りましたが、被害救済をめぐる世論が広がっていたとさだけに、官憲は彼を極端に警戒しました。「反対運動よりも示談が得策だ」とする農民を説得しようとしたところ、西蔵は逮捕投獄され、6カ月間の未決拘留の後、無罪の判

決が下されました。しかしこの獄中での聖書との出会いが、その後の人生に大きな影響を与えました。

健土健民
「健やかな土地から生み出される健やかな食物によって健やかな生命が育まれる」、この理念は本学の前身「北海道酪農義塾」から脈々と受け継がれてきた実学教育の核をなすものです。

余つて酪農家たちが危機に立たされた時には、酪農家自らが製品をつくって売る北海道製酪販売組合、現在の雪印メグミルクを立ち上げました。こうして北海道酪農のリーダーとなった西蔵は、寒地農業に必要なのは酪農を軸とした「**循環農法**」でなければならぬとの思いを強くします。

循環農法
「地下資源には限りがある。しかし土の寿命は尽きることのないその生命力を育てれば無尽蔵の資源となる」、農業とは天地人の合作によって、人間の生命の糧を生み出す聖業であることから、人と自然が共生し、物質やエネルギーが循環するシステムをつくる思想「循環農法」は健土健民思想の実践といえます。

◆北海道に渡り、酪農の発展に尽くす

田中正造氏の援助によって学業を修めていた西蔵でしたが、母の死を契機に貧しい弟妹を守るため、20歳で北海道に渡りました。宇都宮牧場の宇都宮仙太郎氏から牛飼いは「役人に頭をさげなくてもよい」「牛が相手だからウソをつかなくてもよい」「牛乳は人々を健康にする」という酪農三得を教わり、西蔵は一生を酪農に捧げる決心をします。1909(明治42)年に牛1頭を借りて念願の酪農自営を果たしました。事業にまい進するなかで北海道畜牛研究会を結成し、牛乳が

◆未来へ受け継がれる想い

2000(令和2)年に酪農学園大学は60周年を迎えました。時代とともに学びの分野が酪農から農業や食品、獣医、自然環境まで広がりましたが、その根本に流れる思想は貫いて変わっていません。「健土健民」の理念のもと、ひとりの個性を磨き、身に付けた知識や技術を社会で活かす力を育む「実学教育」を実践し、知識だけではなく行動を伴った「知行合一」を目指しています。酪農を通じて人の真の豊かさを追い求めた西蔵の想いは、今もこれからも生き続けていきます。

知行合一
単に知識を身に付けるだけではなく、知識と実践は体であることを意味しています。「健土健民」の思想の下で高邁な学識技能を有する「知行合一」の有能な農業人ならびに社会の人材を養成することを本学の目的としています。

酪農義塾農場(札幌村三角 1935年)

豊かな環境のもと、実学と理念を習得し、社会で活躍してください。

酪農学園大学 学長 堂地 修

受験生のみならずが最も不安に思われることは、新型コロナウイルスの感染拡大であると思います。酪農学園大学も試験の中にありますが、本学には感染症を専門とする医師やウイルス学を専門とする獣医師の先生方がおり、徹底した感染対策がとられています。また、学生と教職員の健康チェック、文部科学省の指導にしたがった少人数グループの授業や実習の実施、本学教員が企業と共同開発した消毒薬の学内への配置、飛沫防止板の設置など、みなさんが安心して学べるように感染防止のためのさまざまな工夫をしています。

本学の創立者は、黒澤西蔵(くろさわ とりぞう)です。黒澤西蔵は、足尾銅山鉱毒の被害に苦しむ人々の救済に一生を捧げた田中正造氏に師事しました。やがて、北海道に渡り、冷害に苦しみ疲弊する農家を救うために「酪農」を薦め、酪農の発展に生涯を捧げました。そして、酪農の発展には

教育が必要であるという信念から本学を創りました。黒澤西蔵の弱者に寄り添う利他的な心は、今日の本学に脈々と生きています。

本学は、135万平方メートル(東京ドーム28個分)の広いキャンパスを持ち、この中に校舎、乳牛舎、牧草地、作物実習研究圃場および動物医療センターがある恵まれた環境にあります。また、車で15分以内には、肉牛農場、中小家畜(豚、羊、鶏)施設があります。さらに、敷地は、道立自然公園である野幌森林公園と接しています。本学は、札幌市近郊にありながら、家畜、作物、食と人の健康、環境、獣医療を学ぶための豊かな環境がそろうっており、体験的ではなく実務的に学ぶことができる大学です。

今日「誰一人取り残さない」持続可能な世界を目指す開発目標(SDGs)が世界的に提唱されています。本学は、創設以来SDGsに通じる考え「健土健民」「循環農法」を教育と研究の基盤として位置づけ、その理念を習得した多くの卒業生が社会で活躍しています。また、私たちは、過去から学び、常に未来を見据えた食料生産を考えています。黒澤西蔵は「良い牛は良い草から、良い草は健康な土から、健康な人は健康な土から、健康な土は家畜から」という言葉を遺しています。これは酪農だけのことではなく、世界の農業のスタンダードとなっている循環型農業を示しています。今後、持続可能な食料生産を実現するためには、循環型農業の確立が不可欠です。本学の教職員、在校生と一緒に世界的な食料生産の発展のためにチャレンジしましょう。

沿革

1998(平成10)年	酪農学園大学環境システム学部経営環境学科及び地域環境学科を開設 北海道文理科大学短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更及び酪農科を酪農学科に学科名変更	1981(昭和56)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(博士課程)を開設 酪農学園大学大学院酪農学研究科酪農学専攻(修士課程)を開設	1933(昭和8)年	北海道酪農義塾開設
2001(平成13)年	酪農学園大学酪農学部食品科学科に食品科学専攻と健康栄養学専攻(管理栄養士)の2専攻を開設	1984(昭和59)年	三愛女子高等学校英語コースを開設 酪農学園機械高等学校を酪農学園大学附属高等学校に校名変更	1942(昭和17)年	野幌機農学校開設
2003(平成15)年	酪農学園大学大学院酪農学研究科食品栄養科学専攻(修士課程及び博士課程)を開設	1985(昭和60)年	酪農学園短期大学を北海道文理科大学短期大学部に校名変更	1948(昭和23)年	学制改革により野幌機農学校を野幌機農高等学校に校名変更 野幌高等酪農学校(通信教育)開設(1991(平成3)年3月に廃止)
2011(平成23)年	酪農学園大学農食環境学群循環農学類・食と健康学類・環境共生学類及び獣医学群獣医学類・獣医保健看護学類を開設(酪農学部・獣医学部及び環境システム学部を改組) 酪農学園大学短期大学部募集停止(2012(平成24)年10月に廃止)	1988(昭和63)年	酪農学園短期大学を北海道文理科大学短期大学部に校名変更	1949(昭和24)年	酪農学園大学部(各種学校)を開設(1950(昭和25)年3月に廃止) 酪農学園短期大学酪農科を開設
2015(平成27)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医保健看護学専攻(修士課程)を開設	1990(平成2)年	北海道文理科大学附属高等学校とわの森三愛高等学校が統合し、(新生)とわの森三愛高等学校(酪農経営科・普通科・英語科)を開設 酪農学園大学大学院酪農学研究科食生産利用科学専攻(博士課程)を開設	1950(昭和25)年	酪農学園女子高等学校(全日制 普通科)を開設
2016(平成28)年	酪農学園大学酪農学部農業経済学科・食品科学科食品科学専攻・食品科学科健康栄養学専攻・食品流通学科、環境システム学部地域環境学科廃止	1991(平成3)年	酪農学園短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更	1958(昭和33)年	酪農学園女子高等学校(全日制 普通科)を開設
2017(平成29)年	酪農学園大学酪農学部酪農学科、環境システム学部環境マネジメント学科・生命環境学科廃止	1994(平成6)年	酪農学園短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更	1960(昭和35)年	酪農学園女子高等学校を三愛女子高等学校に校名変更
2019(平成31)年	とわの森三愛高等学校を酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校に校名変更	1995(平成7)年	酪農学園短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更	1962(昭和37)年	酪農学園短期大学製造科を開設(1972(昭和47)年3月に廃止) 酪農学園大学酪農学部農業経済学科を開設
2020(令和2)年	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校通信課程に農食環境科学科設置認可	1996(平成8)年	酪農学園短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更	1963(昭和38)年	酪農学園大学酪農学部獣医学科を開設
		1997(平成9)年	酪農学園短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更	1964(昭和39)年	酪農学園短期大学酪農科を1コース(全日制)、2コース(季節制)(1984(昭和59)年3月に廃止)とする 野幌機農高等学校を酪農学園機械高等学校に校名変更
		1998(平成10)年	酪農学園短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更	1975(昭和50)年	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(修士課程)を開設
		1999(平成11)年	酪農学園短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更	1978(昭和53)年	酪農学園大学酪農学部獣医学教育修士課程を含む6年制に移行



教育基本方針

(一部抜粋)

「学位授与の方針」 (ディプロマポリシー)

建学の精神である「三愛主義」「健士健民」のもと、「農食環境生命」の各分野における豊富な知識や高い実践能力を備え、視野の広い専門家として地域と世界の継続的な発展に貢献できる学生に「学士」の学位を授与します。

農食環境学群

農食環境学群(以下、「本学群」といふ)では、建学の精神である健士健民および循環思想のもとで、土植物動物の重要性を体系的に理解するとともに、諸問題の解決策を示すための論理的な思考力と問題解決能力を備え、「農食環境」各々の社会に貢献できる資質を身につけた学生に「学士」の学位を授与します。

循環農学類

循環農学類(以下、「本学類」といふ)では、1～2年次において「基礎教育」と「専門基礎教育」で循環型社会の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、酪農業、畜産学、農学、農業経済学の4コースに各々所属し、各コースの到達目標に向けて学びを深めます。

食と健康学類

食と健康学類(以下、「本学類」といふ)では、1～2年次において「基礎教育」と「専門基礎教育」で食資源の特性や栄養学の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、食資源開発、食品流通開発あるいは管理栄養士のいずれかに所属し、各コースの到達目標に向けて学びを進めます。

環境共生学類

環境共生学類(以下、「本学類」といふ)では、1～2年次において「基礎教育」と「専門基礎教育」で環境問題の基礎を学び、3年次から始まる「専門教育」では、野生動物学と生命環境学の2コースいずれかに所属し、各コースの到達目標に向けて学びを深めます。

獣医学群

獣医学群(以下、「本学群」といふ)では、建学の精神のもとで、獣医学と獣医保健看護学及びその関連科学分野の教育をおおして生命を尊ぶ豊かな人間性を育み、国際的な視野に立って人と動物の健康保持、環境保全ならびに食料の安定供給に寄与して「One Health」に貢献できる学生に「学士」の学位を授与します。

獣医学類

獣医学類(以下、「本学類」といふ)では、1～2年次において「基礎教育」と「専門基礎教育」および「専門教育」で、動物の体の構造や機能、動物に関する倫理や福祉、また、実践的な英語や統計学を学び、3～4年次では、伴侶・産業動物の臨床や食の安全等を学習します。4年次からは「専修教育」にて研究室に所属して専門的研究を行い、5年次には少人数での参加型実習を行い、最終学年において、研究発表並びに最終的には獣医師国家試験受験に臨みます。

獣医保健看護学類

獣医保健看護学類(以下、「本学類」といふ)では、1～2年次において「基礎教育」と「専門基礎教育」で基礎学力および獣医学における基礎知識を学び、3年次から始まる「専門教育」では、動物看護師として必要な専門知識と技術を学内外の実習等で身につけます。学類の到達目標に向けて学びを深め、最終学年において、研究発表並びに愛玩動物看護師国家試験に臨みます。



「教育課程編成・実施の方針」 (カリキュラムポリシー)

本学の教育課程では、「農・食・環境・生命」に関する知識並びに実践力を段階的に身につけることができよう。基礎教育科目から専門基礎教育科目へ、そして専門教育科目・専修教育科目へと体系的な学修を取り進めていきます。

農食環境学群

本学群の教育課程は、社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、「農食環境」に関する知識と実践力を段階的に身につけることができよう。基礎教育科目から専門基礎教育科目へ、そして専門教育科目へと体系的に学修するカリキュラムとなっています。

循環農学類

本学類の教育課程は、循環型社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、酪農業、畜産、作物、農業経済に関する知識と実践力を段階的に身につけることができよう。基礎教育科目、専門基礎教育科目から専門教育科目へと体系的に学修するカリキュラムとなっています。

食と健康学類

本学類の教育課程は、社会で活躍できる豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、食資源、食品加工、食品流通に関する知識と実践力を段階的に身につけることができよう。基礎教育科目、専門基礎教育科目として専門科目への体系的に学修するカリキュラムとなっています。

環境共生学類

本学類の教育課程は、環境との共生および環境問題の解決に資する豊かな人間性と専門性を兼ね備えた人材となるために、野生動物、生命環境に関する知識と実践力を段階的に身につけることができよう。年次を追って体系的に学修するカリキュラムとなっています。1年次には主に基礎教育科目によって幅広い教養と社会人基礎力を身につけ、2年次には主に専門基礎教育科目によって専門性の礎を築きます。3～4年次には主に専門教育科目を履修し、より専門性を深め、様々なスキルを会得するとともに、社会に貢献できる力の獲得を目指します。

獣医学群

本学群の教育課程は、幅広い知識や高い実践能力を身につけ、社会で即戦力となる人材となるために、「獣医学」「獣医保健看護学」に関する知識並びに学内外での実習科目における経験や技術を効率よく学ぶことができます。4年次には全国の獣医学大学共通の獣医学共用試験を受験し、5年次には実際の患者動物を対象とした参加型臨床実習を行います。6年次には研究発表を行うとともに、獣医師国家試験合格に向けた6年間の学習内容の総まとめを行います。本学群の学士課程は大学基準協会の獣医学教育に関する基準に適合したものであり、また、カリキュラムは欧州獣医学教育国際認証(EURO-VEE)に適合したカリキュラムとなっています。

獣医学類

本学類では、獣医師として必要な専門科目の講義や実習を1年次から段階的に学習することにより、幅広い知識や技術を効率よく学ぶことができます。4年次には全国の獣医学大学共通の獣医学共用試験を受験し、5年次には実際の患者動物を対象とした参加型臨床実習を行います。6年次には研究発表を行うとともに、獣医師国家試験合格に向けた6年間の学習内容の総まとめを行います。本学群の学士課程は大学基準協会の獣医学教育に関する基準に適合したものであり、また、カリキュラムは欧州獣医学教育国際認証(EURO-VEE)に適合したカリキュラムとなっています。

獣医保健看護学類

本学類は、ディプロマポリシーに示す知識、技術、思考などの能力を身に付けるため、基礎教育、専門基礎教育、専門教育および専修教育からなるカリキュラムを編成しています。愛玩動物看護師国家資格取得のための専門科目を設けると共に、動物看護師として、高度な知識と高い実践能力を身に付けることを目標とし、社会で即戦力となる人材を育成できるカリキュラムを展開します。



「入学者受入れの方針」 (アドミッション・ポリシー)

農業を基幹産業とする自然豊かな北海道の大地で学ぶことを望み、「農食環境生命」に関する専門的知識と技能を習得し、地域と世界の持続的な発展に貢献する意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

農食環境学群

持続可能な食料生産分野、人の健康を支える食品科学分野あるいは生命を育む環境分野に興味を持ち、「農食環境」の各々の専門家として、社会の発展に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

循環農学類

持続可能な食料生産分野の発展に興味を持ち、循環型社会を築く農業技術開発、研究および技術支援等を行う農業科学の専門家として、社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

食と健康学類

●**食資源開発学コース**および**食品流通開発学コース**
人の健康を支える食品関連分野に興味を持ち、食資源ならびに食品の開発、および食品流通の技術開発、研究等を行う食品科学の専門家として、食を通して人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

●管理栄養士コース

人の心とからだの健康を支える栄養学分野に興味を持ち、人々の健康増進、生活の質を向上させる栄養管理、栄養指導等を行う専門家として、人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

環境共生学類

生命を育む環境全般に興味を持ち、発展を続ける人間社会と地球を構成する自然界の生命および環境との調和と共生のための学びを深める環境学の専門家として、持続可能な社会の発展に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

獣医学群

社会に対する幅広い視野を持ち、地域さらには世界における人と動物との調和に対し深い関心を示し、日々進歩する最新知識を吸収できる基礎学力を有し、常に自ら積極的に学ぶ意欲を持ち、人間社会に貢献したいという意欲にあふれた人を求めています。

獣医学類

動物と人との調和に関する様々な事柄に興味を持ち、獣医療を通じた動物と人の健康保持、食料の安全確保と安定供給、および環境保全や感染症制御などの公衆衛生の専門家または研究者として人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性と広い視野を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

獣医保健看護学類

動物と人との関係に関する様々な事柄に興味を持ち、動物の福祉と健康向上、および動物と環境との調和を図る動物看護師として、人間社会に貢献したいという意欲にあふれ、主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

教育基本方針
全文はコチラから



すべての学びは つながっている



酪農学園大学の2学群5学類は互いに深く関係しています。そのつながりを生かし、あなたの「好き」を他の分野と結びつけて、大きく発展させることができます。たとえば、酪農経営×食の安全・安心×自然再生エネルギー＝地球の環境保全かもしれません。「好き」から始まる新しい未来を、あなた自身の手で創造できます。

	3・4年次 専門・専修教育	2年次 専門基礎教育	1年次 基盤教育
詳しくは 35 ページ	<ul style="list-style-type: none"> 酪農学コース 畜産学コース 農学コース 農業経済学コース 		<p>安全な食料を供給する農業について、酪農学・畜産学・農学・農業経済学など多角的に追究。</p> <p>循環農学類</p>
詳しくは 45 ページ	<p>教職コース ※循環農学類、食と健康学類いずれかの学類に所属する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食資源開発学コース 食品流通開発学コース 管理栄養士コース 		<p>食の生産、加工・製造、流通ならびに健康など、食のシステムに関して幅広く学ぶ。</p> <p>食と健康学類</p>
詳しくは 55 ページ	<ul style="list-style-type: none"> 野生動物学コース 生命環境学コース 		<p>野生動物学・生命環境学を学び、環境と調和・共生する社会の形成に貢献できる力を育成。</p> <p>環境共生学類</p>
詳しくは 67 ページ	<p>6年次まで ← 4年次</p> <ul style="list-style-type: none"> 生体機能学分野 感染・病理学分野 予防獣医学分野 生産動物医療学分野 伴侶動物医療学分野 		<p>獣医療をはじめ生命科学における先端的な研究を推進する、高度な専門性を有した獣医師を育成。</p> <p>獣医学類</p>
詳しくは 75 ページ	<ul style="list-style-type: none"> 基礎動物看護学 応用動物看護学 臨床動物看護学 		<p>獣医学と動物看護学を学び、幅広い獣医保健看護領域を担える人材を育成。</p> <p>獣医保健看護学類</p>
			<p>農食環境学群の中では、3つの学類の枠を超えて興味のある科目を履修できます。また、「循環農学類」と「食と健康学類」には教員養成を目的とした「教職コース」を設置しています。</p> <p>※農食環境学群(管理栄養士コースを除く)では、「教職コース」に所属しなくても学類の各コースで専門的に学びながら教員免許を取ることができます。</p>
			<p>獣医師を目指す「獣医学類」に加え、動物看護師などの動物医療にかかわるスペシャリストを目指す「獣医保健看護学類」を設置しています。高度化する獣医療に対応した学びを実践します。</p>

※1 キャリア教育は獣医学群を除く
※2 管理栄養士コースは2年次開講

基盤教育

つながり
の大切さを学ぶ
「生きる力」
を付ける

学びの
流れ

1年次
基盤教育

2年次
基盤教育
専門基礎
教育

3・4年次
専門教育
専修教育

1・2年次をメインに全員が受ける「基盤教育」は、高校までの受動的な学びから大学の主体的な学びへと姿勢を変える大事なプロセスです。全国から集まった仲間たちと協同する中でチームワークの大切さを知り、学生の自主性を促す幅広い学習によって自ら課題を乗り越える力を身に付けます。それは2年次以降の専門基礎教育および専門教育・専修教育に進んだ時、そして社会に出た時にも、柔軟な心を持って何事もあきらめることなく進んでいける力「人間力」として生かされます。



基盤教育の紹介動画はこちら

畑づくりや搾乳体験、
文学や経済学など、五感全部を使って
「つながり」の大切さを知る。
この一年で、キミは何を得て、
どれだけ成長するだろうか。

製造実習ではバターをつくります。生クリームをペットボトルに入れて振り続けること約10分。なめらかな黄金色のバターができます。

教室での講義

酪農学園大学の建学の精神を知ることも大事な学び。さらに、文学や経済学などの人文・社会科学から生物学、化学などの自然科学まで、さまざまな領域を学ぶ。単に知識を得るだけでなく、グループ発表をしたり、論理的思考方法を習得することで、学びの姿勢を身に付けます。

牛舎で搾乳体験。初めて牛に触れる学生も多く、ミルクを取り付けるのは緊張の瞬間です。実習後に牛乳をいただきます。

搾乳

牛追



乳牛体格測定

酪農生産ステーションで乳牛の扱い方を学びます。主要な部位を覚えたら、協力しながら体格測定と体格審査をします。



バターづくり



樹のカルテづくり

キャンパス内の樹木の大きさを1本ずつ調べ、木の成長量とそれに伴う二酸化炭素の吸収量を記録しています。



採卵

採卵しながら、産んでいない鶏をチェックしたり、個々の様子を観察したり。卵はその場でゆでていただきます。

ミッションは放牧されている牛をつかまえて牛舎に連れてくること。



授業科目区分

- 酪農学園導入教育
- 人文社会科学教育
- 自然科学教育
- 保健体育教育
- 情報教育
- 外国語教育
- キャリア教育

※キャリア教育は獣医学群は除く。



作物の形態観察

根に共生する根粒を観察します。作物は微生物の力を利用して大気や土から栄養を獲得しています。実習では、作物生産における一連の流れを体験しながら、物質の循環を学びます。



外科手技

臓器のモデルを使用して、実際に切開や縫合を体験します。



内視鏡の原理と実際

臓器のモデルを使用して、実際に内視鏡の操作を学びます。



基礎ゼミ農園

キャンパス内にある農場の畑を使って、作物を育てたり、管理したりします。土に触れ、晴天や雨といった天候が作物の生育に及ぼす影響などを実際に体験することで、知識と経験を養います。

農食環境学群 循環農学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences
Department of Sustainable Agriculture

日々が「農」の現場
本物の楽しさがわかります



学びの流れ

4年次	3年次	2年次	1年次
基礎教育 外国語教育 キャリア教育 専門教育 専門共通教育 酪農学コース専攻教育 畜産学コース専攻教育 農学コース専攻教育 農業経済学コース専攻教育 教職コース専攻教育 実践酪農学・実践農学 教職課程教育 B群	基礎教育 外国語教育 キャリア教育 専門教育 教職コース専攻教育 実践酪農学・実践農学 基礎教育 人文社会科学教育 自然科学教育 外国語教育 キャリア教育 専門教育 専門共通教育 酪農学コース専攻教育 畜産学コース専攻教育 農学コース専攻教育 農業経済学コース専攻教育 教職コース専攻教育 実践酪農学・実践農学 教職課程教育 A群 B群	基礎教育 人文社会科学教育 自然科学教育 外国語教育 キャリア教育 専門教育 教職コース専攻教育 実践酪農学・実践農学 基礎教育 人文社会科学教育 自然科学教育 外国語教育 キャリア教育 専門教育 専門共通教育 酪農学コース専攻教育 畜産学コース専攻教育 農学コース専攻教育 農業経済学コース専攻教育 教職コース専攻教育 実践酪農学・実践農学 教職課程教育 B群	基礎教育 酪農学導入教育 保健体育教育 キャリア教育 専門基礎教育 全学共通専門基礎領域 専門基礎教育 基礎領域 教職課程教育 B群



循環農学類の紹介
動画はこちら



- 1 ミルキングパララーにて搾乳
- 2 肉畜生産ステーションでは、肉牛約80頭の飼育を学ぶことができる
- 3 サフォーク種の育成
- 4 秋播ライムギの収量調査用刈り取り
- 5 サイレージ用トウモロコシの収量調査用刈り取り

「好き」をかたちに

学びのポイント

POINT 1

生産から経営、経済まで
「農」という産業のすべてを網羅

農家の方々とも密接に
連携しながら農学全般
を学びます。本学類の
教員は農業試験場をは
じめとする学外のさま
ざまな人や機関とつな
がりがあり、新たな視
点を得る機会を与えて
くれます。



POINT 2

「循環農法」
環境に負担をかけない農業を探求する

人と自然が共生し、物質やエネルギーが循環するシステムをつくる「循環農法」を基本思想にして、これからの農業を学びます。

POINT 3

フィールド教育研究センターで
実践する多彩な実習カリキュラム

酪農、肉畜、作物の3つの生産ステーションがあり、日々実践的な学びを展開しています。また、農家に泊まり込む学外農場実習では農の現場を実際に体験できます。

POINT 4

日本全国47都道府県から
「農」に関心のある学生が集まる

実家が農業を営んでいる人から初めて農業を学ぶ人まで、日本全国から「農」に関心のある学生が集まり切磋琢磨します。卒業後は全国にネットワークができるのも本学ならではの強みです。

取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 中学校教諭1種(理科・社会)
- 高等学校教諭1種(理科・農業・公民)
※教職コースに所属しなくても教員免許の取得は可能です。
- 准学校心理士
- 家畜(牛)人工授精師
※講習会受講最終試験合格の場合
- 家畜体内(外)受精卵移植
※講習会受講最終試験合格の場合

任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後、その職務に就いて初めて効力を発揮する資格です。

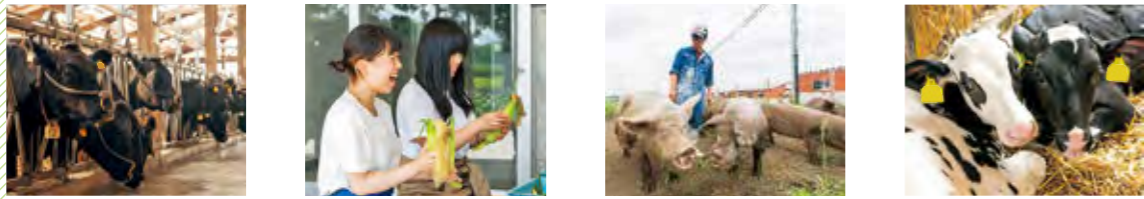
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者
- ペット栄養管理士

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級3級
- 経済学検定(EJEC)
- 食生活アドバイザー3級
- 北海道フードマイスター
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1,2,3)
- 食品衛生責任者
- 学芸員

目指す職業

- 食品関連産業(乳業・食品・小売店など)
- 農業関連産業(肥料・飼料・動物医薬品など)
- 試験研究機関、動物飼育員
- 農業共同組合、家畜人工授精師
- 中学・高校教員(公務員(行政職など))
- 酪農・農業経営、農業法人 など



3・4年次 専門教育 コース紹介

3・4年次
専門教育

農学コース

循環型農業を基盤として、水稻、畑作、野菜、花きなどの農業生産技術とそれに伴う理論を学ぶ。本コースには作物の生産と、その関連分野（作物の栄養、生理、遺伝、雑草病害虫防除、土壌と生産の関連性）について学習する科目と実習がある。



収穫に向けコムギ生育ステージの判断法を学ぶ

コースTOPICS

- ガラス温室や圃場を使った充実の実習
- 環境制御可能な最新設備を有したガラス温室が通年利用可能
- 水稻、畑作、野菜、花きなど、多様な現場ニーズに対応した実験実習科目
- 栽培技術分野の科目と教育的に連動して配置された、土壌、作物栄養、植物の生理・病理・遺伝・育種、作物害虫や雑草に関する専門分野の科目群が充実

3・4年次
専門教育

農業経済学コース

食料生産と地域産業、市場と流通の現場から、経営・経済・政策を総合的に学ぶ。本コースには、農業経営、流通と消費、経済事情、循環型社会の形成と発展を支える仕組みについて学習する科目と実習がある。



現場で得た情報をゼミ室で議論する



コースTOPICS

- 農業・食料・経済の現場で最先端の経営や技術、流通を学ぶ
- 農畜産物や食料の販売に携わることを考えている方は、食料の流通の仕組みを学ぶ
- 公務員や地元企業を目指し、地域を活性化したいと思っている方は、地域おこしに必要な経済や政策について学ぶ
- 将来、農業・酪農の経営者になる方は、農場の経営に必要な知識を学ぶ
- 高度な統計分析手法を習得して、さまざまなデータから有用な情報を読み取る方法を学ぶ
- 教室での勉強だけでなく、演習・実習を通して力を培う

3・4年次
専門教育

酪農学コース

乳を生産する家畜の飼養管理、家畜育種をはじめ、飼料生産、衛生管理、家畜行動、生産物利用にかかわる科学を修学するとともに、酪農場における物質循環について学ぶ。サブコースとして農家実習を通じて酪農現場をより深く理解する実践酪農学コースがある。



北海道・浜中町での実践酪農学実習の様子

コースTOPICS

- 酪農の本場・北海道で本物の酪農学を学ぶ
- 充実した施設で多様な畜種（乳牛、肉牛、豚、鶏、羊など）の生産技術を実践的に習得
- 学内の酪農生産ステーションには約160頭の乳牛
- 広い業界ネットワーク



3・4年次
専門教育

畜産学コース

肉牛を中心に豚、鶏、羊、馬など食肉生産を目的とした家畜の飼養、生体機能、生殖生理およびその生産物の利用について学ぶ。本コースにはこれらの家畜の飼養管理体系を学習する科目と実習がある。



コースTOPICS

- 元野幌にある肉畜生産ステーションは総面積約100ha
- それぞれの動物種について2品種以上の家畜を飼養している
- 肉用牛約80頭、豚約100頭、羊約20頭、採卵鶏約300羽を飼養
- 採草用圃場が58.6ha
- エコフィードを積極的に利用した資源循環型の肉畜生産体系を学ぶことができる
- 講師陣は学内から臨床獣医師、家畜人工授精師、管理栄養士など。また、外部講師として体型審査員、削蹄師やホテルの総料理長など充実
- 肉牛については受精卵の生産から肉の加工まで、牛肉生産に関するすべての工程を学ぶ



肉畜生産ステーションで飼育されている肉牛

[カリキュラム] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2021年4月1日現在のもので
今後変更もあります。

1 年次

基盤教育

- 基礎演習
- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 健士健民入門実習
- 農食環境学概論
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学I
- 数学II
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I
- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1
- キャリア実習

専門基礎教育

- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

専門教育

- 【実践酪農学・実践農学】
- 実践酪農学
- 実践酪農学演習
- 実践農学

教職課程教育

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

2 年次

基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理学実験
- 地学実験
- 外国語演習I
- 外国語演習II
- 中国語I
- 中国語II
- ハングルI
- ハングルII
- キャリアベシック

専門基礎教育

- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学
- 微生物学
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 民法・商法
- 行財政学概論
- 経済学
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 経営学総論
- 日本経済論
- 家畜解剖学
- 家畜生理学
- 畜産学総論
- 農業機械学
- 家畜飼料学
- 作物栽培学
- 園芸学
- 農業経営学概論
- 農業政策学
- 家畜行動学
- 食料農業の法と制度
- 家畜生理・解剖学実験
- 農業微生物学実験
- 農産物利用学実習
- 作物生態生理学実験
- 学外農場実習
- 食品化学
- 乳科学
- 食肉科学
- 応用生化学
- 生物分類学
- 情報処理演習
- 簿記・会計学概論
- 農業協同組合論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学
- 社会調査法
- 国際経済論
- 国際法
- 食品産業論
- 野生動物学の基礎
- 動物生態学
- 生物地球化学
- 植物生態学
- 気象学の基礎
- 自然環境学実験・実習
- 動物形態機能学
- アジア環境学
- 環境法
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 海外自然環境実習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- マーケティング論
- 国際関係論
- 国際理解

専門教育

- 【教職コース】
- 教職インターンシップ
- 教職応用演習I
- 教職応用演習II

- 【実践酪農学・実践農学】
- 実践酪農学実習I
- 実践酪農学実習II
- 実践農学実習II

教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論
- 地誌

- 【教職コース】
- 農業科教育法I
- 農業科教育法II
- 農業科教育法I
- 理科教育法I
- 理科教育法II

- 社会科・公民科教育法I
- 社会科・公民科教育法II
- 社会科・地理歴史科教育法I
- 社会科・地理歴史科教育法II

3 年次

基盤教育

- 外国語演習I
- 外国語演習II
- キャリアデザインI
- キャリアデザインII

専門教育

- 専門セミナーI
- 専門セミナーII

【酪農学コース】

- 家畜繁殖学
- 家畜繁殖学実験
- 家畜管理
- 家畜管理・繁殖学実験
- 家畜栄養学
- 家畜管理・栄養学実験
- 家畜衛生学
- 家畜衛生学実験
- 畜産物利用学
- 乳用家畜飼養学

【畜産学コース】

- 家畜繁殖学
- 家畜繁殖学実験
- 家畜管理
- 家畜管理・繁殖学実験
- 家畜衛生学
- 家畜衛生学実験
- 畜産物利用学

- 酪農・畜産経営論
- 酪農・畜産経営論
- 肉用大家畜飼養学
- 肉用中小家畜飼養学
- 肉用家畜飼養学実習

【農学コース】

- 水稲栽培学
- 畑作物栽培学
- 作物栽培学実習
- 野菜園芸学
- 花き園芸学
- 園芸学実習
- 作物育種学
- 作物育種学実験

【農業経済学コース】

- 農業経営学
- 農業市場論
- 食料・農業政策学
- 協同組合学
- アグリビジネス論
- 地域連携論

【教職コース】

- 教職応用演習III

【実践酪農学・実践農学】

- 実践酪農学実習II
- 実践農学実習III

専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 農業施設学
- 雑草学
- 農業施設・機械学実習
- 栄養生理学
- 食品衛生学
- 公衆衛生学
- 食品物理学
- 食品流通論
- 食品資源学
- 食料経済論
- 保全生物学
- サステイナビリティ学
- 資源管理論
- 博物館実習

教職課程教育

- 農業科教育法I
- 農業科教育法II
- 職業指導I(農業)
- 職業指導II(農業)
- 理科教育法I
- 理科教育法II
- 社会科・公民科教育法I
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 社会科・地理歴史科教育法I
- 社会科・地理歴史科教育法II
- 理科教育法III
- 理科教育法IV
- 道徳教育指導論
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)

専門教育

- 卒業研究I
- 卒業研究II
- 研究発表
- 家畜繁殖技術論
- 受精卵移植論

- 畜産物利用学実習
- 実験動物学
- 果樹園芸学
- 農産加工学

- 【教職コース】
- 教職応用演習IV

教職課程教育

- 教職実践演習(中・高1免)
- 理科教育法III
- 理科教育法IV
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)

4 年次



循環農学類
作物栄養学研究室 4年
植松 大志さん
東京都/調布北高等学校出身

ボタに入社し、農業機械にかかわる仕事をします。でも、農業の勉強をつづけ、将来は同期の友人たちと循環農業を実践したいですね。本学は勉強やつながりを通じて、大きなスケールで農学が学べる場所です。

教員からのメッセージ

「健康な土」を微生物から追求する



蛍光顕微鏡での撮影映像はこちら

このことからわかるように、微生物が力を発揮できるように土の環境を整えることが作物づくりには必須です。微生物を育てるのは有機質の肥料です。した

植物は土から水とミネラル(窒素、リン、カリ)を吸収していますが、リンの根の根を覆うように付いている菌根菌というカビの一種が仲立ちして、リンを植物に送っていること。植物は菌根菌などの微生物と共生していることが、分子レベルで見えたのです。そのダイナミックな様子を蛍光顕微鏡で撮影し、YouTubeでも公開しています(<https://www.youtube.com/watch?v=YOpsNSB0h7c>)。これは海外の大学の授業などにも使われています。

がって家畜のふん尿を素材とした有機物IIたい肥を土に与え、作物の一部を家畜のえさとし、再びたい肥を作る。この循環の確立が、農業を永続的に行う要点になります。これは本学の創立理念である健士健民でもあります。実践にあたっては適正なたい肥の量、養分バランス、耕作方法など重要な要素が数多くありますが、大規模化が進む北海道でも可能な方法を追求しています。若い皆さんには日本の農業の将来を本気で考え、大きな課題を見つけてほしいですね。卒業生は本学で学んだことを生かし、就農はもちろん、農業改良普及員などの仕事を通じて農業の未来に貢献できます。

学生からのメッセージ

同期の仲間たちと新規就農の夢に向かって

私は非農家出身ですが、新潟の祖父が農家です。子どもの頃から毎年農業の手伝いをしており、循環農業に興味を持ち、本学へ。1年次の健士健民入門実習は牛の臭いも含めてすべてが新鮮で、循環農業を実感しました。3年次では先生の指導のもと、黒千石大豆の吸水に関する自主論文を書き、「日本調理科学会誌」に掲載されました。これは大豆を水につけるのではなく、濡らしたペーパーの上において吸水させると、色、硬さなどがどのように変化するかを調べたもの。豆ごはんにした時の見た目の良さもわかりました。24時間かかる実験を繰り返し、1年以上かけた成果です。卒

論は、ダンゴムシの糞が作物に与える影響がテーマ。これは土づくりに関係しています。本学は日本各地から学生が集まるので、さまざまな地域の農業を、友人を通して知ることができます。多彩な専門分野の先生方から、学問の垣根を越えて指導も受けられます。農業の話がたくさんでき、こんなに楽しい学生生活はありません。私はアイスホッケー部で3年次の時にインカレにも出場しました。実は学生結婚をし、子どもが生まれ、留年も経験しています。そんな私を支えてくれたのは、先生方と友人たち。本当に感謝しています。留年したこと、「学ぶことの大切さ」が身に沁み



循環農学類
作物栄養学研究室
小八重 善裕 准教授



[研究室一覧]

研究室	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
農畜産物市場論	相原 晴伴	教授	農畜産物・食料の流通の仕組み、需給や価格の動向を研究	7カ国ビジネス プラン開発 農業政策 農作物 農業経済学 稲
家畜遺伝学	天野 朋子	教授	遺伝情報を活用し、より能力の高い家畜を作出する	乳牛 肉牛 中小家畜 動物遺伝学 品種改良 バイオ
ルミノロジー	泉 賢一	教授	ウシの第一胃の秘密を探る	酪農 乳牛 飼料 牛乳 家畜飼育 牛舎
協同組合学	糸山 健介	准教授	協同組合とは何か?新しい協同の形を考察する	農業経済学 情報可視化 流通システム 農業政策 農村社会
農業政策学	井上 誠司	教授	農村にとって有効な農業政策について考察する	農業政策 農業経済学 農村 計画 地域資源 歴史
動物生殖工学	今井 敬	教授	バイオで牛をつくり育てる - 120µm※の卵子から800kgの肥育牛まで -	繁殖 受精卵移植 体外受精 生体顕微鏡 肉牛 乳牛
化学	大和田 秀一	准教授	化学で科学的思考を学ぶ	化学 新しい化学教授法の開発 物理化学 協同学習
環境微生物学	岡本 英竜	准教授	酪農環境における微生物による発酵メカニズムを解析する	微生物生態 難培養微生物の検出 集積培養
植物育種学	岡本 吉弘	准教授	水稻を中心とした遺伝育種に関する研究	農学 品種改良 バイオ 育種学 遺伝学 遺伝変異
天然物化学	小澤 修二	教授	植物の化学成分の構造を明らかにし、その生理活性を調べる	天然物 生理活性物質 化学 植物
理科教育	金本 吉泰	准教授	理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究	理科教育 コンピテンス 資質・能力 生命観
栽培学	亀岡 笑	講師	環境変動に適応可能な作物デザイン・栽培技術を考える	稲 畑作物 栽培技術 情報可視化 環境変動 根系発育
畜産衛生学	菊 佳男	准教授	家畜の健康を守り、生産者と消費者を守る考え方を学ぶ	乳牛 乳房炎 疾病予防 病態 薬剤耐性 馬
国際経済学	小糸 健太郎	教授	国際的な視野で食料・農業・地域の問題を学ぶ	農業経済学 貿易 生産性 食料自給率 社会調査 統計学
作物栄養学	小八重 善裕	准教授	作物の栄養と健康を見つめ、豊かな食料生産に貢献する	作物 栄養 土壌 共生 菌根菌 イメージング
キリスト教応用倫理学	小林 昭博	教授	現代世界の多様なテーマを聖書やキリスト教思想を通して読み解く	ジェンダー センソリティ 生命倫理 動物の権利 宗教 新約聖書
農業機械システム学	小宮 道士	教授	機械利用による安全かつ能率的、合理的な農作業を考える	農業機械 IT 技術開発 酪農 エネルギー 農業工学
植物病理学	藤田 優香	准教授	植物の病気を遺伝子レベルで解明し、農業被害を防ぐ技術につなげる	植物の病気 植物ウイルス 感染生理 病害抵抗性 遺伝子工学
草地・飼料生産学	三枝 俊哉	教授	草地・飼料作物の効率的な生産による持続的な土地利用技術の研究	草地 飼料 土 肥料 養分循環 情報可視化
食料経済分析学	佐藤 和夫	教授	多様化する「食と農」を分析する	食品安全性 国産志向 マーケティング 消費者 テータ分析 アンケート
生物学	佐藤 元昭	教授	昆虫の細胞を用いた細胞分裂機構の研究	細胞分裂 細胞培養 顕微鏡 フラハート
土壌環境学	澤本 卓治	教授	土壌を中心とした物質動態とその環境との関わりを研究	土 肥料 農学 化学 情報可視化
農業科教育課程	志賀 聡	教授	教科「農業」における理論と実践が融合する指導法や教育課程の研究	教職 教育課程 理論と実践 教材開発 地域の実際 北海道農業
農場生態学	園田 高広	教授	野菜と病害の生理生態を踏まえた栽培法や病害防除法の開発	情報可視化 野菜園芸 栽培技術 品種改良 植物病理
環境会計	玉川 真弓	教授	農業経営を支える会計リテラシーの醸成	簿記 会計 環境 財務 経営 地域
家畜飼料学	土井 和也	助教	輸入飼料に依存しない家畜生産を目指して	情報可視化 酪農 乳牛 飼料 家畜飼育 土地利用
家畜繁殖学	堂地 修	教授	牛の人工授精、胚移植、体外受精、繁殖管理、肉牛の飼養管理に関する研究	繁殖 人工授精 受精卵移植 体外受精 肉牛 乳牛
農業科教育	飛谷 淳一	准教授	実践的・体験的な学習活動を通じた農業教育に関する研究	教職
家畜栄養学	中辻 浩喜	教授	草食家畜の栄養生理学を基本に土地利用型乳肉生産を実現する	酪農 乳牛 栄養 飼料 草地 放牧
農業昆虫学	中平 賢吾	准教授	天敵利用などの農業昆虫に関する研究	情報可視化 昆虫 害虫 農学 農業 技術普及
家畜生産改良学	西寒水 将	講師	経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計	肉牛 乳牛 牛群整備 人工授精 受精卵移植 ゲノミク評価
実践農学	猫本 健司	准教授	畜産環境や循環利用ならびに営農や就業に関する現況や課題の整理	畜産環境 家畜管理 糞尿処理 排水処理 経営評価 新規就農
酪農・畜産経営論	日向 貴久	准教授	優れた経営管理と農村地域の持続に向けた合意形成を考える	酪農 経営管理 会計 意思決定 農村社会 合意形成
農業科環境教育	廣瀬 之彦	教授	SDGsの視点による探究活動を通じ、農業教育の在り方を研究する	農業教員養成 農業科実践 学習指導要領 情報可視化 SDGs 探究活動
英語圏文化	藤田 佳也	教授	「言語」「文化」「表現」を読み解く方法について学ぶ	文学 英語 言語 文化 表現 芸術
農食法制度論	正木 卓	准教授	農業・農村・食料を支える法制度のあり方を考える	農業法制度論 農業経済学 農業政策 農村社会 地域連携
家畜育種学	増田 豊	准教授	データに基づく確実な選抜で家畜の性質を遺伝的に改善する	育種改良 ゲノミクス ゲノム選抜 統計学 乳牛 肉牛
食物利用学	宮崎 早花	講師	おいしい食べ物とは何かさまざまな視点から考える	食品安全性 食品 農産加工 調理
統計学	毛利 泰大	助教	農村・農業・食料における社会現象に対する統計学を応用した実証分析	統計学 社会科学 社会調査 農村社会 食料生産
園芸学	森 志郎	准教授	花きを中心とした新規園芸植物の作出と高品質栽培技術の確立	園芸 花き 植物 品種改良 バイオ 栽培技術
家畜管理・行動学	森田 茂	教授	「家畜に配慮」した人・牛に優しい管理システムを動物行動から構築する	酪農 乳牛 牛舎 家畜福祉 動物行動 肉畜生産
人と動物の関係学	山田 弘司	教授	人と動物の相互理解とよりよい関係を目指して	動物心理学 動物行動学 乗馬セラピー 動物福祉 動物園 動物福祉
中小家畜飼養学	山田 未知	教授	豚および鶏の効率的な飼養管理技術を探求する	肉畜生産 中小家畜 家畜飼養 人工授精 飼育環境 エコファード
農業経営学	吉岡 徹	教授	経営調査を通して農業経営が成り立つ条件や方法を考える	農業経済学 農業経営 情報可視化 農村社会 農業6次化
農村計画論	吉野 彦彦	教授	農村人口を減らさないために、農業のコスト低下、付加価値生産、経営の多角化を考え、支える	農業経済学 酪農 経営 農村社会 情報可視化 IT
作物学	義平 大樹	教授	人類生存に不可欠な穀物類の良質多収栽培法の研究	作物栽培 畑作物 栽培技術 農作物 肥料 飼料
資源植物学	我妻 尚広	教授	植物群落の保全や緑化を目的とした植物の生態遺伝学的研究	植物 品種改良 植物遺伝 遺伝的多様性 植物生理 緑化

※ μ=マイクロメートル

pickup
ピックアップ研究室
循環農学類

ルミノロジー研究室

泉 賢一 教授

ウシの第一胃の秘密を探る

ウシは4つの胃を持っていますが、特に第一胃（ルーメン）には牧草を牛乳や肉に作り変えるための驚くべき秘密が隠されています。ルミノロジー研究室では、そんな魅力と驚きのつまったルーメンの研究をしています。

ルーメンの驚きポイント：

- とても大きい！なんと、そのサイズは200リットルといわれています。
- 大量のエサと天文学的数の微生物が生活している！牛が食べたエサを、住宅+食品貯蔵庫として、無数の微生物たちが生息しています。私たちの研究室では、どんなエサを食べたら、ルーメン内の微生物が元気になる、牛乳がたくさん出るのか、そんなことを日々考えています。

🔍 学びのkeywords | ●酪農 ●乳牛 ●飼料 ●牛乳 ●家畜飼育 ●牛舎



pickup

2 pickup

環境変動に適応可能な作物デザイン・栽培技術を考える

水稻をはじめとした作物生産は私たちの食生活に欠かせません。しかし近年、そんな作物生産を脅かすほど、国内外で環境変動が深刻化しています。持続可能な作物生産を目指すには、環境変動の内容理解を前提として、作物の環境適応能力と、その能力を引き出すための適切な栽培技術の両方が必要となります。栽培学研究室では、国内外の作物生産環境の現状を学習しながら、作物の生理形態、ならびにそれらに基づく基礎・応用的な既存の栽培技術について理解を深め、深刻化する環境変動下での持続的な作物生産を目指すための新たな栽培技術について研究します。

🔍 学びのkeywords | ●稲 ●畑作物 ●栽培技術 ●持続可能な農業 ●環境変動 ●根系発育



栽培学研究室

亀岡 笑 講師

家畜生産改良学研究室

西寒水 将 講師

経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計

最近、乳牛および肉牛の農家1戸当たりの飼育頭数は増加しています。多頭数経営においては、牛の生産能力を均一化することが大切であり、そのためには計画的な牛群整備が必要です。高能力牛の後継牛を効率的に生産するために、乳牛では性選別精液が人工授精に限らず過剰排卵誘起処置および体外受精にも利用されており、今日では性別をコントロールした受精卵の生産にも必要不可欠です。牛群整備プログラムの設計・実行、そのための能力評価値、ゲノミック評価値、性選別精液および受精卵移植技術等の繁殖技術の有効活用について学びます。

🔍 学びのkeywords | ●肉牛 ●乳牛 ●牛群整備 ●人工授精 ●受精卵移植 ●ゲノミック評価

3 pickup



1頭の高能力牛より受精卵移植技術で生産された5頭の姉妹

酪農・畜産経営論研究室

日向 貴久 准教授

優れた経営管理と農村地域の持続に向けた合意形成を考える

酪農をはじめとする畜産経営では、経営者は飼養、繁殖、飼料生産といった複数の部門を管理します。安定した経営を継続するために、経営者は日々自らの経営に関するさまざまな意思決定を行います。意思決定には、現在の経営状況と、経営を取り巻く外的要因に関する正しい理解が不可欠です。また、経営の目標は所得の最大化や労働時間の削減等、人によって異なり、意思決定にも影響を与えます。本研究室では、合理的な経営管理をテーマに、意思決定に向けた判断と選択の方法を考えます。また、農村地域を持続させるための行政や住民の合意形成方法を研究します。

🔍 学びのkeywords | ●酪農 ●経営管理 ●会計 ●意思決定 ●農村社会 ●合意形成



4 pickup



畜産試験場の技師として 地元貢献したい。

循環農学類 畜産学コース >>>

長野県畜産試験場 養豚養鶏部

くらしな たえか
倉科 妙香さん

2017年3月卒業 長野県/南安曇農業高校出身



家畜の命に向き合い、人の食を支えている畜産を学びたいと、酪農学園大学へ入学。在学中は中小家畜研究会に所属し、主に羊を飼育、繁殖させていました。品種の交配を考えたり、出荷して食べるまでを学べる、楽しい活動でした。現在は畜産試験場の技師として、豚の飼養管理や飼料給与の技術開発をしています。併設する農業大学校で授業をしたり、豚の出荷手続きや優秀な雄豚の精液を販売普及もしています。県の畜産に貢献できることにやりがいを感じ、地元の養豚を盛り上げたいと思っています。

大学の肉畜生産ステーションで2年間アルバイトをし、鶏や羊の畜舎の掃除や給餌の管理、豚の繁殖・肥育などを経験しました。先輩・先生方から家畜の扱い方や飼育管理について多くのことを教えていただき、今の仕事にとても役に立っています。

大学では多様な勉強や経験ができます。アライグマの捕獲アルバイトも経験し、卒業前に狩猟免許を取得しました。自分ができることが広がるのはとても楽しいことです。ぜひ、色々なことに挑戦し、さまざまな経験をしてほしいと思います。

酪農家と乳業メーカー 発展の架け橋に

酪農学部 酪農学科 >>>
(現・循環農学類)

株式会社明治 札幌工場

おがわ けいじ
小川 啓示さん

2010年3月卒業
北海道/武修館高校出身



私の実家は酪農家。小さい頃から食べることで動物が大好きで、高校生の時には食品や動物にかかわる仕事がしたいと思っていました。その両分野が学べる大学として、私の理想と最も合致していたのが酪農学園大学でした。

酪農学科では、酪農や食に関する座学だけでなく、学内の農場で牛の胃の中に手を入れて内容を調べたり、学外実習では酪農家の所で牛の世話をしたりしました。難しい内容も自分が学びたいと思っていたことなので、楽しんで学習できました。講義の後は、日本拳法部で鍛錬。ゼミは酪農天然物化学研究室で、友人や先輩と植物成分の有用性について研究しました。

現在は、株式会社明治の札幌工場に勤務しています。夢だった「食品や動物にかかわる仕事」を実現するにあたって、乳業は食品、動物(牛)のどちらにもかかわることができる理想の職業です。工場では、酪農家から集乳したタンクローリーの受け入れ、検査、そして乳飲料やヨーグルトを製造する業務を一貫して担当しています。食品を扱う責任ある仕事に、とてもやりがいを感じます。酪農家と乳業メーカーのさらなる発展への架け橋となれるよう努力していくことが、今の目標です。

酪農学園大学でしか学べないことを実践し、よく学び、よく食べ、よく遊んでください!



好きなことに夢中になった時間が 私の土台です

酪農学部 酪農学科 >>>
(現・循環農学類)

ANA新千歳空港株式会社

たにくち あきこ
谷口 明子さん

2010年3月卒業
北海道/藤女子高校出身



私は入社して3年間は新千歳空港の国内線ターミナルのANAカウンターでの搭乗手続き、現在は国際線ターミナルで受託している海外航空会社を利用されるお客様の搭乗手続きを行っています。以前、あるご家族の娘さんがグランドスタッフに憧れていると聞き、搭乗ゲートで夢を応援するメッセージカードをお渡ししたら、旅行先からはがきをいただいたことが、印象に残っています。

この仕事は、私にとっても小さい頃からの憧れでした。当社には明るく親しみやすい印象があり、入社しました。グランドスタッフの仕事は早朝出勤があり、お客様のカバンを持ち上げる、空港内を走り回るなど体力が勝負。酪農研修で働かせていただいた経験が、今の仕事にも生かされています。

動植物が好きで、広いキャンパスと自然の豊かな環境で学べるので、酪農学園大学に入学。友達と芝生でソフトクリームを食べていた時間が、一番の思い出です。実践的な授業が多く、気の合う仲間にも会えて、毎日が楽しく過ぎていきました。進路に迷っている人は、酪農学園大学で自分のやりたいことを探してみるといいと思います。

4年間夢中になれることが きっと見つかる大学です

循環農学類 >>>

公益社団法人日本軽種馬協会 (静内種馬場 研修課)

よしい
吉井 ちひろさん

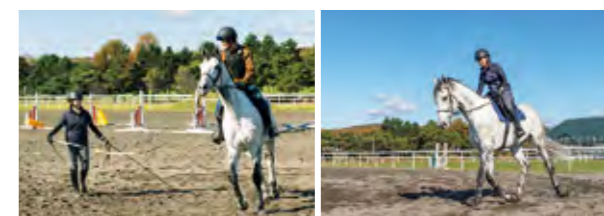
2020年3月卒業
栃木県/宇都宮中央女子高校出身



将来、動物にかかわる仕事がしたいこと、馬術部があること、そしてサラブレッド生産の本場である北海道で暮らしてみたいことから本学に入学。動物の飼育だけでなく、草地の管理や知識を学んだことも、今の仕事に役立っています。馬術部で馬の取り扱いや騎乗技術を身に付けられたことも、大きいですね。

馬術部の合宿で静内種馬場を訪れる機会があり、現在の職場を目指しました。軽種馬牧場で働く人材を養成する生産育成技術者研修の教官として、研修生に馬の取り扱いや騎乗を指導しています。私自身が外部研修を受けるなど日々勉強中で、教官として未熟で補佐的な立場ですが、研修生たちが馬の楽しさを感じながら成長していく姿に、やりがいを感じています。

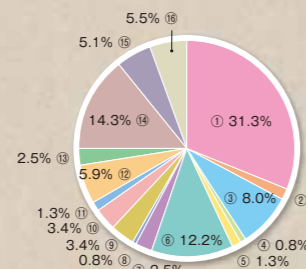
大学生活で一番の思い出は、馬術部に入った10人の同期が全員4年後に卒部できたことですね。北海道はサラブレッド生産だけでなく、日本の農業の本場。酪農学園では、本場の農業をリアルに学べます。私も研究室でさまざまな企業や農場の見学に行けたことで、興味の範囲が広がりました。動物が好き、自然が好き、北海道で暮らしてみたい。そんな人にも本学をお勧めします。私もそうでしたが、4年間夢中になれることが、きっと見つかります。



循環農学類 就職実績

就職先分野別グラフ(2019年度卒業生)

- ① 農業・林業
- ② 建設業
- ③ 製造業
- ④ 情報通信業
- ⑤ 運輸業・郵便業
- ⑥ 卸売業・小売業
- ⑦ 金融業・保険業
- ⑧ 不動産業・物品賃貸業
- ⑨ 学術研究・専門・技術サービス業
- ⑩ 宿泊業・飲食サービス業
- ⑪ 生活関連サービス業・娯楽業
- ⑫ 教育・学習支援業
- ⑬ 医療・福祉
- ⑭ 複合サービス事業
- ⑮ サービス業
- ⑯ 公務



就職率
99.6%

就職者数 **237人**
(うち自営者数 37人)
進学者数 **4人**

酪農学園大学キャリアセンター
SNS・HPで情報発信中!

Facebook



Twitter



HP



食と健康学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences
Department of Food Science and Human Wellness

「食べるは生きる」
食を通じて人々を笑顔に



学びの流れ

4年次	3年次	2年次	1年次
基礎教育 ・外国語教育 ☆1 ・キャリア教育 ☆1 専門基礎教育 ・基礎科学領域(B群) ・食と健康学類専門基礎領域(A群、B群) ・共通領域 ・管理栄養士コース専門基礎領域 ☆2 ・全学共通専門基礎領域 専門教育 ・専門共通教育 ☆1 ・食資源開発学コース専攻教育 ☆1 ・食流通開発学コース専攻教育 ☆1 ・管理栄養士コース専攻教育 ☆2 ・教職コース専攻教育 ☆1 ・食と健康学類教育 教職課程教育 ・A群、B群 ☆1 ・B群 ☆1	基礎教育 ・外国語教育 ☆1 ・キャリア教育 ☆1 専門基礎教育 ・基礎科学領域(A群、B群) ・食と健康学類専門基礎領域(A群、B群) ・共通領域 ・管理栄養士コース専門基礎領域 ☆2 ・全学共通専門基礎領域 専門教育 ・専門共通教育 ☆1 ・食資源開発学コース専攻教育 ☆1 ・食流通開発学コース専攻教育 ☆1 ・管理栄養士コース専攻教育 ☆2 ・教職コース専攻教育 ☆1 ・食と健康学類教育 教職課程教育 ・A群、B群 ☆1 ・B群 ☆1	基礎教育 ・人文社会科学教育 ・自然科学教育 ・保健体育教育 ☆2 ・情報教育 ☆2 ・外国語教育 ☆1 ・キャリア教育 ☆1 専門基礎教育 ・基礎科学領域(A群、B群) ・食と健康学類専門基礎領域(A群、B群、C群) ・共通領域 ・管理栄養士コース専門基礎領域 ☆2 ・全学共通専門基礎領域 専門教育 ・専門共通教育 ☆1 ・食資源開発学コース専攻教育 ☆1 ・食流通開発学コース専攻教育 ☆1 ・管理栄養士コース専攻教育 ☆2 ・教職コース専攻教育 ☆1 ・食と健康学類教育 教職課程教育 ・A群、B群 ☆1 ・B群 ☆1	基礎教育 ・酪農学園導入教育 ・保健体育教育 ・キャリア教育 ・人文社会科学教育 ・情報教育 ☆1 ・自然科学教育 ・外国語教育 専門基礎教育 ・管理栄養士コース ・専攻教育 ☆2 ・基礎領域 ☆2 専門教育 ・管理栄養士コース ・専攻教育 ☆2 教職課程教育 ・B群 ☆1



食と健康学類の紹介動画はこちら

(管理栄養士コース含む) ☆1 管理栄養士コースは除く。☆2 管理栄養士コースのみ。



1 青果物計量販売実験
2 過熱水蒸気オーブンによるパン焼成試験
3 調理は科学です。管理栄養士として食に貢献できるスキルを習得します
4 発酵食品から分離した微生物の顕微鏡観察
5 くん煙後のソーセージをボイルしています

「好き」をかたちに

学びのポイント

POINT 1

1年次には作物栽培や家畜に触れる農場実習で生産現場を体験

食品全般を理解するため、土から育てた作物が人の体の中で変化するまで、一連の流れを体験しながら学べます。1年次には畑に種をまいて育てた野菜の収穫を行い、また、牛や羊、豚など家畜に触れて食品のもととなる生産現場を体験します。

POINT 2

安全・安心な「食品」の製造・加工・流通から健康・医療分野までをカバー

食の分野は、安全性やアレルギーの問題、食料自給率の低下、高齢者向けの食品開発の必要性などさまざまな課題を持ち、食品にとどまらず健康・医療まで密接なかわりがあります。これらを体系的に学び、それぞれの専門性を深めていきます。

POINT 3

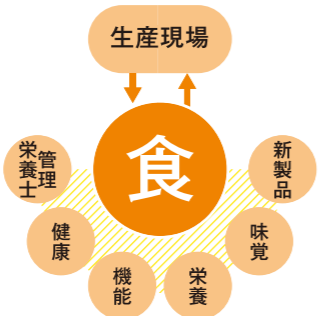
学内にある乳製品や肉製品製造実習工場で体験を通じて食を学ぶ

ハムやベーコン、ソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやバター、アイスクリームをつくる乳製品製造実習室と、室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。※管理栄養士コースを除く。

POINT 4

管理栄養士国家試験合格を目指す専門コースを設置

国家資格である管理栄養士は社会的に需要が高く、取得すると活躍の場が広がります。専門コースでは、合格を目指した高度で効率的な学習ができます。



取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 中学校教諭1種(理科/社会)
- 高等学校教諭1種(理科/農業/公民)
- ※教職コースに所属しなくても教員免許の取得は可能です。
- 管理栄養士コースを除く。
- 准学校心理士 ※管理栄養士コースを除く。
- 栄養士 ※管理栄養士コースのみ。

任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後、その職務に就いて初めて効力を発揮する資格です。

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者

受験資格

必要要件を満たせば受験する資格が得られます。

- 管理栄養士国家試験 ※管理栄養士コースのみ
- 専門フードスペシャリスト (食品開発) ※管理栄養士コースのみ
- 専門フードスペシャリスト (食流通) ※管理栄養士コースのみ
- 管理栄養士コースを除く。

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級3級
- 販売士2級3級
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3) ※管理栄養士コースを除く。
- 食品衛生責任者
- 学芸員

目指す職業

- 食品製造業
- 食品卸売・小売業
- 宿泊飲食サービス業
- 農業協同組合
- 教育学習支援業
- 教員
- 公務員 など
- 管理栄養士コース
- 医療福祉施設
- 食品製造業
- 給食委託業
- 宿泊飲食サービス業
- 公務員 など



3・4年次 専門教育 コース紹介

3・4年次
専門教育

管理栄養士コース

土から作物、そして「食と健康」という建学の精神を基本とした教育により、栄養管理のプロフェッショナルとして最前線に立つ管理栄養士を育成する。

※管理栄養士コースは1年次よりコースに所属。

コースTOPICS

- 1学年40人の少人数クラスで、きめ細かな教育と国家試験対策が可能
- 全国トップクラスの管理栄養士国家試験合格率(2016-20年度の5年間の平均合格率98.0%)
- 酪農学園大学ならではの本格的な設備で、食品の加工技術を学ぶことができる
- 食品系企業と学生のコラボによるメニュー考案や商品企画・開発を実施
- 毎年、各種レシピコンテストでの入賞実績がある
- 抗酸化機能分析教育研究センターを開設し、食品の機能性研究が充実
- スポーツ栄養学を学べる研究室がある
- HACCPシステム実務者養成科目を授業として展開中



TOPICS

抗酸化機能分析教育研究センター

生活習慣病や老化などに密接にかかわる「活性酸素」を消去する作用をもつ「抗酸化物質」に着目し、分析・研究および食品開発を行う。

3つのテーマを掲げて活動展開

- 1 抗酸化機能に関する分析・研究(素材ライブラリーの構築、分析データベースの公開)
- 2 抗酸化力を有する新規食素材の探索や食品の開発
- 3 大学・地域における食育活動(学生研究、講演会・セミナーなど)

学生たちの研究活動紹介

ハーブティーは心と体を癒やし、健康に良い飲み物として知られていますが、私たちは卒業研究でハーブの抗酸化機能について研究しました。研究室での実験だけでなく、農園でハーブを栽培し、収穫、加工を体験して取り組んだ研究はとても充実感がありました。

大谷教授から一言

私たちはストレスがかかることにより体の中に活性酸素が過剰に産生され、ダメージを受けています。それに打ち勝つためには「抗酸化物質」の摂取が重要です。どのような食品をどのように摂れば良いのか研究してみませんか。



- ①凍結乾燥機
食素材を凍結し、凍った水分を減圧により昇華させて、乾燥させる機器
- ②高速溶媒抽出装置
高温・高圧下において溶媒抽出を迅速に行う機器
- ③ポリフェノール分析器
抗酸化作用をはじめとした機能性に関するポリフェノールを分析する

3・4年次
専門教育

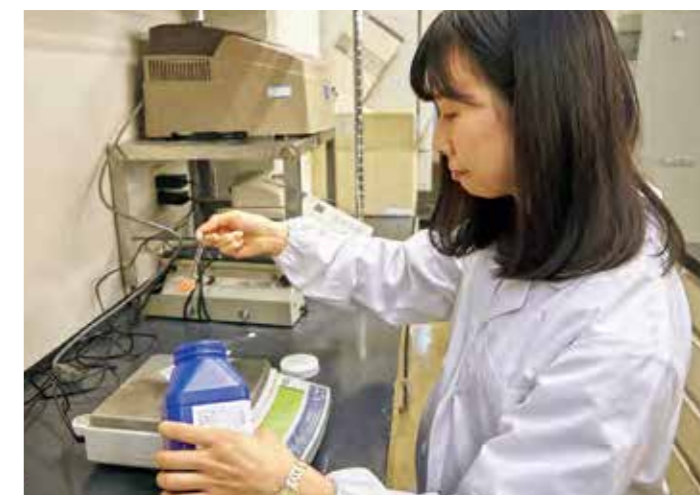
食資源開発学コース

食とモノのかかわりを学ぶ!

食品科学の知識を基に、食資源である生物素材の特性と機能の分析・解析技術を習得し、食品の分析業務、製造・品質管理現場ならびに新規食品事業開拓に役立つ人材を養成する。

コースTOPICS

- 農畜水産物の持つ栄養、機能性、道産素材の付加価値向上などに関する最新の研究ができる
- 食品の科学にかかわる諸問題の解決策を示すための論理的な思考力と問題解決力が身に付く
- HACCPシステム実務者養成科目を含め、食品衛生管理・生産管理業務に役立つ知識と技術が身に付く
- オリジナルラベルのワイン製造は5年目に突入し、キャンパス内でのブドウ栽培も行う
- 食品メーカーや機器メーカーとさまざまな食材や加工装置を用いた新商品や新技術を開発中
- さまざまな機器分析により、おいさを物理学的視点で捉える研究を展開中
- 電子顕微鏡と原子間力顕微鏡による充実した食品微細構造の研究が可能
- 将来は、研究開発・生産管理職などの開発職、技術職を目指す



3・4年次
専門教育

食品流通開発学コース

食とヒトのかかわりを学ぶ!

広く食品科学の知識を習得し、それを基に食品の物流ならびにマーケット調査を基にした商品としての食品開発とその市場価値創生に貢献できる人材を養成する。

コースTOPICS

- 日本の食糧基地である北海道は食品流通の勉強にも最適
- 食品流通、食品企画開発、市場調査などの知識や技能を学べる
- 学内外の販売実習、企業との共同研究やフィールドワークにより、企画開発、食品製造、品質管理、流通技術などに関する実践的な研究ができる
- 地域資源を活用した商品開発、マーケティング調査、販売実習を企業や自治体とコラボ展開中
- 食品を開発するために食資源の加工特性、保存性などの基本的な知識や適切な手段を身に付ける
- 食産業に従事する者としての社会的な役割と責任を理解し、食品関連産業の発展に貢献する力を養成する
- HACCPシステム実務者養成科目を授業として展開中
- 将来は、商社などの総合職や商品企画職を目指す



ゼミで研究の面白さを知り、大学院志望に

私は食品や農業の授業も受けられるので、本学を志望しました。1年生の健士健民入門実習では初めて牛を触り、搾乳するなど、期待通りの面白さでした。また、基礎ゼミ農園では学生10人で1グループをつくり、畑が与えられます。自分たちで育てる野菜を決め、種をまき、育て、収穫し、さらにその野菜を調理します。このプロセスをすべて写真に撮っておき、最後に1枚のポスターをつくってコンテストをします。これは半年がかりですが、チームワークも試される良い経験になりました。

給食実習授業はとても実践的です。20人が1グループになり、献立下処理・調理の3

班に分かれ、50食以上の給食を6回つくりました。各回とも、たとえば「20代女性向け、秋のメニュー」といったテーマが出されます。献立担当になったら、下処理、調理の時間、コストなどを考慮して、素材選びや発注方法たとえば肉を塊で買うか、処理済で買うかから考えます。大変ですが、役に立つ授業です。

卒業研究では、酪農学園大学附属とわの森三愛高校の生徒を対象に調査を行っています。新型コロナウイルスによる自粛時の食生活やエナジードリンク、睡眠、うつ状態と食生活の関係などを調べています。卒業後は臨床、栄養など幅広い分野の専門研究者がいる本学の大学院に進学したいですね。特に公衆衛生、公衆栄養について学びたいと思っています。ゼミで研究の面白さに目覚めるとともに、管理栄養士も色々な分野で活躍できることを知りました。本学は管理栄養士になるだけではなく、社会的な視野を広げてくれる大学です。



食と健康学類
給食栄養管理研究室3年
吉田 篤司さん
北海道旭川市/旭川南高等学校出身

食と健康学類
給食栄養管理研究室3年
吉田 篤司さん
北海道旭川市/旭川南高等学校出身

【カリキュラム】

☆1 管理栄養士コースは2年次開講 ☆2 管理栄養士コースは除く ☆3 外国人留学生のみ ※この内容は2021年4月1日現在のもので今後変更もあります。

1年次

基礎教育

- 基礎演習
- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 健士健民入門実習
- 農食環境学概論
- 哲学 ☆1
- 心理学 ☆1
- 文学 ☆1
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学 ☆1
- 法学 ☆1
- 日本国憲法 ☆1
- 経済学 ☆1
- 数学I
- 数学II
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学 ☆1
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎 ☆1
- 情報処理基礎演習 ☆1
- 英語I
- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆3
- 日本語II ☆3
- キャリア実習

専門基礎教育

- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

【管理栄養士コース】

- 医学概論
- 解剖生理学I
- 解剖生理学II
- 生化学I

【生化学II】

- 生化学実験・実習I
- 生化学実験・実習II
- 食品学
- 調理学

【食品学実験・実習I】

- 調理学実験・実習I
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

専門教育

- 基礎栄養学

教職課程教育 ☆2

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

2年次

基礎教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理学実験
- 地学実験
- 外国語演習I
- 外国語演習II
- 中国語I
- 中国語II
- ハングルI
- ハングルII
- キャリアベーシック

専門基礎教育

- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学 ☆2
- 微生物学 ☆2
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 民法・商法
- 行財政学概論
- 経済原論
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 経営学総論
- 日本経済論
- 食品化学

- 乳科学
- 食肉科学
- 応用生化学
- 食品産業論
- マーケティング論
- 家畜解剖学
- 家畜生理学
- 畜産学総論
- 作物栽培学
- 情報処理演習
- 国際経済論
- 国際法
- 農業機械学
- 草地・飼料作物学
- 園芸学
- 農業経営学概論
- 農業政策学
- 家畜行動学

- 食料農業の法と制度
- 家畜生理・解剖学実験
- 農業微生物学実験
- 農産物利用学実習
- 作物生産生理学実験
- 学外農場実習
- 生物分類学
- 野生動物学の基礎
- 動物生理学
- 生物地球化学
- 植物生態学
- 気象学の基礎
- 自然環境学実験・実習
- 動物形態機能学
- アジア環境学
- 環境法
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習

- 海外自然環境実習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 簿記・会計学概論
- 農業協同組合論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学
- 社会調査法
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- 国際関係論
- 国際理解

【管理栄養士コース】

- 公衆衛生学
- 社会福祉概論
- 運動生理学
- 微生物学
- 解剖生理学実験・実習I
- 解剖生理学実験・実習II
- 食品加工学
- 食品学実験・実習II
- 調理学実験・実習II

専門教育

- 食品総合実験

- 臨床栄養学I
- 臨床栄養学実験・実習I
- 公衆栄養学I
- 給食経営管理論I

- 【教職コース】 ☆2
- 教職インターンシップ
- 教職応用演習I
- 教職応用演習II

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論
- 地誌

- 【教職コース】
- 農業科教育法I
- 農業科教育法II
- 理科教育法I
- 理科教育法II
- 社会科・公民科教育法I

- 社会科・公民科教育法II
- 社会科・地理歴史科教育法I
- 社会科・地理歴史科教育法II

3年次

基礎教育

- 外国語演習I
- 外国語演習II
- キャリアデザインI ☆2
- キャリアデザインII ☆2

専門教育

- 専門ゼミナールI ☆2
- 専門ゼミナールII ☆2
- 食品品質管理論
- 食品流通情報システム論
- 農産資源利用学
- 【食資源開発学コース】 ☆2
- 食品栄養学
- タンパク質化学
- 食品機能論
- 食品工学
- 食品栄養化学実験

- 生化学実験
- 食品微生物学実験
- 食品品質特性学実験
- 食品品質特性学実習
- 食品企画開発実習
- 乳肉製造学実験実習
- 食品微生物学
- 肉製品製造学
- 食品物性学
- 【食品流通開発学コース】 ☆2
- 食品マーケティング戦略論
- 食品物流管理論

- アグリビジネス論
- 食品栄養学
- 食品企画開発論
- 食品品質特性学実験
- 食品企画開発実習
- 乳肉製造学実験実習
- 食品微生物学
- 肉製品製造学
- 肉製品製造学
- 食品物性学

- 【管理栄養士コース】
- 総合演習I
- 応用栄養学III
- 栄養学実験・実習II
- 栄養教育論
- 栄養カウンセリング論
- 栄養指導論実習I
- 栄養指導論実習II
- 臨床栄養学II
- 臨床栄養管理論
- 高齢者臨床栄養学
- 臨床栄養学実験・実習II

- 公衆栄養学II
- 公衆栄養学実習I
- 給食経営管理論II
- 給食管理実習I
- 【教職コース】 ☆2
- 教職応用演習III

専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 食品物理化学
- 栄養生理学
- 食品流通論
- 食品資源学
- 食品衛生学 ☆2
- 公衆衛生学 ☆2
- 食料経済論

- 農業施設学
- 雑草学
- 農業施設・機械学実習
- 保全生物学
- サステイナビリティ学
- 資源管理論
- 博物館実習

- 【管理栄養士コース】
- 健康管理概論
- 病理学
- 食品衛生学
- 食品加工学実習
- 食品衛生学実験・実習

- 農業科教育法I
- 農業科教育法II
- 職業指導I(農業)
- 職業指導II(農業)
- 理科教育法I
- 理科教育法II
- 社会科・公民科教育法I
- 社会科・公民科教育法II

- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 社会科・地理歴史科教育法I
- 社会科・地理歴史科教育法II
- 道徳教育指導論

- 【教職コース】
- 理科教育法III
- 理科教育法IV
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)

4年次

専門教育

- 卒業研究I ☆2
- 卒業研究II ☆2
- 研究発表
- フードコーディネート論

- 【管理栄養士コース】
- 総合演習II
- 給食管理実習II
- 臨床栄養学実習I
- 臨床栄養学実習II
- 公衆栄養学実習II
- 健康栄養学演習I
- 健康栄養学演習II

- 【教職コース】 ☆2
- 教職応用演習IV

- 教職実践演習(中・高1免)
- 理科教育法III
- 理科教育法IV
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)

教員からの メッセージ ...

「人を取り巻く環境と食」について考える

屋さんと、農業生産法人、私たちのペーパンの一環として、地元のパン

私の専門は栄養疫学です。これは多くの人の食習慣を調査して、どういった食習慣の人が、どんな行動をしているかどんな病気を持っているかなどを明らかにします。私たちの周囲には食べ物についての情報があふれていますが、適切なものばかりではありません。研究室では栄養疫学の調査方法や考え方をしっかり身に付け、「人を取り巻く環境と食」を考える教育をしています。特に給食は多くの人に食を提供する立場であり、栄養疫学を取り込む必要があります。

食事は「喜んでもらえるもの」であり、栄養価だけではなく食文化などを考える必要があります。たとえば江別市の委託を受けて、私たちが市民約1600人を調査したところ、市民の野菜不足がわかりました。そこで江別市の「1日に70グラム野菜を摂ろう」キャンペーンの一環として、地元のパン



食と健康学類
給食栄養管理研究室
小林道 准教授



研究室で郷土料理コンテストに参加(写真:郷土料理コンテストHPより)



地元のパン屋さんとコラボ

の三者がコラボレーションし、学生たちが地元野菜を使ったフロッコリー・コロケパーガーやナスとスティッキーニのドライカレーパンなど、11種類を企画し、商品化しました。学生は試作から売れ行きまで一貫して経験し、社会と関係性を持ったアウトプットができました。

このように調査を出発点として、健康を考えたメニューに結実させたのも、栄養疫学の良い実践例です。また、こうした経験を通じて、学生たちは喜んでもらう食事を作るために必要な企画力が身に付きます。大学を基盤に地域としっかり連携して、社会に役立つ管理栄養士に成長してほしいですね。



研究室	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
食品企画開発	阿部 茂	教授	食品企業や自治体が求める新たな食品加工技術や新商品の開発を行う	食品企画開発 加工技術開発 6次産業化 食品製造・加工 マーケティング 過熱水蒸気
応用生化学	岩崎 智仁 長谷川 靖洋	教授 助教	骨格筋と食肉の生化学ならびに細胞組織学的研究	骨格筋 酸化ストレス 筋損傷と再生 食肉生産 食肉生化学 各種顕微鏡技法
数学	上野 岳史	教授	自然演繹における部分構造論理の正規化可能条件についての研究	数学 数理科学 圏論 部分構造論理 論理構造の解明
物流科学	尾崎 亨	教授	リユース容器と計量販売による物流コスト削減に関する実証的研究	流通 コスト リユース容器 計量販売 省資源 循環
マーケティング	長村 知幸	講師	消費者の心をつかむ製品・サービスを考える	マーケティング 企業経営 消費者行動 地域ブランド イノベーション
食品栄養化学	小野寺 秀一 上野 敬司	教授 准教授	食資源を有効活用し、新しい機能性食品素材を開発する	オリゴ糖 3次機能 生活習慣病 腸内細菌 アスパラガス 動物実験
食品物性学	金田 勇 川端 庸平	教授 准教授	分子ガストロノミーを志向した食品の物理学	食感改質 食品レオロジー 分子ガストロノミー 食品加工 食品の構造 食品コロイド
教育発達心理学	須賀 朋子	教授	学校現場で必要な教育心理学、特別支援教育を追求する	特別支援教育 教育心理学 DV 不登校 教育問題
乳製品製造学	竹田 保之 栃原 孝志	教授 講師	・発酵乳製品の微生物叢および乳酸菌の機能解析と利用に関する研究 ・生理活性物質を含む乳・乳製品の食品への利用可能性に関する研究	牛乳 チーズ ヨーグルト 乳酸菌 生理活性物質 食品開発
食品流通技術	樋元 淳一	教授	農産物や食品の品質を保つための、選別、貯蔵、包装、輸送の技術開発	食品包装資材 青果物 品質 貯蔵 輸送
肉製品製造学	船津 保浩 前田 尚之	教授 准教授	食肉製品および魚肉練製品の製造原理と品質改良に関する研究	食肉製品 魚肉練製品 ソーセージ ハム ベーコン 肉置(ししお)
食品生産システム	本田 康夫	教授	生産管理の基礎を学び、食品産業での生産性向上を考える	食の安全・安心 食品製造 食品加工 品質管理 生産管理 企業経営
流通情報システム	三谷 光照	准教授	流通業における情報システムの進化を支える情報技術(IT)に関する研究	流通ビジネス IT 情報 トレーサビリティ 工学 流通情報
応用微生物学	山口 昭弘 村松 圭	教授 准教授	有用微生物の探索および新規発酵食材の開発に関する基礎研究	微生物 発酵食品 ワイン 醸造 キノコ 機能性食材

管理栄養士コース				
臨床栄養管理学	石井 智美	教授	21世紀の食へ貢献する管理栄養士を目指して	栄養 健康 料理 食文化 発酵食品 高齢者の食
臨床栄養学	大谷 克城	教授	抗酸化機能に着目した食素材研究と新たな機能性食品の開発	管理栄養士 臨床栄養 抗酸化機能 食品分析 酸化ストレス 食品開発
公衆栄養学	木村 宣哉	講師	地域・集団・個人における健康についての研究	管理栄養士 生活習慣 地域保健 健康寿命 ヘルスリテラシー 保健活動
給食栄養管理	小林 道	准教授	栄養および食習慣が人々の健康に与える影響を科学的に明らかにする	管理栄養士 給食 栄養管理 食習慣 栄養疫学 食事調査
栄養教育学	杉村 留美子	准教授	行動科学理論に基づく栄養教育、食行動変容の促しに関する研究	管理栄養士 栄養教育 行動科学 食習慣 食行動 健康の維持・増進
食品加工学	竹田 保之	教授	乳たんぱく質のアレルゲン性の解析とその効果的な低下方法の検討	管理栄養士 食品加工 乳製品 食品機能 食品分析 アレルギー
食品学	船津 保浩	教授	食品ロスのリサイクル技術と道産食材を活用した低GI食品の開発	血糖値 生活習慣病 食品ロス 官能評価 リサイクル 調味料
食品衛生学	山口 昭弘	教授	食材の機能性や共生菌に着目した食の安全と健康を科学する研究	食品機能 食の安全・安心 食品分析 微生物 品質管理 健康増進
食・健康スポーツ科学	山口 太一 柴田 啓介	教授 講師	食、健康、スポーツに関わる問題や疑問を科学的に明らかにする	体育 体力 コンディショニング ストレッチング 筋力トレーニング スポーツ栄養
医学・生理学	若宮 伸隆	教授	食と健康を、医学的視点で自らが考え、学ぼう	情報の収集 情報の分析 情報の理解 健康 食科学 医科学

pickup ピックアップ研究室 食と健康学類

食品企画開発研究室 阿部 茂 教授

食品企業や自治体が求める
新たな食品加工技術や新商品の開発を行う

当研究室では6次産業化に係る商品開発や技術支援、そして食品製造において効率化や差別化を可能にする新たな食品加工技術の開発を行っています。民間企業や自治体との共同研究が多く、現場での研究打合せや試作試験が多いことが特徴です。ゼミ活動では食品関連の展示会や発表会の視察を行います。自らブース展示を行い共同研究により開発した新商品や新技術を紹介することもあります。食品企画開発研究室は食品開発に必要な知識や技術を習得することに加え、商品説明を行うなど実践的な経験を積むことで社会人として即戦力の人材育成を図ります。

🔍 学びのkeywords | ●食品企画開発 ●加工技術開発 ●6次産業化 ●食品製造・加工 ●マーケティング ●過熱水蒸気



2 pickup 抗酸化機能に着目した食素材研究と 新たな機能性食品の開発

近年、新たな野菜や果実などが栽培されるようになり、北海道では、冷涼な気候をいかしてさまざまな食素材が栽培されています。健康志向の高まりから、これらの素材の持つ機能性が注目されています。私たちのからだは常に酸化を受けて傷害されていることから、酸化に抵抗する抗酸化物質を含む食品を摂取することが重要となります。当研究室では、食素材の抗酸化機能に着目した研究を行っています。どのような食素材をどのように摂取したら抗酸化力が得られるのか？ 抗酸化機能について科学的に分析を行い、新たな機能性食品の開発につなげる研究を行っています。

🔍 学びのkeywords | ●管理栄養士 ●臨床栄養 ●抗酸化機能 ●食品分析 ●酸化ストレス ●食品開発

臨床栄養学研究室 大谷 克城 教授

乳製品製造学研究室 竹田 保之 教授 栃原 孝志 講師

- 発酵乳製品の微生物叢および乳酸菌の機能解析と利用に関する研究
- 生理活性物質を含む乳・乳製品の食品への利用可能性に関する研究

チーズやヨーグルトに代表される発酵乳製品における製品特性と乳酸菌の動態や性質を詳しく解析することで発酵乳製品のさらなる価値の向上を目指します。さらに、この過程で得られる珍しい機能を持った乳酸菌の有効利用方法を検討し、乳製品だけでなく、広く他の食品への応用についても研究しています。また、乳は、哺乳動物の親が子に与えるために、血液を原料として体内で合成した食品です。乳には血液由来成分の生理活性物質が数多く存在します。その生理活性物質を含む乳を食品として効率よく摂取する方法ならびにその影響について研究しています。

🔍 学びのkeywords | ●牛乳 ●チーズ ●ヨーグルト ●乳酸菌 ●生理活性物質 ●食品開発

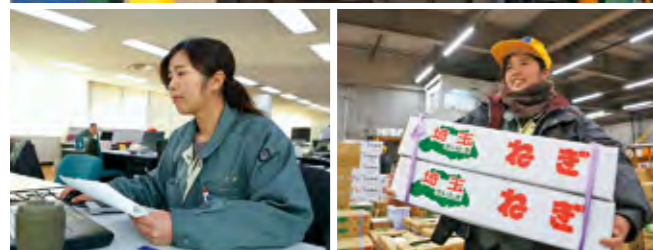


4 pickup 有用微生物の探索および 新規発酵食材の開発に関する基礎研究

発酵食品は食材由来や加工段階でスターターとして加えるさまざまな微生物が、それぞれのタイミングで独自に働くことにより完成する芸術作品とも言われます。本研究室では、野幌原始林に隣接するキャンパス内の野生酵母を用いた酒類の試験醸造・製パンや乳酸菌分離株の新たな応用に関する研究、自生キノコ・ハスカップ・アロニア・シーベリーや赤ピーなど北海道を代表する機能性食材の未利用資源を含めた有効利用に関する研究、ならびに乳酸菌・納豆菌や糸状菌などの有用菌を用いた発酵による道産食材の付加価値向上を目指した基礎研究を行っています。

🔍 学びのkeywords | ●微生物 ●発酵食品 ●ワイン ●醸造 ●キノコ ●機能性食材

応用微生物学研究室 山口 昭弘 教授 村松 圭 准教授



食品流通を学び 女性では珍しい「せり人」を 目指して修業中

食と健康学類 食品流通学コース >>>

金港青果株式会社 野菜第二部 販売営業第1ユニット

くぼ あゆみ
久保 亜祐末さん

2016年3月卒業
北海道/石狩南高校出身



私は中央卸売市場で、産地から送られてきた野菜や果物などを、仲卸や八百屋、バイヤーに販売する仕事をしています。酪農学園大学の物流科学研究室で市場見学をしたのが、この仕事に就くきっかけになりました。市場で働いている人たちはみんな活気があり、また目の前でせりを見て感動し、自分も資格を取ってせりをしたいと思ったのです。まだ見習い段階なので、先輩の補助として少量の野菜を扱うのですが、すべて売れたときはとても嬉しく、達成感を感じます。

酪農学園大学では食品の商品開発、食品の成分分析、食品流通といった食の勉強を幅広く、しかも深く学べました。青果物の流通は大変複雑な仕組みですが、私はそれを学んできたので、スムーズに仕事に挑めました。YOSAKOIサークル“祭”で体を動かすのが好きになり、人脈も広がったことは、今の仕事にも役立っています。酪農学園大学での勉強は、学んだことを生かしたい!と思うような興味深い内容ばかりでした。焦点を絞った専門的な知識がたくさん身に付くので、自分のやりたいことが明確に見えてくると思います。

乳製品のプロフェッショナルを 目指して

食と健康学類 食品開発学コース >>>

タカナシ乳業株式会社

いけうち ゆりえ
池内 百合絵さん

2017年3月卒業
北海道/市立函館高校出身



小さい頃から乳製品全般が大好きで、自分でもそれをつくる仕事をしたいと思うように。専門分野の授業や、乳製品・肉製品製造の実習施設が充実していたことが、酪農学園大学を選んだ最大の理由です。

ゼミでは乳製品製造学研究室に所属し、毎日のように実習や実験を行い、アルバイトと就職活動との両立に苦労しましたが、充実した大学生活でした。乳製品の实習や研究室の活動は、今の職業にとっても役立っています。

進路を考える上で大事なことは好きなものにかかわることだと思い、乳業メーカーに絞りました。タカナシ乳業を選んだのは、消費者にも働く人にも誠実な会社だと感じたからです。仕事の内容は主に乳製品の製造のオペレーターです。また、委員会活動(省工ネ委員会や、安全委員会など)にも参加しています。乳製品の知識を深めて、今後どんな部署でも活躍できる人材になりたいですね。将来の夢は乳製品のプロフェッショナルになることです。

高校生の段階では、将来の夢などすぐに見つけられないかもしれませんが、少しでも興味あるものにたくさん触れて、その中でやりたいことを見つけてほしいと思います。



学んだことすべてが 仕事のさまざまな面で生きています

食と健康学類 食品流通学コース >>>

セイコーリテールサービス 株式会社 営業支援部

ほりはた ともき
堀端 友貴さん

2019年3月卒業
北海道/酪農学園大学附属
とわの森三愛高校出身



私は大学時代セイコーマートの店舗でアルバイトをしており、インターンシップや説明会で先輩社員の姿を見て、入社しました。現在、支援が必要な店舗の応援や新人がいる店舗での研修、移転新店の立ち上げなどに携わっています。「北海道の食のインフラ」の誇りを持って、仕事に打ち込んでいます。製造・物流・小売の幅広い事業を行うセコマの一員として、複数の部門・分野で活躍できるプロフェッショナルを目指しています。

私は農産物の知識や食品加工の技能を学び、社会に貢献するため酪農学園大学に入学しました。3年次からは食品生産システム研究室に所属し、江別の豆腐工場でHACCP講習会の受講や、東京の物流施設の視察など、貴重な体験をさせてもらいました。専攻した品質管理、商品開発はもちろん、4年間で学んだことすべてが、仕事のさまざまな面で生きています。部活の合気道を通じて、忍耐力、集中力、思いやりの心を養えたことも良かったです。

酪農学園大学は、興味深く専門的なことが学べ、やりたいことを見つけるには最高の場所。全国から集まる仲間と積極的に接し、一つでも多くの経験を積んで、自分の夢をイメージして頑張ってください。

病院の管理栄養士として さまざまな経験を積んでいます

食と健康学類 管理栄養士コース >>>

市立札幌病院 (栄養科)

こしか まゆ
小鹿 真由さん

2016年3月卒業
青森県/八戸南高校出身



管理栄養士を目指し、国家試験の合格率が高い本学に入学しました。少人数制クラスや牛の観察・チーズづくりなどの授業があることも魅力でした。保健センターや小学校で実習する中で、行政栄養士になろうと札幌市公務員になり、現在の職場に配属となりました。

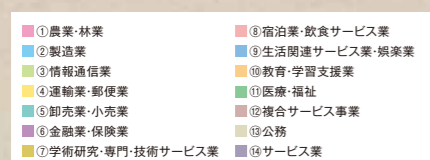
患者さんの栄養指導や栄養管理では、病態や患者さんの理解度に合わせて、指導の内容を変えています。食事の調整や補助食品の付加もすれば、口から食事を摂れない方の点滴の内容を医師に提案もします。印象に残っているのは、全身に重度の火傷を負った患者さん。最初は胃に直接チューブで流す栄養の内容調整をしましたが、最終的に食事を全量食べられ、歩行できるまでになりました。本学では教授が医師で臨床の授業が手厚く、知識を深めることができ、臨床現場で役に立ちます。

管理栄養士試験勉強のため、友達の自宅に集まったり、教室に夜中まで残ったり、また本学のソフトクリームを食べながら、励まし合っただけ勉強したのはいい思い出です。本学での友達の存在があったからこそ、受かったと思います。管理栄養士は経験を積むことで輝く資格なので、資格を取ったその先に何をしたいのかを考えて大学生活を送るといいですね。勉強は大変ですが、合格へのサポートが手厚いことも本学の魅力の一つです。

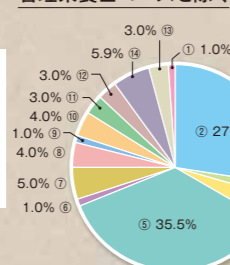


食と健康学類 就職実績

就職先分野別グラフ (2019年度卒業生)



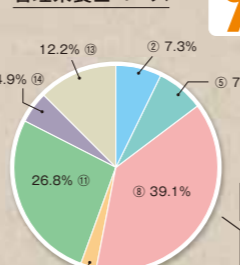
管理栄養士コースを除く



99.0% 就職率

就職者数 101人
(うち自営者数 2人)
進学者数 0人

管理栄養士コース



97.6% 就職率

就職者数 41人
(うち自営者数 1人)
進学者数 1人

酪農学園大学キャリアセンター
SNS・HPで情報発信中!

Facebook



Twitter



HP



環境共生学類

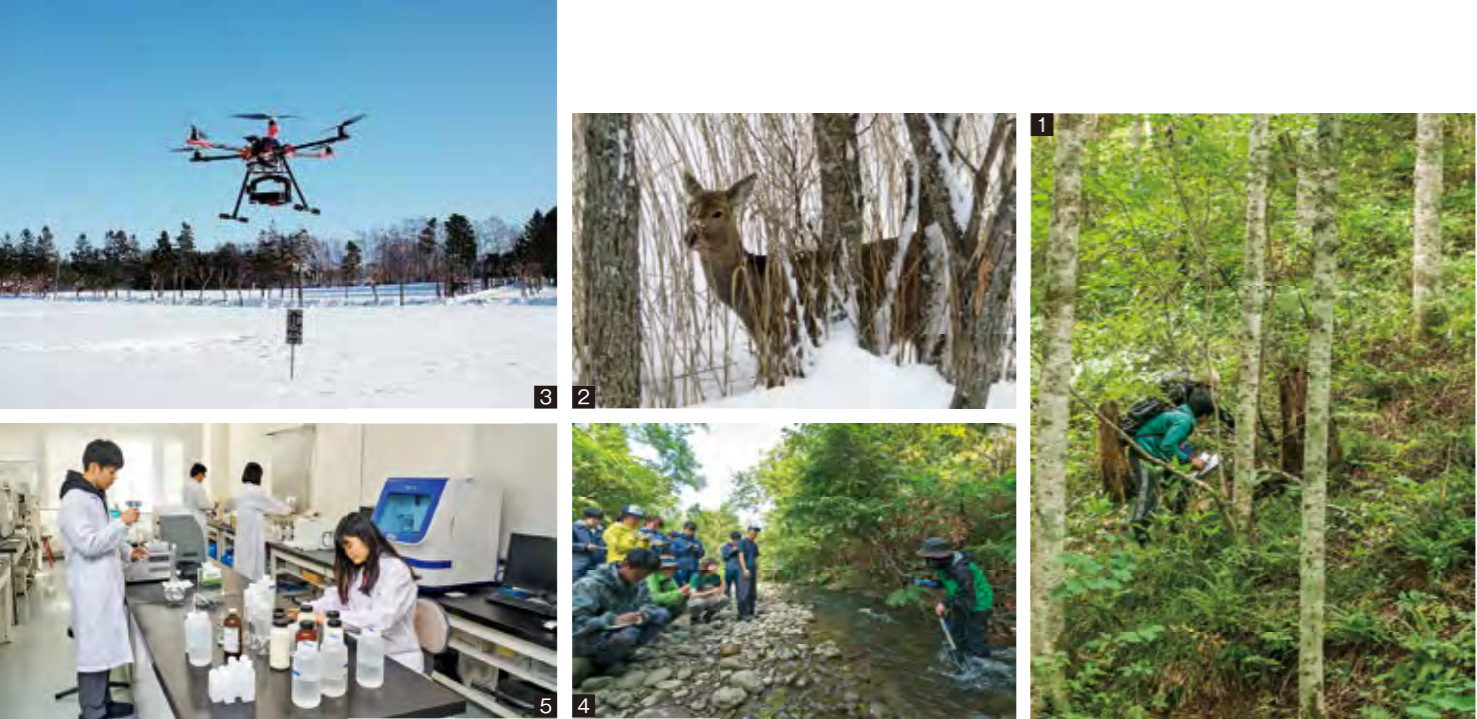
College of Agriculture, Food and Environment Sciences
Department of Environmental Sciences

学びの流れ

4年次	3年次	2年次	1年次
専門教育 ・専門共通教育 ・環境共生学類教育 教職課程教育 ・教職課程教育	基礎教育 ・外国語教育 ・キャリア教育 専門基礎教育 ・基礎科学領域(B群) ・環境共生学類専門基礎領域(B群) ・共通領域 ・全学共通専門基礎領域	基礎教育 ・人文社会科学教育 ・自然科学教育 ・外国語教育 ・キャリア教育 専門基礎教育 ・基礎科学領域(A群、B群) ・環境共生学類専門基礎領域(A群、B群、C群) ・共通領域	基礎教育 ・酪農学園導入教育 ・自然科学教育 ・情報教育 ・外国語教育 専門基礎教育 ・全学共通専門基礎領域 教職課程教育 ・教職課程教育



環境共生学類の紹介動画はこちら



1 森林内で植物の同定や動物の痕跡を調査
 2 野付風蓮道立自然公園走古丹において冬を越すエゾシカ
 3 G枚羽の大型ドローン
 4 洞爺湖町ソウベツ川での河川環境のフィールド観測
 5 環境試料中の栄養塩高精度分析

「好き」をかたちに

学びのポイント

POINT 1

地球環境、生態系の仕組みやつながりを科学的に解明し問題解決の方法を探る

環境とは人や生物を取り巻く総体で、守るのも壊すのも人の考え次第です。野生の動植物に対して好き嫌いだけではなく、一つの生命として向き合い、すべての自然のつながりを理解する学びを行います。



POINT 2

北海道から世界のフィールドで実学教育を実践

4年間を通してたくさんフィールドワークの機会があり、複雑な生態系を肌で感じながら学ぶことができます。学生の4人に1人が実習・調査・留学で、アジアやオセアニア、欧米、アフリカなどの海外経験をしていることも本学類の特徴です。

POINT 3

GIS(地理情報システム)、RS(リモートセンシング)を用いた情報解析を実践的に学ぶ

地域の諸問題の解決には人工衛星やドローンから得られる空からの目「RS」、さらにその画像を他の情報と合わせて解析する「GIS」が不可欠です。これらの技術を講義だけでなく実習等も通じて実践的に学びます。

POINT 4

自然と人が調和・共生する社会の実現に貢献できる人材を育成

本学類には環境に関する多種多様な分野を専門とする教員が在籍しています。広大なフィールドで、自然と共生する社会に貢献するための活きた力が養われます。

取得可能資格

- 必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。
- 中学校教諭1種(理科)
- 高等学校教諭1種(理科)
- 准学校心理士

受験資格

- 必要要件を満たせば受験する資格が得られます。
- 鳥獣管理士 準1級(野生動物学コース 卒業必須)、2級、3級
- シカ捕獲認証(レベル1)

学類でサポートする資格

- 気象予報士
- 生物分類技能検定(2級3級)
- 猟銃所持許可
- 狩猟免許(猟銃・わな網)
- ピオトップ管理士
- 公害防止管理者
- 環境測定分析士
- 技術士補
- 食品衛生責任者
- 食の6次産業化プロフェッサー(レベル1)
- 学芸員

目指す職業

- 環境建設コンサルタント業
- 環境NPO・NGO法人
- 衛生サービス業
- 情報通信業
- 農業協同組合・森林組合
- 教育学習支援業
- 教員
- 都道府県・市町村公務員
- 狩猟者認定鳥獣捕獲事業者 など



世界の自然環境をどう守る? その答えを北海道から探す



3・4年次 専門教育 コース紹介

3・4年次
専門教育

生命環境学コース

北海道の森・川・湖・海といった優れた自然資源の保全と利用を題材に、生命圏の物質的・エネルギー的環境に関する理論と技術を学ぶ。

コースTOPICS

- 地域から地球規模まで幅広い環境問題に対応できる人材 (Nature Specialist) を育成するコース
- 気候や気象、環境変動・変化、湖沼・河川流域環境、海洋環境、水環境、土壌や植生、植物等を専門とする多彩な研究室

各コース共通

- 地球規模の (Globalな) 視点で環境問題を捉え、地域の (Localな) 視点で問題解決のために行動できる人材を育成
- 自然環境や野生動物、人々の暮らしを地域の資源として地域活性化にも貢献
- 北海道の大自然、森・里・川・海全てがフィールド。全道各地で豊富なフィールドワーク
- 地域の課題も地球環境の危機も、市民公園の池から南極まで、広範な教育研究テーマ

3・4年次
専門教育

野生動物学コース

野生動物の保全と管理について、北海道の広大なフィールドを舞台に生態学と地域社会とのかかわりを基礎とした幅広い理論と技術を学ぶ。

コースTOPICS

- 国内唯一の野生動物にかかわる地域の問題を解決できる専門家 (Wildlifer) 養成を目指すコース
- 野生動物の生態や行動、保全や管理、狩猟や有効活用、鳥獣行政、人や地域と野生動物などを専門とする多彩な研究室

TOPICS

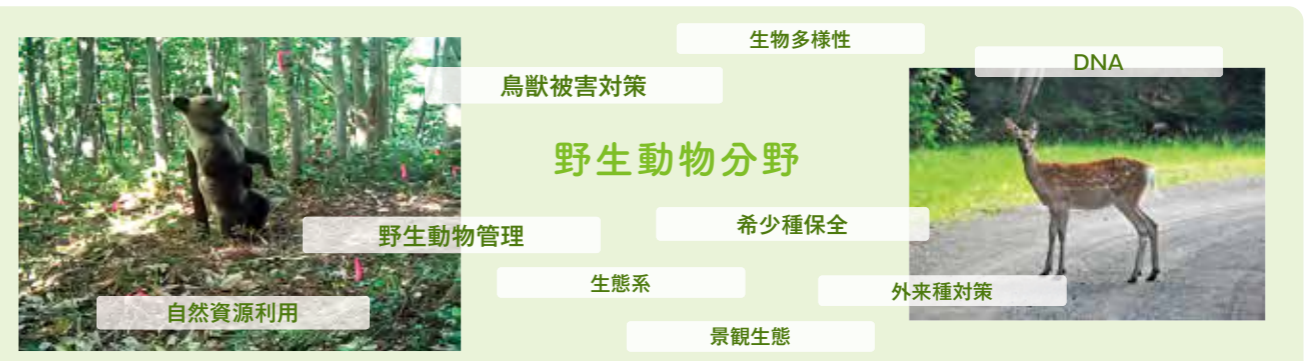
- マレーシアやモンゴルなどアジアを中心とした海外実習やフィールドワークも充実
- 人工衛星やドローン、ICTを活用した高度な環境情報解析
- 全国各地の野生動物や環境の問題に、最前線で活躍する人材を輩出中
- 資格取得に繋がる専門科目を多数配置



多種多様な専門教育の中で



どんな切り口(分野)で学びを深めるかはあなた次第!



地理情報システム (GIS)

空間情報

リモートセンシング

数値統計と空間統計

環境情報分野

高分解能衛星画像

遊牧と定住

ディープ・ラーニング

ドローン

生息地モニタリング



人の健康

環境政策

人間環境分野

環境法

循環型経済

社会的合意形成

地域社会

国際理解

持続可能な開発目標



[カリキュラム] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2021年4月1日現在のもので今後変更もあります。

1
年次

基盤教育

- 基礎演習
- 建学原論
- キリスト教I
- キリスト教II
- 健士健民入門実習
- 農食環境学概論
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学I
- 数学II
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I
- 英語II
- 英語III
- 英語IV
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1
- キャリア実習

専門基礎教育

- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

教職課程教育

- 教育原理
- 教職入門
- 教育心理学

2
年次

基盤教育

- キリスト教と諸宗教
- キリスト教と生命倫理
- 統計学I
- 統計学II
- 物理学実験
- 地学実験
- 外国語演習I
- 外国語演習II
- 中国語I
- 中国語II
- ハングルI
- ハングルII
- キャリアベーシック
- 無機化学
- 有機化学
- 物理化学
- 分析化学
- 生化学
- 微生物学
- 土壌学
- 植物遺伝学
- 動物遺伝学
- 植物生理学
- 民法・商法
- 行財政学概論
- 経済原論
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 経営学総論
- 日本経済論
- 生物分類学
- 野生動物学の基礎
- 動物生態学
- 生物地球化学
- 植物生態学
- 気象学の基礎
- 自然環境学実験・実習
- 動物形態機能学
- アジア環境学
- 環境法
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 海外自然環境実習
- 情報処理演習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 国際関係論
- 国際理解
- 国際法
- 家畜解剖学
- 家畜生理学
- 畜産学総論
- 農業機械学
- 草地・飼料作物学
- 作物栽培学
- 園芸学
- 農業経営学概論
- 農業政策学
- 家畜行動学
- 食料農業の法と制度
- 家畜生理・解剖学実験
- 農業微生物学実験
- 農産物利用学実習
- 作物生態生理学実験
- 学外農場実習
- 食品化学
- 乳科学
- 食肉科学
- 応用生化学
- 食品産業論
- 簿記・会計学概論
- 農業協同組合論
- 農畜産物市場論
- 農村社会学
- 社会調査法
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- マーケティング論
- 国際経済論

専門基礎教育

- 植物生態学
- 気象学の基礎
- 自然環境学実験・実習
- 動物形態機能学
- アジア環境学
- 環境法
- 地形・地質学
- 環境共生学外実習
- 海外自然環境実習
- 情報処理演習
- GIS基礎演習
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 国際関係論
- 国際理解
- 国際法
- 家畜解剖学
- 家畜生理学
- 畜産学総論
- 農業機械学

教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育課程論
- 教育方法論
- 生徒・進路指導論
- 教育相談論

3
年次

基盤教育

- 外国語演習I
- 外国語演習II
- キャリアデザインI
- キャリアデザインII
- 食品流通論
- 食品資源学
- 食品衛生学
- 公衆衛生学
- 食料経済論
- 博物館実習
- 統計データ分析演習
- 保全生物学
- サステイナビリティ学
- 資源管理論
- 農業施設学
- 雑草学
- 農業施設・機械学実習
- 食品物理化学
- 栄養生理学
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 理科教育法I
- 理科教育法II
- 道徳教育指導論

専門基礎教育

- 統計データ分析演習
- 保全生物学
- サステイナビリティ学
- 資源管理論
- 農業施設学
- 雑草学
- 農業施設・機械学実習
- 食品物理化学
- 栄養生理学

教職課程教育

- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 特別活動論
- 理科教育法I
- 理科教育法II
- 道徳教育指導論

専門教育

- 専門ゼミナールI
- 専門ゼミナールII
- 環境変動のリモートセンシング
- 環境情報の解析
- 地域資源学
- 生息地保全管理論
- 環境アセスメント・ヒートマップ
- 【野生動物学コース】
- 野生動物保全技術実習I
- 野生動物保全技術実習II
- 野生動物観察同定実習
- 野生動物保全行政論
- 野生動物保全と人間事象
- 特殊管理技術論
- 野生動物生態学
- 野生鳥獣管理学
- 環境共生演習I
- 環境共生演習II
- 実践野生動物学実習
- 植生保全学
- 【生命環境学コース】
- 森林環境学
- 水圏環境学
- 自然環境保全と地球温暖化
- 気象・気候学
- 水圏・地圏総合実習
- 生命環境学実験実習I
- 生命環境学実験実習II
- 植生保全学
- 環境共生演習I
- 環境共生演習II
- 実践生命環境学実習
- 火山・鉱物学

専門教育

- 卒業研究I
- 卒業研究II
- 研究発表
- 環境教育論
- 動物園・水族館学
- 自然再生エネルギー論

教職課程教育

- 教職実践演習(中・高1免)
- 理科教育法III
- 理科教育法IV
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)



学生からのメッセージ

「とりあえずやってみる」で将来が開ける大学

私は非農家出身。入学時にやりたいことが、明確ではありませんでした。でも、2年生の後期に小川先生の授業でリモートセンシングを知り、この研究室に。ゼミではホクレンとの共同研究で、ビートの生育状況を調査しています。場所は清水町にある約10haのビート畑。月1回くらい出かけますが、天候によっては撮影できず、出直すことも。ドローンで可視画像、近赤外画像、熱関画像の3種類の画像データを取り、Pix4Dmapperというソフトで解析します。この処理では、複数の画像をびたりと重ねるのが難しく、面白い。同じ畑でも生育にバラツキがあるのは、日当



タブレットで映像を確認しながら操作が可能

たり、肥料、水はけなどが影響しているのは、と思っています。今後、解析力を高めていきたいですね。調査の現場で企業や農家の方たちと知り合い、世界が広がりました。担い手の高齢化が進む現在、農業の安全性、省力化は大きなテーマ。それに貢献できる仕事がしたいと、目覚めました。たとえばA-1を活用してドローンと無人トラクターを組み合わせて、耕作するというような大きなシステムを作って、農業を変えていけたら素晴らしいと思います。直接、問接を問わず、農業に貢献できる仕事に就きたいですね。

環境共生学類
環境空間情報学研究室 3年
田宮 滉太さん
帯広市/帯広三条高校出身



本学の魅力は実学教育がしっかりとされていること、農、食、環境の専門家がたくさんいて、多彩な分野にアクセスしやすいこと。興味を持ったら、とりあえずやってみると、展望が開けます。18歳の時に現在の自分をとても想像できませんでした。

教員からのメッセージ

環境問題に取り組む新しい技術を開発

RSやGISは多くの応用が期待できます。農業など、幅広い分野で活躍しています。待てませんが、基本は「フィールドで何を調べて、どんなデータを取って、どう解析して、何に役立つか」を組み立て、繰り返すこと。私は北海道ドローン協会の会長としても利活用にも携わっていますが、ドローン操作もデータ処理もやればできるようになります。大事なものは自然環境や現象に対する「なぜ」という好奇心。ぜひ熱い好奇心を持って、来てくださいます。皆さんと、環境問題に取り組む新しい技術を一緒に生み出していきたいと思っています。卒業生は測量や土木建築、環境コンサルタント、農業など、幅広い分野で活躍しています。

環境共生学類
環境空間情報学研究室
小川 健太 准教授



人工衛星の画像、航空写真など空から地上を観測するリモートセンシング(RS)や、それらの画像と地理情報を重ね合わせて解析する地理情報システム(GIS)の技術を、環境、農業、防災など幅広い分野に役立てる研究をしています。たとえば牧草地をドローンで撮影し、その画像の色を解析することで、生育のバラツキが面としてわかり、肥料の与え方の改善につながります。



宮島沼

宮島沼でのマゴンの数の自動解析画像



研究室	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
狩猟管理学	伊吾田 宏正	准教授	持続的な狩猟の発展および狩猟鳥獣の生態と管理	狩猟 鳥獣 生態 管理 捕獲 資源利用
野生鳥獣管理学	伊藤 哲治	講師	野外での調査・活動を通じて、鳥獣管理のための知見を得る	野生動物 鳥獣管理 フィールドワーク DNA分析 被害対策 地域交流
環境空間情報学	小川 健太	准教授	GIS・RS技術の応用	地球環境 環境計測 リモートセンシング 人工衛星 ドローン GIS ディープラーニング
資源再利用学	押谷 一	教授	限られた資源を有効に利用して持続可能な循環型社会を形成する	循環型経済 自然再生エネルギー 地域資源 コミュニティ開発 まちづくり 環境と観光
環境GIS	金子 正美	教授	北海道とアジアの自然環境をGISを用いて解析する	リモートセンシング GISによる野生動物管理 777の野生動物と環境 持続可能な開発目標(SDGs) 環境教育とESD
哲学・人文諸科学	小林 敬	教授	ガブリエル・マルセルの宗教哲学の研究	全学教育 哲学 フランス語 宗教思想
野生動物生態学	佐藤 喜和	教授	フィールドワークを通じて野生動物の生態を探る	フィールドワーク ヒグマ 鳥獣対策 野生動物 森林
保全生物学	鈴木 透	准教授	野生動物と自然環境の相互関係を科学する	生物多様性 保全 景観生態 フィールドワーク GIS ドローン
情報工学	高取 則彦	教授	生物進化のシミュレーションと進化的計算法	情報科学 シミュレーション 生物の進化 最適化
生物多様性保全	立木 靖之	准教授	持続可能な地域社会と生物多様性の保全についての研究	鳥獣対策 生物多様性 フィールドワーク 海外 環境保全 地域社会
自然再生学	千葉 崇	助教	地質記録等から過去の環境変化を読み取り古地震等の現象を明らかにする	沿岸環境 津波堆積物 微化石 珪藻 第四紀地質学 古環境復元
環境法	遠井 朗子	教授	地球環境条約の履行確保と国内実施方法の検討	国際環境法 環境法政策 生物多様性 再生可能エネルギー 環境アセスメント 環境犯罪
水質化学	中谷 暢丈	教授	水環境での物質循環過程や人為的汚濁・汚染を化学的に解析評価	川 湖 環境観測・計測 生命環境 環境汚染(水質・大気) 化学
気象・気候学	馬場 賢治	准教授	大気や海洋の見地から社会や動植物に与える影響を研究	気象・気候 環境汚染(水質・大気) 環境観測・計測 大気海洋相互作用 海水 教職
生物資源保全学	原村 隆司	准教授	動物の行動・生態の解明および生物多様性保全に関する研究	外来種 生物多様性 フィールドワーク 両生類 動物行動 自然保護
環境リモートセンシング	星野 仏方	教授	オオカミと共存する草原・伝統文化から学ぶ実学教育	衛星追跡 リモートセンシング 遊牧伝統文化 オオカミとの共存
生態系物質循環	保原 達	教授	生態系の生物と環境を行き来する物質の循環を研究	植物 土壌 養分 元素 火山灰 地質
身体環境学	牧原 統	教授	人の健康づくりと自然環境との共生などの諸問題を研究	フィールドワーク 環境問題 海 環境保全 人の健康教育 スポーツ
環境植物学	松山 周平	准教授	DNA分析や操作実験を用いて植物と環境の関係を研究する	植物 森林 生物多様性 希少植物 フィールドワーク DNA分析
フィールド情報学	森 夏節	教授	フィールドから得られたデータを分析・解析し、明らかとなった諸問題を情報技術を用いて解決する	IT化と環境 環境問題 地理情報システム 地球環境 環境教育 情報技術の習得
環境動物学	森 さやか	准教授	主に鳥類を対象に野生動物の生態と保全にかかわる研究に取り組む	生物多様性 環境保全 野生動物 フィールドワーク DNA分析 GIS
環境地球化学	吉田 磨	教授	地域や地球の生命や環境を守るために、多様なフィールドで観測研究	地球温暖化 環境変化 環境観測・計測 海 環境教育 地方創生
国際理解学	吉中 厚裕	准教授	持続可能な社会実現のための「地球」と「地域」両視点の尊重と統合	生物多様性 フィールドワーク 地球環境 環境政策 自然資源の保護・利用 地域社会

pickup ピックアップ研究室

環境共生学類

狩猟管理学研究室

伊吾田 宏正 准教授

持続的な狩猟の発展および狩猟鳥獣の生態と管理

野生動物管理において重要な役割をもつ狩猟や捕獲の価値を高め、狩猟鳥獣の理想的な管理を実現するために、エゾシカなどの鳥獣の生態と管理手法、狩猟活動の実態、狩猟者教育、鳥獣の持続的な資源利用などに関して、フィールド調査を中心とした研究を行っています。

🔍 学びのkeywords | ● 狩猟 ● 鳥獣 ● 生態 ● 管理 ● 捕獲 ● 資源利用



pickup 1

環境リモートセンシング研究室

星野 仏方 教授

オオカミと共存する草原・ 伝統文化から学ぶ実学教育

生態系のバランスが崩れたら片方の個体数が増加し、さまざまな生態・環境・社会問題を引き起こす可能性がある。例えば、エゾオオカミが絶滅した北海道ではエゾシカによる農林被害額が38億円にも昇っている。但し、モンゴル遊牧民にとって大切な家畜を殺すハイロオオカミと数千年の間共存が可能になっている。疑問に思った環境共生学類の学生たちが現地調査でこの問題に挑戦している。

🔍 学びのkeywords | ● 衛星追跡 ● リモートセンシング ● 遊牧伝統文化
● オオカミとの共存



pickup 2

生物資源保全学研究室

原村 隆司 准教授

動物の行動・生態の解明および生物多様性保全に関する研究

地球上にはさまざまな動物がいます。そして、すべての動物がさまざまな興味深い行動や生態を持っています。私の研究室では、両生爬虫類や昆虫などの小型動物を対象に、それらの行動や生態がどのように進化してきたのかを解明する研究を行っています。また、近年、北海道でも外来種問題が注目されています。このような外来種を防除・駆除するためにも、外来種が持つ生態を詳細に解明する必要があります。そこで、北海道の生物多様性を守るための外来種防除に関する調査も進めています。調査では、フィールドワークや室内実験を中心として、マクロからマイクロレベルでの動物の行動・生態解明を行っています。

🔍 学びのkeywords | ● 外来種 ● 生物多様性 ● フィールドワーク ● 両生類 ● 動物行動 ● 自然保護



pickup 4

生態系の生物と環境を 行き来する物質の循環を研究

自然生態系では、生物が他の生物とつながって生きています。しかしそれだけではなく、生物は生物以外の大気や水や土壌などとも密接なつながりを持っています。例えば、動物の血液に必須な鉄分は、元は鉱物中に入ったものが土壌の中に溶け出し、それを取り込んだ植物を動物が食べる、という流れを通して動物へと渡ります。

本研究室では、このような生物と非生物が織りなすつながりを、それらに共通する「物質」や「元素」の分析を基に明らかにしていきます。そして、得た知見を生態系や地球環境の保全に役立てられるよう研究を進めています。

🔍 学びのkeywords | ● 植物 ● 土壌 ● 養分 ● 元素 ● 火山灰 ● 地質

pickup 3



生態系物質循環研究室

保原 達 教授



青年海外協力隊で、 発展途上国の子どもたちに笑顔を

環境共生学類 生命環境学コース >>>

青年海外協力隊ガーナ 理科教育 (ガーナ ボルタ州 カジェビ郡 カジェビ・アサト高校)

しげる ほくと
茂 北斗 さん
2017年3月卒業 北海道/市立函館高校出身

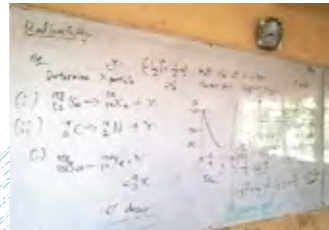


私は幼い頃、きのこ博士になりたいと思い、その後研究職、海外で仕事をすること、教員にも興味をもつようになりました。自然が好きで、海外への憧れもあり、環境の整っている酪農学園大学に進学しました。

大学では日本有数の施設を誇る環境GIS(地図とIT情報を融合させたシステム)研究室に所属。そこで小学生向けの環境教育も学び、教えることのすばらしさ、難しさも実感しました。海外実習にも参加し、世界を肌で感じる良い機会になりました。プライベートでは4人部屋の寮生活と軽音サークルが、なつかしい思い出です。

海外生活に挑戦してみたかったので、自分の好きな教えることと、海外生活を両立できる協力隊に応募しました。現在は青年海外協力隊・理科教育・ガーナ派遣。高校1年生を対象とした化学の指導および小学生向けの実験の指導をしています。ガーナでは、大学時代に培った経験がすべて活かされています。

帰国後は自分の力で生きていける人間になること、自立することが目標ですが、ガーナでの日々はその礎になってくれると思います。一生懸命頑張ったことは大学卒業後も無駄にはなりません。好きなことに打ち込んでください。



研究フィールドで 子どもたちと触れ合い 環境教育の仕事へ

環境共生学類 生命環境学コース >>>

浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館 (浜頓別町役場)

ちだ かんた
千田 幹太 さん
2017年3月卒業
岩手県/黒沢尻北高校出身



私はラムサール条約登録湿地の拠点である浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館で、自然環境に関することを中心に勤務しています。具体的には、来館者の案内、近隣学校での授業、野鳥の標識調査、ハクチョウの飛来数調査・発信器調査、大学や研究機関の調査協力、子どもチームの活動、湖水まつりの開催や、観光などにも携わっています。

大学での一番の思い出は、研究室での活動です。浜頓別町には、環境地球化学研究室に所属している時に約20回、足を運びました。他にもいくつか研究フィールドがあり、全てのフィールドに参加。徹夜で分析をしたり、環境教育のプログラムを考えたり、大切な仲間もできてとても楽しかったです。

その活動の1つに、浜頓別町の子どもチームと一緒に「環境キャンプ」がありました。社会人になって子どもと活動したいと思い、指導教員の吉田磨教授から、浜頓別町に紹介していただきました。

実習や卒業論文に取り組む際、さまざまな分析機器や調査道具を使いますが、本来は大学院生からしか使えない機器でも、酪農学園大学では積極的に使用方法が学べます。技術を身に付けることは、就職後の即戦力にもなります。ハードな面もありますが、全国から集まる仲間と一緒に、楽しい学生生活を送ってください。

大学では狩猟免許も取得。 多様な経験を 仕事に活かしています

環境共生学類 >>>

北海道 釧路総合振興局 保健環境部 環境生活課 自然環境係

いかわ ゆい
井川 由唯 さん
2020年3月卒業
北海道/市立札幌新川高校出身



野生動物のことをフィールドで学びたくて、本学に。野生動物の授業を受け、エゾシカなどの調査をし、狩猟免許も取得しました。その知識や経験を活かせる仕事がしたいと、北海道職員になりました。現在、狩猟免許試験の運営や、釧路管内での狩猟の手続き、パトロールなどの仕事をしています。アライグマの捕獲計画やタンチョウの分布調査などもしており、北海道と釧路管内の市町村の橋渡し役でもあります。そうした業務において、本学で学んだ動物についての知識や実習での経験をしばしば応用しています。サークル活動で得たコミュニケーション能力も、職場や市町村の担当者や打ち合わせをする際に役立っています。

本学では広大なフィールドや動物たちと接することで、他の大学とはひと味違った経験ができます。自然に興味がある学生が全国から集まるので、そんな仲間たちと共に過ごす時間は貴重です。私は2年次の頃に海外実習先のマレーシアで現地の学生と交流し、日本とは異なる文化や生物をたくさん体験しました。本学は自然や野生動物が好きなお人にはピッタリです。授業も大切ですが、サークルや趣味などさまざまなことに挑戦し、たくさん経験を積んでください。それが将来必ず役立ちます。



ゼミで学んだGIS、GPSの 知識を活かし、農地整備に伴う 暗渠管の設計をしています

環境システム学部 地域環境学科 >>>
(現・環境共生学類)

株式会社 安井測量設計事務所

さぬい れいや
讚井 麗也 さん
2014年3月卒業 北海道/札幌啓成高校出身



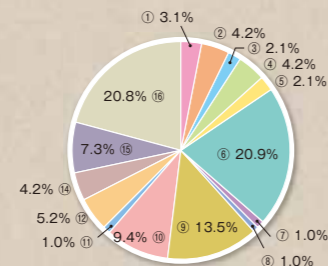
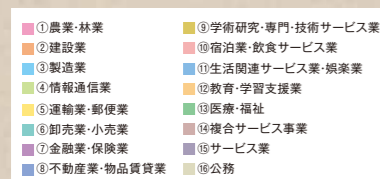
高校時代から地理が大好きでした。酪農学園大学には日本有数のGIS(地図とIT情報を融合させたシステム)施設があると知り、また環境問題にも関心があったので入学しました。ゼミで学んだGISやGPSの知識を活かすために、現在の会社に就職しました。主に農地の測量をして、水はけの悪さや養分の偏りをなくすなどのために農地整備に伴う暗渠管(あんきょかん)の方向や勾配、口径などの設計を担当しています。私がかかわった畑が整備され、利用されている様子を見ると、手応えを感じられます。

在学中は教職課程も履修し、人への教え方や接し方などに役立っていると感じます。また熱気球愛好会に所属し、熱気球を自作して全国各地の大会に参加したことも、良い経験でした。廃部の危機など苦しいこともありましたが、おかげで人間的に成長できたと思います。勤務先は帯広市にあるので、現在も熱気球を楽しんでいます。

酪農学園大学では学びたいこと、挑戦したいことが、すべて自分の意志次第でできると思います。思い切り自分の興味を掘り下げて、楽しんでほしいと思います。それがきっと将来に役立ちます。

環境共生学類 就職実績

就職先分野別グラフ(2019年度卒業生)



就職率
97.0%

就職者数 **96人**
(うち自営者数 **2人**)
進学者数 **11人**

酪農学園大学キャリアセンター
SNS・HPで情報発信中!

Facebook

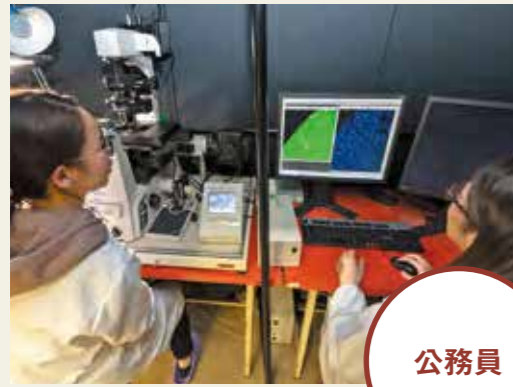


Twitter



HP





検査機関

伴侶動物
臨床獣医師

公務員

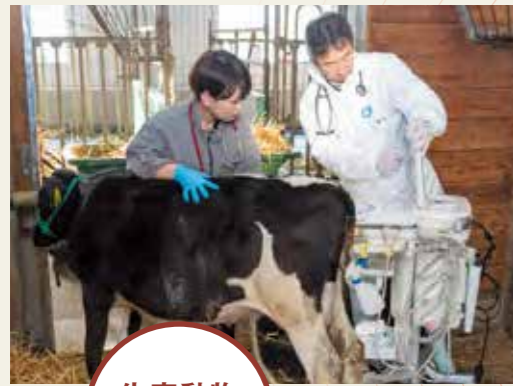
目指す
職業

獣医学類 生体機能学 分野

動物の構造や機能を学ぶ、いわば獣医学の土台。研究から臨床まで幅広く応用できます。

野生動物
保護機関

研究員



獣医学類 生産動物医療学 分野

牛・馬・豚などの生産動物にかかわる疾病を学習。畜産物を守り、食の安全に貢献できます。

生産動物
臨床獣医師

目指す
職業

研究員

公務員

研究員

獣医保健看護 学類

生命の声を聞き、人と動物をつなぐスペシャリストを養成します。卒業生は、幅広い分野(伴侶、展示、生産動物)で活躍しています。

生産動物
看護師

目指す
職業

愛玩動物
看護師

公務員



獣医学群が

活躍するフィールド

獣医学類 感染・病理学 分野

動物の病気の原因を調べ、予防法を考える基礎研究。比較的、研究員や公務員に向けています。

研究員

公務員

目指す
職業



伴侶動物
臨床獣医師

生産動物
臨床獣医師

生産動物
臨床獣医師

研究員

公務員

獣医学類 予防獣医学 分野

病気の予防を主な目的に家畜衛生と公衆衛生を総合的に修得。国際的にも活躍の場があります。

目指す
職業

検査機関

JICA等
国際関係
機関



伴侶動物
臨床獣医師

目指す
職業

教員

獣医学類 伴侶動物医療学 分野

犬や猫など伴侶動物の健康を実現。獣医療の高度化が進み、眼科などの専門医も求められています。

専門医



動物にも人間にも
 信頼される獣医師になる

学びの流れ

3年次	2年次	1年次
専門基礎教育 ・学群共通専門基礎科目 ・全学共通専門基礎科目 専門教育 ・生体機能学分野 ・感染・病理学分野 ・予防獣医学分野 ・生産動物医療学分野 ・伴侶動物医療学分野	基礎教育 ・自然科学教育 ・外国語教育 専門基礎教育 ・学群共通専門基礎科目 ・全学共通専門基礎科目 専門教育 ・生体機能学分野	基礎教育 ・酪農学園導入教育 ・人文社会科学教育 ・自然科学教育 ・保健体育教育 ・情報教育 ・外国語教育 専門基礎教育 ・学群共通専門基礎科目 ・全学共通専門基礎科目 専門教育 ・生体機能学分野
6年次	5年次	4年次
専修科目 ・専修教育共通科目 ・専修教育コース(生体機能学) ・専修教育コース(感染・病理学) ・専修教育コース(予防獣医学) ・専修教育コース(生産動物医療学) ・専修教育コース(伴侶動物医療学)	専門教育 ・予防獣医学分野 ・参加型実習 専修科目 ・専修教育共通科目 ・専修教育コース(生体機能学) ・専修教育コース(感染・病理学) ・専修教育コース(予防獣医学) ・専修教育コース(生産動物医療学) ・専修教育コース(伴侶動物医療学)	専門基礎教育 ・学群共通専門基礎科目 専門教育 ・予防獣医学分野 ・伴侶動物医療学分野 ・生産動物医療学分野 ・参加型実習 専修科目 ・専修教育共通科目 ・専修教育コース(生体機能学) ・専修教育コース(感染・病理学) ・専修教育コース(予防獣医学) ・専修教育コース(生産動物医療学) ・専修教育コース(伴侶動物医療学)



獣医学類の紹介動画はこちら

「好き」をかたちに

学びのポイント

- 1 レーザー共焦点顕微鏡で細胞や分子の機能を調べます
- 2 マルチテクタCT装置を用いた画像診断について学ぶ
- 3 大学附属の動物医療センターには4つの手術室があり、多くの学生が学ぶことができます
- 4 牛の大きな体を支える蹄の管理は獣医師の大切な仕事
- 5 感染症の蔓延に関する病原微生物の動態について研究

POINT 1

6年一貫教育で、獣医師として将来活躍する分野を見据えた高度な専門性を養う

「動物のお医者さん」だけではなく、獣医師の仕事は多岐にわたり、グローバルに活躍できます。本学類では実践的な学びを通して多様なニーズに応えていきます。

POINT 2

専修教育コースは、生体機能学、感染・病理学、予防獣医学、生産動物医療学、伴侶動物医療学の5つに区分

伴侶動物の病院をはじめ、人の健康を支える公衆衛生、動物を使った新薬の研究、家畜を守ることなど、さまざまな獣医師の役割を専門的に学ぶコースを設けています。



POINT 3

日本一の診療件数を誇り、最新の施設・設備を備えた附属動物医療センターで実践的な教育を実施

附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、実際の症例を学ぶ機会が格段に多くあります。さらに学外の研究者を呼んで最先端の研究にふれたり、製薬会社などの企業と連携して現場を体験したり、将来の方向性に応じて高度な実験や実習に取り組める体制を整えています。

POINT 4

学生3人に担当教員1人がついて、しっかりと実践力を磨くアドバイザー制が整っている

学習の進み具合から専門への方向性まで、担当教員が学生一人ひとりに応じてアドバイスします。国家試験に合格して獣医師になるまで、細やかに指導していきます。

目指す職業

- 動物医薬品製造業
- 農業共済組合
- 動物病院
- 研究機関
- 公務員
- (農林水産省、厚生労働省、環境省ほか) など

取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 食品衛生責任者

任用資格

特定の職業に任用されるための資格。資格を取得後、その職務に就いて初めて効力を発揮する資格です。

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者
- 環境衛生監視員
- 家畜人工授精師
- 狂犬病予防員
- ※獣医師免許取得者は資格を有する
- と畜検査員
- ※獣医師免許取得者は資格を有する
- 薬事監視員

受験資格

必要要件を満たせば受験する資格が得られます。

学類でサポートする資格

- 食の6次産業化プロフェッサー(レベル1) 学芸員
- 獣医師国家試験

研究と人生の基礎をつくってくれる場所

私は遠軽町で育ち、高校から札幌へ。父が獣医師だったこともあり、本学に入学しました。4年の後期からユニットに入り、初めて「研究」に出会いました。先生も先輩の大学院生も、自主性を尊重してくれて、「あなたはどうする？」と問いかけてくれます。私の研究テーマは、関節炎を引き起こすマイコプラズマという細菌について。この細菌は関節にある滑膜細胞（関節液を産生し、軟骨に栄養を供給する細胞）に侵入することがわかっています。

私は、マイコプラズマが細胞内でのようなふるまいをするのか（動態）を明らかにしたいと思っています。方法は、まず滑膜細胞を培養し、シャーレ上でマイコプラズマに感染させ、

レーザー顕微鏡や蛍光顕微鏡で観察するというものです。考えることも地道な作業も多く、時間がいくらあっても足りないほど。でも、周囲の人に支えられ、基礎をみっちり教えていただいたので、「最初はまったくできなかったことが、一人でできるようになった」という成長感と、何かわかりそうだったという手ごたえを感じ始めました。基礎研究の醍醐味ですね。

獣医新入生歓迎サークルで歓迎会をするのも楽しかったし、2・3年次の勉強も嫌いではありませんでした。でも、これまで勉強は覚えるものだと思っていました。が、ユニットに入って自分で切り拓くことになったと自覚できました。今、自分がやるべきことをやっている充実感があります。本学は獣医師、研究者になる基礎をしっかりと鍛えてくれる場所であるとともに、私の人生の基礎をつくってくれている場所でもあり感じます。



獣医学類
獣医衛生学ユニット5年
橘紅李さん
北海道遠軽町／札幌南高校出身



獣医学類での基礎研究紹介動画はこちら

[カリキュラム] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2021年4月1日現在のもので今後変更もあります。

1 年次	基盤教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建学原論 ■ キリスト教 ■ 健士健民 ■ 獣医学入門実習 ■ 獣医療概論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 心理学 ■ 社会学 ■ 生物学 ■ 化学 ■ 運動の科学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 体育実技I ■ 体育実技II ■ 情報科学の基礎 ■ 情報処理基礎演習 ■ 英語I 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 英語II ■ 日本語I ☆1 ■ 日本語II ☆1

2 年次	専門基礎教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医組織学A ■ 獣医衛生学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医生理学総論 ■ 感染と免疫 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 動物倫理・動物福祉学 ■ 動物ハンドリング実習 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全学共通科目A ■ 全学共通科目B

3 年次	専門基礎教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 統計学I ■ 統計学II ■ Veterinary Topic English (Standard) ■ Veterinary Topic English (Advanced) ■ English for Veterinary Skills 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医薬理学A ■ 獣医寄生虫学 ■ 獣医病理学総論 ■ 実験動物学 ■ 動物栄養管理学 		

4 年次	専門基礎教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医解剖学実習 ■ 獣医組織学実習 ■ 分子遺伝学 ■ 獣医生化学実習 ■ 獣医生理学各論B 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医生理学実習 ■ 獣医薬理学B ■ 実験動物学実習 ■ 獣医微生物学 ■ 動物感染症学A 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 動物感染症学B ■ 微生物学実習 ■ 医療物理学 	

5 年次	専門基礎教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 動物行動学 ■ 臨床薬理学 ■ 臨床繁殖学A ■ 獣医麻酔疼痛管理学 ■ 公衆衛生学総論 ■ 博物館実習 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毒性学 ■ 獣医薬理学実習 ■ 動物感染症学C ■ 獣医寄生虫病学 ■ 獣医寄生虫病学実習 ■ 魚病学・原虫病学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医病理学各論 ■ 獣医病理学実習 ■ 食品衛生学 ■ 産業動物臨床学A ■ 伴侶動物臨床学総論 ■ 臨床病理学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伴侶動物内科学各論A ■ 手術学総論 ■ 伴侶動物外科学各論A ■ 画像診断学 ■ 伴侶動物臨床学実習A

6 年次	専門基礎教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 野生動物学 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医産産法規 ■ 研究発表 ■ 学外実習A (伴侶動物) ■ 学外実習B (生産動物) ■ 学外実習C (展示・野生動物) ■ 学外実習D (食品衛生) ■ 生体機能学演習I ■ 生体機能学演習II ■ 感染病理学演習I ■ 感染病理学演習II ■ 予防獣医学演習I 		

7 年次	専門基礎教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食肉衛生検査学実習 (学外) ■ 総合病理診断学実習 ■ 食鳥検査学実習 ■ 参加型伴侶動物臨床実習A (内科) ■ 参加型伴侶動物臨床実習B (外科) ■ 参加型伴侶動物臨床実習C (麻酔・画像診断) ■ 参加型伴侶動物臨床実習D (検査・馬診療) ■ 参加型伴侶動物臨床実習E (学外臨床実習・Shelter) ■ 参加型産業動物臨床実習 (学内・学外) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医産産法規 ■ 研究発表 ■ 学外実習A (伴侶動物) ■ 学外実習B (生産動物) ■ 学外実習C (展示・野生動物) ■ 学外実習D (食品衛生) ■ 生体機能学演習I ■ 生体機能学演習II ■ 感染病理学演習I ■ 感染病理学演習II ■ 予防獣医学演習I 		

8 年次	専門基礎教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医産産法規 ■ 研究発表 ■ 学外実習A (伴侶動物) ■ 学外実習B (生産動物) ■ 学外実習C (展示・野生動物) ■ 学外実習D (食品衛生) ■ 生体機能学演習I ■ 生体機能学演習II ■ 感染病理学演習I ■ 感染病理学演習II ■ 予防獣医学演習I 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医産産法規 ■ 研究発表 ■ 学外実習A (伴侶動物) ■ 学外実習B (生産動物) ■ 学外実習C (展示・野生動物) ■ 学外実習D (食品衛生) ■ 生体機能学演習I ■ 生体機能学演習II ■ 感染病理学演習I ■ 感染病理学演習II ■ 予防獣医学演習I 		

9 年次	専門基礎教育			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医産産法規 ■ 研究発表 ■ 学外実習A (伴侶動物) ■ 学外実習B (生産動物) ■ 学外実習C (展示・野生動物) ■ 学外実習D (食品衛生) ■ 生体機能学演習I ■ 生体機能学演習II ■ 感染病理学演習I ■ 感染病理学演習II ■ 予防獣医学演習I 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 獣医産産法規 ■ 研究発表 ■ 学外実習A (伴侶動物) ■ 学外実習B (生産動物) ■ 学外実習C (展示・野生動物) ■ 学外実習D (食品衛生) ■ 生体機能学演習I ■ 生体機能学演習II ■ 感染病理学演習I ■ 感染病理学演習II ■ 予防獣医学演習I 		

教員からの メッセージ

寄生虫から人類の生き延び方を探る

動物が進化すれば寄生虫も進化するので。氷河期以来の寄生虫。寄生虫は宿主・寄生体関係と言いつつ、動物が寄生された動物(宿主)は栄養不良、貧血、敗血症などを発症し、死に至ることもあります。動物から寄生虫を発見し、予防につなげていく研究をすることも、野生動物医学センターで治療にあたっています。

センチュウは宿主ごとに種類が違い、新属、新種の発見も期待できます。私は日本、中国、ロシア、ネパールなどの野ネズミ類のセンチュウを研究し、新属、新種の発見とともに進化の解明をしてきました。宿主・寄生体関係と言いつつ、動物が寄生された動物(宿主)は栄養不良、貧血、敗血症などを発症し、死に至ることもあります。動物から寄生虫を発見し、予防につなげていく研究をすることも、野生動物医学センターで治療にあたっています。

の歴史がわかれば、未来予測も可能になり、予防対策を考えることに役立ちます。これは新型コロナウイルスのようなウイルスや病原菌にも当てはまり、大きく言えば「人類の生き延び方」を探ることです。獣医学を志す皆さんには、幅広い勉強(たとえば地学も、地球温暖化や生物進化の理解に必須です)をしてほしいですね。本学は隣接する野幌森林公園をはじめ恵まれた自然環境にあり、多種の動物に直接触れて学べます。卒業生は獣医師や検疫官、研究者としてさまざまな分野で貢献、活躍しています。

獣医学類
動物物学ユニット
浅川満彦 教授



私の専門は野生動物や水族館、動物園、ペットのエキゾチック動物などの寄生虫病の診断と療法です。寄生虫の種類は未発見のものも含めて膨大ですが、私はセンチュウを主な対象にしています。この糸状の寄生虫は、多くの動物に寄生します。主に腸ですが、皮膚の下や心臓に寄生することもあります。



分野	ユニット	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
生体機能学分野	獣医解剖学	植田 弘美 渡邊 敬文 細谷 実里奈	准教授 准教授 助教	解剖学から解く生体・形態機能	解剖 生命科学 臨床解剖 生体機能 組織 形態機能
	獣医生理学	翁長 武紀 北村 浩 安井 由美子 守屋 大樹	教授 教授 准教授 助教	消化管の内分泌学・炎症と免疫応答の制御・生活習慣病のエネルギー代謝調節	腸内分泌細胞 炎症制御 ストレス 生活習慣病 アトピー マクロファージ
	獣医生化学	岩野 英知 藤木 純平	教授 講師	遺伝子レベルで動物の病気を理解し、新しい診断法や治療法を開発する	ファージセラピー ゲノム解析 薬剤耐性菌 遺伝子診断 薬物代謝 遺伝子工学
	獣医薬理学	寺岡 宏樹	教授	薬と有害物質の生体作用に関する研究	薬 毒物 代謝 環境 セブラフィッシュ 猫
	獣医放射線生物学	遠藤 大二	教授	放射線からスタートしたゲノム・微生物研究・画像診断・生体機能解析	放射線生物学 ゲノム解析 病原体検出 遺伝子解析 画像診断 生体機能
感染病理学分野	獣医ウイルス学	桐澤 力雄 萩原 克郎	教授 教授	動物と人に感染するウイルス感染症学から予防・免疫・腫瘍ウイルス療法	ウイルス 免疫機能 細胞 抗体応答 遺伝子解析
	獣医細菌学	内田 郁夫 村田 亮	教授 講師	細菌感染症の発病機構の解明と診断・防除技術の開発に関する研究	細菌 家畜 伝染病 伴侶動物 微生物 野生動物
	医動物学	浅川 満彦	教授	寄生虫病と原虫病を含む感染症の診断と疫学に重点を置く獣医学、医学および保全生態学の学際One Healthを標的とした野生動物医学研究	寄生虫 感染症(人獣共通感染症含む) エキゾチック動物 鳥類・爬虫類 野生動物医学 動物園水産館展示動物
	実験動物学	大杉 剛生	教授	疾患モデル動物の開発および実験動物の感染症に関する研究	実験動物学 動物福祉 生命科学 がん 疾患モデル マウス遺伝子
	獣医病理学	松田 一哉 佐野 悠人	教授 講師	動物の疾患に関する病理診断ならびに病理学的研究	生産動物 腫瘍 伴侶動物 感染症 野生動物 眼科・眼球付属器
獣医臨床病理学	鈴木 一由 岡本 実 平田 晴之	教授 准教授 准教授	全ての動物種における病態評価をさまざまな手法に基づいて解明し治療に役立てる	病理生理学 馬医療学 臨床検査学 牛医療学 病理組織診断 伴侶動物医療学	
予防獣医学分野	食品衛生学	臼井 優 福田 昭	准教授 講師	動物由来薬剤耐性菌の環境やヒトへの伝播機構の解明とその対策	細菌 食品衛生学 人獣共通感染症 公衆衛生
	人獣共通感染症学	村松 康和 内田 玲麻	教授 講師	細菌症人獣共通感染症および節足動物媒介性ウイルス感染症に関する研究	人獣共通感染症 ウイルス 公衆衛生 伴侶動物 細菌 蚊・マダニ
	獣医疫学	蒔田 浩平	教授	重要家畜・人獣共通感染症の効果的かつ受容可能な制圧方法の研究	重要感染症 制圧方法評価 多分群選抜 人獣共通感染症 国境共同研究 リスク評価
	獣医衛生学	樋口 豪紀 権平 智	教授 講師	ウシの抵抗力(免疫力)を明らかにし、病気を予防する方法について研究します。	ウシ 乳房炎 免疫 アミノ酸 抵抗力
	ハードヘルス学	及川 伸 福森 理加	教授 准教授	乳牛群の健康管理と生産性向上に関する研究	健康管理医療 飼養管理技術 代謝および炎症疾患コントロール
生産動物医療学分野	動物生殖学	中田 健 杉浦 智親	教授 助教	牛群あるいは牛個体ごとの生産効率および受胎成績を向上させる取り組み	乳牛 繁殖障害 生産性・繁殖性向上 子宮 環境評価 画像診断
	生産動物内科学	田島 蒼士 川本 哲 安藤 達哉	教授 准教授 准教授	生産獣医療の個別診療と群管理における生産性阻害因子に関する研究	生産動物医療 食の安全・安心 生産性向上 感染症 牛の健康管理 往診(動物病院)
	生産動物外科学	加藤 敏英 佐藤 綾乃	教授 助教	牛の獣医臨床における治療から疾病解析・予防法の構築	生産動物獣医療 食の安全・安心 病気の予防 フィールド調査 外科
	生産動物病態学	大塚 浩通 小千田 圭吾	教授 助教	牛の疾病の病態解析と生産性向上のための予防法の構築に関する研究	生産動物医療 飼育管理 感染症 病態解析 免疫機能
	伴侶動物内科学	大田 寛 山崎 裕毅 田村 昌大	准教授 准教授 助教	伴侶動物の内科疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発	犬 猫 画像診断 炎症性疾患 消化器
伴侶動物医療学分野	伴侶動物外科学	上野 博史 鳥巢 至道 井坂 光宏 酒井 俊和	教授 教授 准教授 助教	神経疾患(上野)、消化器疾患(鳥巢・酒井)、運動器・循環器疾患(井坂)の診断・治療に関する研究	脳 整形外科 脊髄 消化器 循環器 腫瘍
	獣医麻酔学	山下 和人 佐野 忠士 伊丹 貴晴 三好 健二郎 加藤 桂子	教授 准教授 准教授 講師 助教	馬、犬、猫の麻酔・疼痛管理および犬猫の集中治療に関する研究	麻酔学 犬 伴侶動物医療 猫 生産動物医療 馬
	画像診断学	中出 哲也 華園 究 堀 あい	教授 講師 助教	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)とInterventional Radiology (IVR)	レントゲン MRI 超音波 画像診断 CT IVR

pickup ピックアップ研究室

獣医学類

食品衛生学ユニット

臼井 優 准教授 福田 昭 講師

動物由来薬剤耐性菌の環境やヒトへの伝播機構の解明とその対策

動物やヒトの細菌感染症の治療に使用される抗菌薬が効かなくなってしまった細菌＝薬剤耐性菌が世界中で問題となっています。特に動物で出現した薬剤耐性菌が環境や食品を介してヒトへ伝播することが懸念されます。私たちのユニットでは、薬剤耐性菌が動物やヒトの間で拡散する機構を解明し、その出現や拡散を防ぐため、細菌学および分子疫学的手法を用いて研究を行っています。また、細菌が抗菌薬に対して抵抗性を獲得する機構を解明し、迅速検出法や薬剤耐性菌に対する有効な薬剤の組み合わせの解明など、薬剤耐性菌に対する有効手段の開発も実施しています。

🔍 学びのkeywords | ●細菌 ●人獣共通感染症 ●公衆衛生 ●食品衛生学



pickup 1

2 pickup

動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)とInterventional Radiology (IVR)



動物は言葉で症状を直接訴えることができないため、画像診断が病気の発見・診断において非常に重要な役割を果たします。当ユニットでは一般的に行われるX線検査、超音波検査だけではなく高度画像診断装置であるCT、MRI装置を駆使して、確定診断につなげる取り組みを行っています。これまでマウスから、大きいものでは牛、馬、ヒグマなどについて診断してきました。さらにIVRという画像下での治療にも取り組んでおり、動脈管開存症という心疾患のカテーテル治療などの実績もあります。これらの診断・治療技術をより向上させることを研究テーマとしています。

🔍 学びのkeywords | ●レントゲン ●超音波 ●CT ●MRI ●画像診断 ●IVR

画像診断学ユニット

中出 哲也 教授 華園 究 講師 堀 あい 助教

動物生殖学ユニット

中田 健 教授 杉浦 智親 助教

牛群あるいは牛個体ごとの生産効率および受胎成績を向上させる取り組み

生産動物が病気になることは、生産性の低下のみならず、繁殖性にも影響します。生産動物の病気は多くの環境要因が積み重なり、その悪い結果として現れたものです。生産現場へ赴いて群全体を自分の目で確かめ、病気のもととなる環境要因の評価から予防へつなぐ取り組みを行っています。また、新しい命を育む器官である子宮に関する研究をベースに、不受胎などの繁殖障害を患う牛個体に対しては、画像診断を駆使して生殖器を可視化し、早期診断や治療対策にも取り組んでいます。当ユニットでは、「目で見る繁殖」を目指した研究教育活動を展開しています。

🔍 学びのkeywords | ●乳牛 ●生産性・繁殖性向上 ●環境評価 ●繁殖障害 ●子宮 ●画像診断

3 pickup



4 pickup

解剖学から解く生体・形態機能



解剖学は、臓器の形態を見て生体のもつ機能や病態を解き明かす学問です。自らの目だけでなく、光学顕微鏡や電子顕微鏡などさまざまなツールを駆使し、皮膚、筋肉、腱、肝臓、腎臓、卵巣や卵管など全身臓器をマクロからミクロまで観察します。我々獣医解剖学ユニットでは、これら臓器の形態学的解析を通し、健康促進作用をもつ生薬の効果の検証、臨床現場で問題となる家畜の肉質低下や繁殖障害の病態解明を進めています。解剖学研究は科学の中で基礎研究という位置づけにあり、臨床応用へ向け知識の基盤を構築することで研究成果を社会に還元しています。

🔍 学びのkeywords | ●解剖 ●臨床解剖 ●組織 ●生命科学 ●生体機能 ●形態機能

獣医病理学ユニット

松田 一哉 教授 佐野 悠人 講師

動物の疾患に関する病理診断ならびに病理学的研究

病理学は、病気の原因究明・診断やその発生メカニズムを解明することを目的とする学問です。動物においてもヒト同様にさまざまな病気が発生し、病気になった動物では肉眼的・組織学的にさまざまな変化が現れます。私たちのユニットでは、病理解剖に供された動物や手術で摘出された臓器の肉眼的検索や顕微鏡を用いた組織学的検索を通じて、病気について明らかになった情報を臨床現場に還元することを目的として活動しています。また、病気の発生メカニズムについて、未だに知られていないことや診断を通じて生じた疑問を明らかにするための研究を行っています。

🔍 学びのkeywords | ●生産動物 ●伴侶動物 ●野生動物 ●腫瘍 ●感染症 ●眼科・眼球付属器

5 pickup





広大なキャンパスで、
動物にも優しく接する
人間性が培われました

獣医学部 獣医学科 >>>
(現・獣医学群 獣医学類)

一般社団法人
ジェネティクス北海道
十勝清水種雄牛センター

いとう ようすけ
伊藤 陽輔 さん

2007年3月卒業 北海道/札幌光星高校出身



ジェネティクス北海道は、主にホルスタイン種や黒毛和種の遺伝的改良を行い、種雄牛を育成し、凍結精液として遺伝資源を農家に提供する団体で、種雄牛の頭数が日本最多です。私は種雄牛の診療から健康・衛生管理、さらには凍結精液の作製など、さまざまな業務を行っています。大学時代は研究室で繁殖学を専攻し、畜産における繁殖の重要性を学びました。

雄牛側から繁殖に携わっていきたくと考え、入社しました。大切に育てた雄牛が、日本全国の酪農畜産を担う種雄牛として活躍してくれた時には、達成感が持てます。牛は大きな動物であり、扱うには多くの人たちのサポートが必要です。研究室では、その協調性の大切さも学びました。

私の家族が酪農を営んでおり、子どもの頃から家に来る獣医師に憧れをいただいていた。酪農・畜産に関するあらゆる実践的な知識と技術を学べる大学は、酪農学園大学しかありません。そしてキャンパスが自然豊かな環境だからこそ、動物にも人にも優しく接する人間性が培われたと思っています。青空の下、広大な芝生に寝転んで食べたソフトクリームのおいしさは、今も忘れません。

ペットと飼い主に
寄り添う獣医師として
学び続けます

獣医学部 獣医学科 >>>
(現・獣医学群 獣医学類)

あいの里動物病院

こんだいら ゆりえ
権平 友里恵 さん

2012年3月卒業
北海道/小樽潮陵高校出身



テレビドラマの影響から獣医師を目指すようになりました。酪農学園大学に入学して、大動物分野や食品・公衆衛生分野など多様な選択肢があるということを知りました。ゼミは獣医衛生学ユニットを選び、雄牛や子牛の世話など貴重な経験ができ、また運動会、仮装駅伝、キャンプなどの行事も盛りだくさんで楽しかったです。卒業後は、やはり昔からの夢だった小動物獣医師になりたいと、現在の職業に就きました。職場は犬、猫がメインですが、小鳥、ハムスターなど症例はさまざまです。一次診療施設なので、症例の現状と原因の見極めがとても大切。状況によっては大学病院を紹介します。助けられない症例もありますが、少しでも長く飼い主と過ごせる時間をつくることや、亡くなった時に飼い主に寄り添うこと、これらも獣医師の大切な役割です。教科書から教わるができないことなので、今後も経験を積んで、学んでいきたい課題です。大学で学ぶ過程や実際に働いている職場では、獣医師についてイメージしていたのと異なることもたくさんありました。みなさんもこれからたくさん「実体験」と「自分の可能性」を楽しんで、頑張ってください!



自然や動物にこれほど
恵まれたキャンパスはない

獣医学部 獣医学科 >>>
(現・獣医学群 獣医学類)

北海道中央農業共済組合
宗谷南部家畜診療所

かなえだ はな
金枝 花 さん

2014年3月卒業
北海道/酪農学園大学附属 とわの森三愛高校出身



私は主に酪農家を往診し、子牛の熱や下痢、成牛の乳房炎や蹄病などの治療を行っています。一番印象に残っているのは、首の筋肉が損傷した牛。当初は起立もできませでしたが、徹底して治療し、農家さんの手厚い看護もあり、私の顔を見ると走って逃げるくらい元気になりました。

実家が酪農家だったため、牛を治していく獣医師に憧れて、酪農学園大学の獣医学部に入学。生産動物外科学ユニットでは、内視鏡での第四胃変位の手術や、蹄病の治療、臍の手術など、さまざまな手術を見ることができ、今でも似たような症例ではその時のメモを見ます。

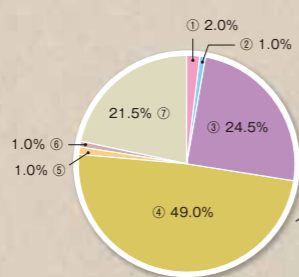
中小家畜研究会というサークルで、豚の出産から立ちあい、かわいい子豚ちゃんを大きく育て、出荷。育てた豚を加工し、食べてもいました。出産から出荷、食べることで、「かわいい」だけでなく「命の大切さ」や「安心安全なおいしい食品をつくる大変さ」も学ぶことができ、農家の大変さも少しは体験できたと思います。

早朝はエソリスやキタキツネなどの野生動物が歩き、昼間は犬が散歩され、牛は放牧地で寝そべり、運がいいと学内を学生と歩く馬に出会い、少し奥まで見学すると豚や羊やヤギにも触れあえる。自然や動物好きにとって、これほど恵まれた環境のキャンパスはなかなかないと思います。

獣医学類 就職実績

就職先分野別グラフ(2019年度卒業生)

- ① 農業・林業
- ② 製造業
- ③ 金融業・保険業
- ④ 学術研究・専門・技術サービス
- ⑤ 教育・学習支援業
- ⑥ 複合サービス事業
- ⑦ 公務



就職率
99.0%

就職者数 102人
(うち自営者数 2人)
進学者数 3人



酪農学園大学キャリアセンター
SNS・HPで情報発信中!

Facebook



Twitter



HP



獣医保健看護学類

School of Veterinary Medicine
Department of Veterinary Science



- 1 附属動物医療センター・リハビリテーション室での運動療法
- 2 ラットを用いた抗酸化ストレス効果をみる実験
- 3 学生が運営に関わる本学で開催の「動物愛護フェスティバル in えべつ」
- 4 附属動物医療センターでの診療補助
- 5 附属動物医療センターにて手術への参加

「好き」をかたちに

学びのポイント

POINT 1

高度化する獣医療を支える
動物看護師を育成

獣医師をサポートする
とともに、飼い主様と獣
医師との信頼関係を構
築する重要な「架け橋」
としての動物看護師を
育成します。

POINT 2

獣医師とのチーム医療を支える
生産動物看護師も育成・輩出

生産動物看護師へのニーズは高まりつつあり、希望者は学内や
NOSAの实習に参加することにより、実際の生産動物の
医療について学ぶことができます。また、取得可能資格とし
て、家畜(牛)人工授精師があります。

POINT 3

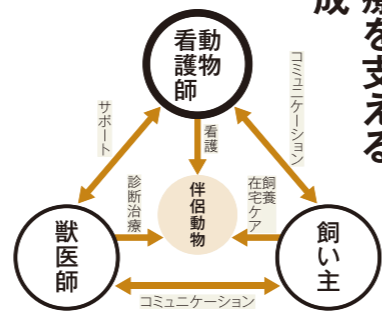
総勢50名を超える教員が指導！
動物看護のスペシャリストを育成

本学類の教員を中心に獣医学類も含め総勢50名を超える教員が
指導します。1・2年次は専門基礎教育を受け、2・4年次で動物
看護に関する専門知識と技術を身に付けます。獣医師、飼い主
様、動物との信頼関係をしっかりと築き、チーム医療に貢献する
動物看護スペシャリストの育成を目指しています。

POINT 4

本学類で飼っている犬たちとともに、
実践的な学びを行う

本学類では動物看護に関するすべての講義、実習に役立つよう、
犬種・年齢が異なるさまざまな犬たちを飼っています。毎日の世
話は学生が交代で行い、犬の生態の理解を深め、健康管理や病
気の早期発見ができる知識が自然と身に付きます。



動物たちとの幸せな
生き方の答えを探す

学びの流れ

4年次	3年次	2年次	1年次
畜産関連科目 ・畜産関連科目 専門教育 ・専門教育科目 専修科目 ・専修教育科目 ・専修教育プログラム(基礎動物看護学) ・専修教育プログラム(応用動物看護学) ・専修教育プログラム(臨床動物看護学)	畜産関連科目 ・畜産関連科目 専門教育 ・専門教育科目 専修科目 ・専修教育科目 ・専修教育プログラム(基礎動物看護学) ・専修教育プログラム(応用動物看護学) ・専修教育プログラム(臨床動物看護学)	基礎教育 ・自然科学教育 ・外国語教育 専門基礎教育 ・学群共通専門基礎科目 畜産関連科目 ・畜産関連科目	基礎教育 ・酪農学園導入教育 ・保健体育教育 専門基礎教育 ・学群共通専門基礎科目 畜産関連科目 ・畜産関連科目



獣医保健看護学類の
紹介動画はこちら

目指す職業

- 動物病院
- 農業共済組合 (家畜人工(牛)授精師)
- 動物医薬品製造業
- 伴侶動物関連卸売小売業
- 公務員 など

学類でサポートする資格

- 食品衛生責任者
- 食の6次産業化プロフェッサー(レベル)
- 学芸員

受験資格

必要要件を満たせば受験する資格が得られます。

- 愛玩動物看護師国家試験
- ペット栄養管理士試験

取得可能資格

必要要件を満たせば卒業と同時に取得可能な資格です。

- 家畜(牛)人工授精師
- ※講習会受講最終試験合格の場合



[カリキュラム] ☆1は外国人留学生のみ

※この内容は2021年4月1日現在のもので今後変更もあります。

1
年次

基盤教育

- 建学原論
- キリスト教学
- 健士健民・獣医学入門実習
- 獣医療概論
- 社会学
- 心理学
- 生物学
- 化学
- 運動の科学
- 体育実技I
- 体育実技II
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語I
- 英語II
- 日本語I ☆1
- 日本語II ☆1

専門基礎教育

- 獣医組織学A
- 獣医生理学
- 獣医生理学総論
- 感染と免疫
- 動物倫理・動物福祉学
- 動物ハンドリング実習
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

専門教育

- 動物看護学概論
- 伴侶動物学 A
- 伴侶動物学 B

2
年次

基盤教育

- 統計学I
- 統計学II
- Veterinary Topic English (Standard)
- Veterinary Topic English (Advanced)
- English for Veterinary Skills

専門基礎教育

- 獣医薬理学 A
- 獣医寄生虫学
- 獣医病理学総論
- 実験動物学
- 動物栄養管理学

専門教育

- 家畜解剖学(農食環境学群共通)
- 畜産学総論
- 動物内科看護学
- 動物外科看護学
- 動物臨床看護学総論
- 動物臨床検査学
- 簿記・会計学概論
- 動物形態機能学実習
- 動物看護基礎実習I
- 動物看護基礎実習II

専修教育

- グルーミング理論
- グルーミング実習

畜産関連科目

- 学外農場実習

3
年次

専門基礎教育

- 動物行動学
- 臨床薬理学
- 野生動物学
- 獣医麻酔疼痛管理学
- 公衆衛生学総論
- 臨床繁殖学 A
- 博物館実習

専門教育

- 動物臨床看護学各論 A
- 動物臨床看護学各論 B
- 動物臨床看護学各論 C
- 伴侶動物内科看護学実習
- Shelter Medicine
- 伴侶動物外科看護学実習
- 伴侶動物麻酔看護学実習

専修教育

- 中獣医学
- 動物理学療法
- 動物行動学実習
- 獣医保健看護学演習
- 基礎動物看護学演習I
- 基礎動物看護学演習II
- 応用動物看護学演習II
- 臨床動物看護学演習I
- 臨床動物看護学演習II

4
年次

専門教育

- 動物人間関係学
- 動物看護総合実習II
- 学内動物病院実習

専修教育

- 動物環境衛生学
- 獣医畜産法規
- 伴侶動物飼養管理学
- 生産動物飼養管理学
- 統合動物看護学
- 基礎動物看護学演習III
- 基礎動物看護学アドバンスプログラム
- 応用動物看護学演習III
- 応用動物看護学アドバンスプログラム
- 臨床動物看護学演習III
- 臨床動物看護学アドバンスプログラム

畜産関連科目

- 家畜育種学
- 家畜管理・栄養学実験
- 家畜育種・繁殖学実験



学生からのメッセージ

「悩むより行動すること」を学びました

私はもともと化学が好きでしたが、本学に入学して薬理、生体反応が好きだと気づきました。ラットを使った刺激に対する反応の実験がたくたく宮庄先生のユニットに入りました。今後は皮膚アレルギーに効果があるとされる、アカエノマツの精油を使つた生体反応の実験に取り組みたいと思っています。勉強とアルバイト、バレーボールサークルに励み、大学の犬の世話もあるのでとても忙しい毎日です。午後11時にバイトから帰つてきて、朝まで勉強ということもよくあります。すべて一人でやる大変さがわかることも、責任感を持つてやり抜くようになりました。仲のいい

い同年代の友人もでき、励まし合いながら、支え合っています。先生も親しみやすく、プライベートな相談にも乗ってもらえます。接客アルバイトの経験から、私は人にモノを薦める営業が向いていることもわかりました。動物看護師の資格を取る予定ですが、卒業後は薬理の知識を生かせる医薬品メーカーの営業職や、人工授精に携わる専門職の胚培養士になる勉強の道などを考えています。自分に合っている勉強が見つかったのも、動物看護だけではない可能性に気づけたのも、幅広い専門分野を持つ本学のおかげだと思います。最初はキャンパスの広さに驚きましたが、函館、釧路、知床など、各地を旅行できたのも、広大な北海道に来たからこそ。もつと旅行しておけばよかったと思つています。悩むより、行動すること。行動すれば道は開けるので、体力がある限りやりたいことに挑戦することをお勧めします。



獣医保健看護学類
動物生命科学ユニット 3年
岡山県/玉野光南高校出身
安川 愛由さん



獣医保健看護学類 動物と人の関係学ユニット 郡山 尚紀 准教授



教員からのメッセージ

「やりたいこと」に、まっしぐらに挑戦を

私は①イヌネコなどペットの動物行動学、②野生動物の生態学の2分野で研究をしています。①では学習理論に基づいて、動物の特性を理解し、一緒に暮らしていく中で上手に付き合う方法を学んでもらいます。学習理論とはたとえば「パブロフの犬」で有名な条件付け(餌のベルの音を聞くと唾液が出る)などです。また、間違つた学習をした動物の行動(例えば郵便配達の人に吠える)を修正することもできます。このユニットでは飼い主とペットのカウンセリングやしつけ教室、バビークラスを開催しており、学生が実際に飼い主に指導することで、実践的に学んでいます。今後、動物看護師が国家資格化する中で、看護師が独自に活躍できる分野でもあります。

②では積丹半島に回遊してくるカマイルカの群れの調査をしています。ボートに乗つて生息数、音声、行動の記録を取ることを7、8年続けており、春に特徴的な回遊生態をすることがわかりました。このフィールドワークは動物園、水族館への就職を希望する学生たちにとって、有意義です。欧米では動物園・水族館に動物看護師がおり、日本でも動物看護師の職域の1つとして早く広がって欲しいと思っています。実際、卒業生には水族館、動物園に就職している人もいます。バイオニアの分野ですが、ガッツのある人に頑張つてほしいですね。大学ではやりたいと思つたことに、まっしぐらに挑戦してください。夢に向かう途上で、「いいな」と思うことに出会えます。周囲に合わせるのではなく、大学では自分が納得できる人生設計を描いてください。



米国バデュー大学へ留学
積丹半島に回遊してくるカマイルカ



バビークラスの「犬のしつけ教室」(2020年はWEB開催)

ユニット	教員	職名	テーマ	学びのkeywords
動物生命科学	北澤 多喜雄	教授	グレリン(ペプチドホルモン)の生理的、病態生理的役割の解明	生体機能 薬学 消化管 自律神経 ホルモン 比較生物学
	林 英明	教授	動物福祉の向上を目指した動物の客観的評価と現場への応用	動物福祉 ストレス 環境エンリッチメント オキシトシン
	宮庄 拓	講師	さまざまな状況に対する動物の生体反応(生体応答)について	生体反応 生体防御 生体応答 生体機能 ストレス 病気の予防
動物と人の関係学	川添 敏弘	教授	「殺処分ゼロ」など動物愛護に伴う分野を科学的な視点で研究	殺処分ゼロ 保護犬 地域連携 動物看護学 人間動物関係学 学校飼育動物
	郡山 尚紀	准教授	人と動物とのより良い関係を目指す研究: 身近な伴侶動物から野生動物まで	行動治療 アニマルセラピー しつけ教室 動物園水族館 野生動物 人獣共通感染症
	高橋 優子	准教授	獣医療に関わる法的・政治的・宗教的・哲学的問題を扱う	動物の福祉 動物の権利 5つの自由 3つのR 法律 宗教
	能田 淳	准教授	地球環境で考える、ヒト・動物・環境の健康: ワンヘルスに向けた環境衛生学	人と動物の健康 地球環境 ワンヘルス バイオアエロゾル 公衆衛生
動物医療学	菅野 美樹夫	教授	生産動物に係る繁殖やフットケアを担う生産動物に 特化した動物看護師の育成	生産動物 健康管理 妊娠診断 お産の介助 家畜人工授精師 削蹄師
	椿下 早絵	准教授	犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み	動物理学療法 リハビリテーション 早期回復 高齢化 イヌ ネコ
	八百坂 紀子	講師	中獣医学(東洋医学)やデンタルケアについての研究	動物看護伴侶動物 看護ケア 緩和ケア 中獣医学 口腔衛生 コミュニケーション方法

獣医保健看護学類 NEWS

動物看護師の
国家資格化

「愛玩動物看護師」

2019年6月21日に国会で「愛玩動物看護師法」が成立し、同年6月28日に公布され、2022年5月1日に施行。本学では、国家資格対応カリキュラムに向けて準備を進め、2022年4月入学生は、同対応カリキュラムにて学ぶことができ、農林水産および環境大臣が指定する講習会を修了することで、2026年3月実施予定の愛玩動物看護師国家試験の受験資格が得られます。

愛玩動物看護師の業務範囲の考え方(イメージ図)

<p>獣医療</p> <p>■診療 手術、X線検査、診察等に基づく診断など</p> <p>■診療の補助 獣医師の指示の下に行う採血、投薬(経口など)、マイクロチップ挿入、カテーテルによる採尿など</p> <p>■その他の看護 入院動物の世話、診断を伴わない検査など</p>	<p>獣医師のみ 実施可能</p>
<p>動物の愛護及び適正な飼養に関する業務</p> <p>■動物の日常の手入れに関する指導・助言 (グルーミング、爪切り、歯磨き)</p> <p>■動物介在教育(AAE)への支援 (小学校等を訪問し学習活動をサポート)</p> <p>■動物飼養困難者(高齢者等)への飼育支援 (家庭訪問、電話等で飼育に関する助言)</p> <p>■動物のライフステージに合わせた栄養管理 (ペットショップ等での食事相談) など</p>	<p>愛玩動物看護師のみ実施可能 (獣医師も引き続き実施可能)</p> <p>愛玩動物看護師以外も実施可能</p>
<p>■その他一般業務 診察受付・院内の衛生管理・備品の在庫管理など</p>	<p>愛玩動物看護師の業務</p>

pickup
ピックアップ研究室

獣医保健看護学類

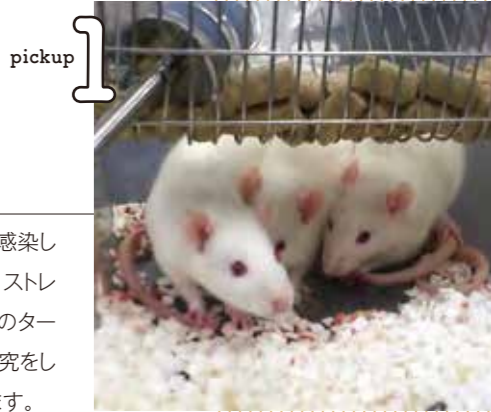
動物生命科学ユニット

宮庄 拓 講師

さまざまな状況に対する
動物の生体反応(生体応答)について

生体はさまざまな状況に対してさまざまな反応・応答を示します。例えば、怪我をしたときや細菌やウイルスに感染したときには、さまざまな反応(=武器)を駆使して身体を守ろうとします。また、バランスの悪い食事を摂ったり、ストレスを感じたりしても、それを補おうとする反応が起こります。それらの反応を理解すれば、それは治療や改善のターゲットになります。さまざまな状況に対して起こる生体の反応・応答について、ラットやブタを使って基礎的な研究をしています。特に今は、北海道の木である「アカエゾマツ」の香気成分の有効性・有用性について研究をしています。

Q 学びのkeywords | ●生体反応 ●生体防御 ●生体応答 ●生体機能 ●ストレス ●病気の予防



pickup



2 pickup

生産動物に係る繁殖やフットケアを担う
生産動物に特化した動物看護師の育成

生産動物(ウシ、ブタ、ヒツジなど)を対象に看護技術の開発、動物とストレスの関係、生産性向上を目的とした蹄(ひづめ)の管理および産期前の損耗防止対策などを主なテーマとしています。さて生産動物における子畜の生産や蹄のケアは重要な看護技術の一つです。そこで現在、家畜人工授精師や牛削蹄師の資格取得に向けた基礎知識の習得、実践を交えたトレーニングを積極的に行うことで卒後即戦力となる生産動物に特化した動物看護師の養成に取り組んでいます。

Q 学びのkeywords | ●生産動物 ●健康管理 ●妊娠診断 ●お産の介助 ●家畜人工授精師 ●削蹄師

動物医療学ユニット

菅野 美樹夫 教授

動物医療学ユニット

椿下 早絵 准教授

犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み

動物の理学療法は、獣医療の進歩・ペットの高齢化に伴い、今後どんどん発展していく分野であると考えられています。犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持を目的として理学療法を実施し、飼い主様とそのペットがハッピーライフを過ごせるようにサポートしていくことが私たちの役割であると考えています。歩行できなかったが日々回復し、自力で歩行する姿を見ることで、私たちもたくさんの感動をもらっています。

Q 学びのkeywords | ●動物理学療法 ●リハビリテーション ●早期回復 ●高齢化 ●イヌ ●ネコ

3 pickup



4 pickup

中獣医学(東洋医学)や
デンタルケアについての研究

伴侶動物の疾病予防・治療・緩和について専門知識を持ち、「チーム獣医療」において役割を担えるような看護ケアについて研究します。特に力をいれているのは現在2つです。1つ目は、歯周病予防としてのデンタルケアです。犬は何もケアをしないと高確率で歯周病になるため、日々の、確実なデンタルケアを行うことが重要です。2つ目は東洋医学の一つである中獣医学を取り入れた緩和ケアです。どちらも知識を学ぶだけではなく、獣医師や飼い主へのサポートができるような実践的なケアやコミュニケーション術についても勉強・研究します。

Q 学びのkeywords | ●動物看護伴侶動物 ●看護ケア ●緩和ケア ●中獣医学 ●口腔衛生 ●コミュニケーション方法

動物医療学ユニット

八百坂 紀子 講師





牛と出会い、人工授精師に。
自分の可能性を狭めずに
突き進んでほしい

獣医保健看護学類 >>>

オホーツク農業共済組合
興部支所
雄武家畜診療所改良課
やまだ ゆうみ
山田 悠未 さん

2016年3月卒業 東京都/十文字高校出身



高校時代は小動物方面に進みたいと思っていましたが、せっかく学ばなら色々な動物に触れようと、酪農学園大学に入学を決めました。大学の乳牛研究会で初めて牛と触れ合い、分娩に立ち会った時の感動が忘れられず、生命の誕生にかかわれる仕事を目指しました。現在、家畜(牛)人工授精師として働いています。主な業務は家畜(牛)の人工授精です。受精卵移植の資格も取ったので、最近は受精卵移植も行っています。授精した牛が妊娠し、無事に分娩して元気な子牛を見ると、やりがいを感じます。農家の方が私の名前にちなんで、牛の名前をつけてくれることもあります。

酪農学園大学の最大の魅力は、何と言ってもたくさんの動物がいることです。私は4年間、大好きな動物に囲まれた幸せな大学生活を過ごせました。またサークルでは乳牛研究会に入ったおかげで、牛と一生ものの友人に出会えました。授業は小動物が中心でしたが、私のように専門外の進路でも目指せる環境が整っています。入学前に思い描いていた道と違っていても、自分の可能性を狭めずに突き進んでほしいと思います。

現場で経験を積んで、
動物看護の教育に携わりたい

獣医保健看護学類 >>>

公益財団法人
日本小動物医療センター

さくらい しんのすけ
桜井 新之介 さん

2017年3月卒業 富山県/八尾高校出身



動物にかかわる仕事がしたいと思い、獣医保健看護学類で獣医師とは異なる立場から獣医療にアプローチしていけることに興味を湧きました。充実した施設と北海道で学べるという高揚感もありました。

実践的な実習や多岐にわたる専門科目の授業は、今も現場で生きています。また、多方面から進学してくる仲間たちとの出会いは何物にも代えがたい財産で、今でも互いに切磋琢磨しています。

在学中にアメリカの大学病院へ短期留学をし、その際目の当たりにした最先端を行く欧米の診療形態と当院が似ており、専門分野での勉強がしたく就職を決めました。仕事の内容は、患者の入院管理はもちろん、専門の獣医師のもと麻酔管理や外来患者の各種検査、また救命救急の現場では獣医師とともにチームとして心肺蘇生の処置に携わるなど多岐にわたります。

将来は診療現場での経験を生かして教育に携わり、動物看護師の発展に関与していきたいです。ペットたちが少しでも健康で楽しい毎日を送れる手助けになることが、仕事のやりがいであり、その夢への活力にもなっています。

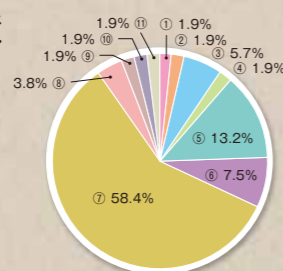
自分の気持ちに素直になり、夢に向かって進んでほしいと思います。大学では好きなことを思う存分学べる環境が用意されているので、大いに活用して自信を磨いてください。



獣医保健看護学類 就職実績

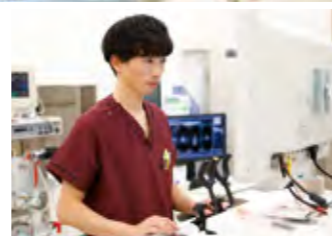
就職先分野別グラフ(2019年度卒業生)

- ① 農業・林業
- ② 建設業
- ③ 製造業
- ④ 情報通信業
- ⑤ 卸売業・小売業
- ⑥ 金融業・保険業
- ⑦ 学術研究・専門・技術サービス業
- ⑧ 宿泊業・飲食サービス業
- ⑨ 複合サービス業
- ⑩ サービス業
- ⑪ 公務



就職率
98.1%

就職者数 53人
(うち自営者数 0人)
進学者数 1人



どんな治療をすれば
後悔がないのか
よりそえる看護がしたい

獣医保健看護学類 >>>

埼玉動物医療センター

にわの
庭野 さらら さん

2018年3月卒業
群馬県/新島学園高校出身



私は4年次に大学の附属動物医療センターの麻酔科で経験した実習を経て、二次病院や高度医療に興味を持ちました。現在、一次から二次診療まで行う動物病院の腫瘍科に所属し、主に患者の診療・手術・術後管理を担当しています。日々の仕事の中で、痛感しているのは、“治らない”ということ。腫瘍ができた動物は完治が難しいことも多く、安楽死させることもあります。発症した動物に対し、どんな治療をすれば後悔がないのか、元気な時間を作れるかと考え、死をむかえる動物、そしてオーナーによりそえる看護がしたいと思うようになりました。

酪農学園大学で獣医学類と一緒に受けた授業で、解剖学や生理学などその他獣医系の基礎知識を得られたことは、動物看護師として役立っています。大勢の友人が近くに住み、常に友人に支えてもらったことは、社会人になった今、とても貴重な経験だと感じています。4年、または6年という時間を本当に自由に使えるのは大学生ならではの醍醐味です。大自然の中で、たくさんの動物に囲まれて素敵な時間を過ごせますよ。行きたい所へ行き、やりたいことを、全部やってみてください。

動物が好きで学びたい人にとって
本学は可能性の宝庫です

獣医保健看護学類 >>>

酪農学園大学附属動物医療センター
(生産動物医療部門 動物看護師)

あきよし みさき
秋吉 珠早 さん

2015年3月卒業
大分県/大分西高校出身



北海道で動物について学びたいと思い、酪農学園大学を選びました。獣医保健看護学類は犬猫など伴侶動物が中心であるものの、この大学の特色としてあらゆる動物について学べ、学類にかかわらず1年次から生産動物にかかわる講義・実習があります。その中でも学外農場実習やオハイオ州立大学への短期研修に参加したことが、私にとって生産動物の道へ進むきっかけになりました。

今の職場を選んだのは、大学附属という最新の情報が入る環境で、日本では数少ない生産動物の「動物看護師」として、この分野での職域確立の可能性を模索し、後輩にも伝えていける魅力を感じたからです。現在、牛の人工授精や受精卵移植(家畜人工授精・受精卵移植の資格利用)、細菌検査、手術他診療補助などを行っています。繁殖にかかわる中で、一般診療側と繁殖側とで情報を共有し、農家に対してより細やかな診療・繁殖アプローチを提供できた時はやりがいを感じます。自分の授精した牛が分娩後、第一線で活躍しながら再び人工授精などで戻ることが嬉しいときです。

酪農学園大学は具体的な進路が決まっていなくても、動物が好きで学びたい人にとって興味を広げていける可能性の宝庫です。ぜひこの大学で自分の好きなこと、興味があることを探して追究してほしいと思います。



本学OGの後輩たちと



酪農学園大学キャリアセンター
SNS・HPで情報発信中!

Facebook



Twitter



HP



地域・企業連携

本学の知的資源を多角的に活用

関係省庁や企業との共同研究、寄附講座の開設をはじめ、教員による新技術開発の特許の出願・登録、産学官連携・高大連携などの各種事業、各種展示会での研究活動のアピールなどを積極的に展開しています。

江別市大学連携事業

江別市大学連携事業は2009年度より「江別市・大学・江別市商工会議所による包括連携・協力に関する協定(包括連携協定)」を締結したことからスタートし、教員向けに調査研究事業、学生向けに学生地域活動支援事業として毎年実施しているものです。例年、本学教員・学生の研究が採択されており、その研究成果が今後の江別市の発展に寄与していくことが期待されています。



酪農学園大学が展開する研究活動

本学の研究は、文部科学省、農林水産省等の各省庁や江別市等の自治体、民間企業等からの研究依頼、または個人・団体からの寄付金で運営され、本学の特色(農・食・環境・獣医)に基づく資源を活用して、社会還元されています。2019年度は総額293,750千円という外部資金により研究活動を展開しています。研究活動は教員、事務職員が関わることももちろんですが、学生の皆さんの協力も不可欠です。ぜひ酪農学園大学へ入学し、教育を受けるだけでなく、研究活動にも参加してみてください。



酪農学園大学
研究シーズ集

現在も世界中で取り組まれている「SDGs(持続可能な開発目標)」は、国連で採択されてから5年が経過しましたが、国連の報告書によるとそれぞれの達成度は未だ低く、取り組みの中には問題が悪化しているものもあるというのが現状です。

酪農学園大学の建学の精神・理念である「健土健民」「三愛主義」や、本学創立者の黒澤酉蔵先生が提唱した「循環農法」はSDGsの考え方にも通じており、大学としてこれからも積極的に貢献していきます。皆さんも酪農学園大学で、持続可能な世界を目指しませんか?



酪農学園大学では「酪農PLUS+」というサイトも運営しています。酪農家の方々にとって有益な情報をはじめ、牛乳を使ったミルクレシピの料理動画や、酪農・乳製品に関する疑問に本学教員がお答えする質問コーナーなど、学生の皆さんにとってもプラスになる情報を配信していますので、ぜひ活用してください!「酪農PLUS+」のマスコットキャラクターのサンディーも皆さんと会えることを楽しみに待っています!下記SNSへのいいね!もよろしくお願ひします!



サンディー



酪農PLUS+のトップページ



酪農技術動画



ミルクレシピ動画



SNS・HPにて
情報発信中!



Facebook



instagram



酪農PLUS+

国際交流

人と研究の国際交流を積極的に推進

海外の大学 研究機関との学術交流の窓口として学術交流協定の締結などを推進。また、学生の多様なニーズに応えるため海外研修・留学プログラムの充実にも努めており、語学研修、ファームステイ、動物環境保護などのプログラムを企画・紹介しています。

学術交流協定

本学は、海外の大学などとの学術交流協定を23カ国44機関と締結しており、学術資料の交換、教員や学生の派遣、共同研究、セミナーなどの開催で交流を行っています。

- 学術交流協定機関
23カ国 44機関
- カナダ/●アルバータ大学 ●オールズカレッジ ●サスカチュワン大学
 - アメリカ/●オハイオ州立大学(獣医学部、食品・農業・環境科学部) ●コーネル大学 ●フィンドレー大学 ●パデュー大学
 - パラグアイ/●アスンシオンカトリック大学
 - ロシア/●極東農業大学
 - 中国/●新疆農業大学 ●内蒙古農業大学 ●内蒙古民族大学 ●陝西省動物研究所
 - 韓国/●国立韓京大 校 ●韓国食品開発研究院
 - 台湾/●国立嘉義大学 ●国立屏東科技大学 ●国立中興大学
 - フィリピン/●東フィリピン大学
 - マレーシア/●サバ大学
 - ベトナム/●ハノイ公衆衛生大学 ●ベトナム国立農業大学 ●国立獣医学研究所
 - タイ/●マヒドン大学(熱帯医学部、獣医学部) ●チュラーロンコーン大学 ●カセサート大学 ●保健省医科学局 ●コンケン大学 ●タマサート大学
 - ミャンマー/●獣医学科学大学
 - インド/●サムヒギンボト農薬科学技術大学
 - モンゴル/●モンゴル生命科学大学 ●フスタイ国立公園 ●モンゴル国立大学
 - カザフスタン/●アルファラピカザフスタン国立大学 ●国立バイオテクノロジーセンター
 - ポーランド/●ワルシャワ生命科学大学
 - ドイツ/●ハノーバー獣医科学大学
 - デンマーク/●国立畜産研究所
 - イギリス/●グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学研究所
 - ケニア/●国際家畜研究所
 - コートジボワール/●スイス科学研究所
 - ウガンダ/●マケレレ大学
 - イタリア/●パドヴァ大学



長期海外研修・レポート アメリカ フィンドレー大学

獣医学類 砂崎 香恋さん
北海道札幌市/
酪農学園大学附属とわの森三愛高校出身

ともに学んだクラスメイトは
遠く離れていても心強い仲間

留学した8カ月間、基礎獣医学科や馬学科の学生とともに専門の授業を受け、アニマルハンドリングの実習などに参加しました。狂犬病に対する意見や解決策をクラスメイトと話し合う中で、視野の広い考え方や柔軟な視点を持つことの重要性を認識しました。アニマルハンドリングの実習は、獣医師として必要な実技を体得する貴重な機会となりました。クラスメイトと一緒に授業実習を頑張る、成績優秀者として学部長賞リストに掲載され、大変嬉しかったです。留学中、私を家事に招待してくれた友人、毎日一緒に過ごしたシャトルバスの仲間、近所の親切な人たちの素敵な出会いもあり、充実した日々を過ごすことができました。フィンドレー大学で共に学んだ仲間と再会する日が楽しみです。

短期海外研修・レポート カナダ ジェイコブズ牧場実習

循環農学類 久米 睦子さん
北海道足寄町/
酪農学園大学附属とわの森三愛高校出身

仕事を楽しむ余裕を身に付け
帰国後はさまざまなことに気づくように

春休みを利用して、50日間実習しました。130頭の繋ぎ飼いの牛舎と100頭のフリーバーン牛舎がそれぞれ枝分かれして繋がっていたのは、とても興味深かったです。担当した作業は、朝夕に哺乳、日中はハッチ掃除などの哺乳舎管理や毛刈り、牛洗いを中心に行いました。この牧場にはグアテマラから来ている3人の従業員さんがいて、仕事を丁寧に教えてくれ、またおいしい料理も振る舞ってくれました。話す言葉はスペイン語でしたが、英語も少し使ってくれたので、そこから連想ゲームのように理解することができました。牧場で楽しそうに仕事をしている人たちに出会い、自分も楽しむことが大切だと気がつき、帰国後はリラックスして実習に参加し、視野も広がりました。質問ができるようになりました。やりたいことを後押ししてくれる本学です。

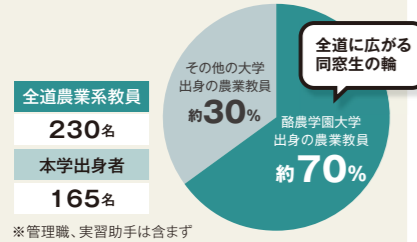


教員として全国で活躍する
酪農学園大学卒業生数 **655名**

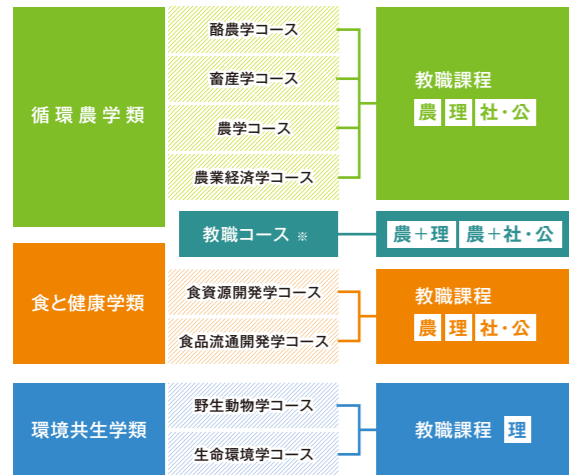
道内		道外	
農業系	165名	農業系	170名
理科	114名	理科	43名
農業系・理科以外	81名	農業系・理科以外	82名

※管理職、実習助手は含まず

北海道内高校の農業系科目教員の
約70%が酪農学園大学出身



コースごとに見た取得可能な免許



※教職コース生では、教員免許取得のための単位の一部が卒業要件に含まれます。教職コースの学生は、循環農学類と食と健康学類のどちらかに所属します。
※管理栄養士コースでは教員免許を取得することはできません。

酪農学園大学で取得可能な免許

	農業科(高校)	理科(中学・高校)	社会科(中学) 公民科(高校)
循環農学類	●	●	●
食と健康学類	●	●	●
環境共生学類	—	●	—

入学時は動物にかかわる仕事が希望でしたが、酪農学科で勉強の難しさや面白さがわかり、その面白さを子どもたちに伝えたいと思うようになり、大学で過ごした弓道部の友人たちは、今でも自分のことのように喜び、悲しんでくれる大切な仲間です。また、ゼミ室でくだらないことを話したり、大雪で帰れなくなってしまう、卒論のためにみんなで「生懸命牛乳パックを集めたりなど、本当にいい仲間」に恵まれました。部活と勉強の両立は大変でしたが、酪農学園大学で4年間頑張りがれたことが、自信につながったと思います。この大学で、個性豊かな先生方と、充実した学生生活を送ってほしいと思います。

酪農学園大学で 教員を目指す

酪農学園大学では教員免許
取得のための2つの道があります。

「農食環境学群」の各学類(管理栄養士コースを除く)で専門的に学びながら教職課程生として教員免許を取る方法と、もう一つは教員採用試験の突破を目標に「循環農学類」と「食と健康学類」(管理栄養士コースを除く)に設置された「教職コース」に進む方法です。

「教職コース」では1年次終了時の選抜を経て、教員の道を目指す仲間たちと教員採用に向けた専門的な授業や指導を受けることが可能です。卒業時に農業科の教員免許に加え、理科(中学)、理科(高校)、社会科(中学)、公民科(高校)免許のいずれか一つ以上を取得させ、高校(農業・理科)公民、あるいは中学(理科)、社会科教員を養成します。

卒業生からのメッセージ

森林・林業を理解する教育で地元へ貢献

私はもともと中学校時代の恩師にあって教員を志しました。その後、高校、大学で学んだことを生かせると考え、農業高校の教員を選びました。酪農学園大学に進んだのも、農業教員としての道が開けていると感じたからです。

大学では食品物性学研究室に所属し、テクスチャー(口当たりや歯ごたえなどの食感)に関する学習をしました。卒業論文は、寒天を固める温度によるテクスチャーの変化についての研究でした。また、教員免許を取得するための講義では、同じ目標を持つ仲間たちと、夢の実現に向けて一緒に努力したことが印象に残っています。今でも交流を持つ友人が多く、生き、生涯の財産です。



北海道旭川農業高等学校
大村 竜二 さん
酪農学部 食品科学科
(現:食と健康学類)
2010年3月卒業
北海道帯広市 / 帯広農業高校出身

現在は旭川農業高校森林科学科で、測量などの授業を受け持っています。旭川市は家具製造などが盛んな木のまち。生徒たちには森林・林業に関して理解を深め、将来地元産業に貢献してもらいたいですね。私自身は生徒の学びたいという要求に応えられるよう、さまざまな面でスキルを高めたいと思っています。

大学で多くの経験を積んで、多くの人と知り合っことが将来に役立ちます。今しかできないことがたくさんあるので、自分で自分を小さな卒に閉じ込めることなく、頑張ってください。

酪農学園大学で知った勉強の面白さを中学生に伝えています

私は理科の教員で、現在中学1年生の担任をしています。吹奏楽部や学級委員の指導もしています。部活の引退試合などで、クラスでは見ることでできない成長した姿を見ると「先生をやっている良かったな」と感じます。授業では、理科の知識と身のまわりの現象が繋がった時の「わかった!」という反応に、やりがいを感じますね。遺伝や生殖、環境などについては、本学の実習で本物を見ているからこそできる話があり、生徒はとても興味をもってくれます。



横浜市立仲尾台中学校
栗田 奈々子 さん
酪農学部 酪農学科
(現:循環農学類)
2008年3月卒業
神奈川県 / 横浜市立桜丘高校出身

酪農学園大学 大学院

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

農・食・環境・生命の
最先端研究に取り組む。

酪農学園大学は、農・食・環境・生命の領域において、それぞれが互いに連携しながら地球と生命を科学する総合大学です。その研究領域は、産業としての農だけでなく、生命を健やかに育むための食や健康、地球環境に至るまでの社会を構成するあらゆる分野におよびます。獣医学研究科(2専攻)と酪農学研究科(4専攻)で構成される本学大学院は、こうした総合大学としての強みを生かし、建学の精神である「健士健民」という理念の具体的実現をテーマに、高度な専門性を有し、それを職業で表現していく人材、技術革新など将来を切り拓く研究者の育成を目指しています。



農・食・環境に関わる研究を現場から学び、現場に返す。

酪農学研究科

食生産利用科学専攻 [博士課程] 3年

- 植物資源生産学
- 動物資源生産学
- 食資源開発利用学
- 応用食品化学
- 微生物利用学
- 農業経営政策学
- 食料経済学

食品栄養科学専攻 [博士課程] 3年 [修士課程] 2年

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 加工特性 | 栄養機能 | 健康栄養 | 食環境管理 |
| 食品加工特性学 | 食品栄養機能化学 | 健康栄養学 | 食品微生物管理学 |
| 食品物性学 | 食品機能生化学 | 臨床栄養学 | 食品環境汚染学 |

酪農学専攻 [修士課程] 2年

- | | | | |
|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 作物生産科学 | 家畜生産科学 | 酪農情報学 | 環境共生学 |
| 土壌植物栄養学 | 家畜繁殖学 | 酪農経営情報学 | 野生動物学 |
| 病理・害虫学 | 遺伝・育種学 | 農業経営学 | 国際環境情報学 |
| 飼料作物学 | 家畜栄養学 | 酪農政策学 | 地球環境保全学 |
| 植物遺伝学 | 家畜管理学 | 農業市場学 | |
| 酪農機械学 | 酪農生物化学 | | |

フードシステム専攻 [修士課程] 2年

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 食資源利用システム | 食料政策システム | 経営管理システム |
| 農・畜産食品学 | 食料政策論 | 経営管理論 |
| | 食品流通論 | 食品情報システム論 |

臨床と基礎の両面から獣医学の発展を推進する。

獣医学研究科

獣医学専攻 [博士課程] 4年

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 基礎獣医学(生体機能学) | 臨床獣医学(伴侶動物医療学) |
| 獣医解剖学 | 運動器・神経病治療学 |
| 獣医生理学 | 獣医眼科学 |
| 獣医栄養生理学 | 獣医臨床腫瘍学 |
| 獣医生化学 | 画像診断学 |
| 獣医薬理学 | 獣医麻酔学 |
| 獣医放射線生物学 | 循環器病学 |
| | 動物集中管理学 |
| | 動物疾病治療学 |
| | 動物理学療法学 |
| 基礎獣医学(感染・病理学) | 応用獣医学(衛生環境学) |
| 獣医病理学 | 人獣共通感染症学 |
| 医動物学 | ハードヘルス学 |
| 獣医ウイルス学 | 獣医衛生学 |
| 獣医細菌学 | 食品衛生学 |
| 実験動物学 | 環境衛生学 |
| | 獣医疫学 |
| | 人と動物の関係学 |
| | 獣医倫理学 |
| 臨床獣医学(生産動物医療学) | |
| 生産動物内科学I | |
| 生産動物内科学II | |
| 生産動物外科学 | |
| 動物生殖学 | |

獣医保健看護学専攻 [修士課程] 2年

- | | |
|---------------------|------------------|
| 基礎・応用獣医保健看護学 | 臨床獣医保健看護学 |
| 獣医解剖学 | 獣医衛生学 |
| 獣医ウイルス学 | 獣医麻酔学 |
| 動物薬理学 | 画像診断学 |
| 獣医病理学 | 動物理学療法学 |
| 公衆衛生学 | 動物疾病治療学 |
| 医動物学 | 動物行動学 |
| 獣医生化学 | 生産獣医療学 |

キャンパス / 部活動・サークル / 暮らし

Campus Life

どれがあなたのキャンパスライフを彩るだろう
ドキドキがいっぱいの学園生活があなたを待っています。



キャリアサポート

満足度100%の就職に向けて、入学直後から細やかにサポートします。

“就活”を勝ち抜く実践力を身に付けるために、
講座やセミナーをはじめ多角的な支援体制を構築。

キャリアセンターからのメッセージ



酪農学園大学では、学生が高い目的意識を持ちながら、人生観や職業観を養い、的確な進路や職業の選択を成し遂げられるよう学生の希望に沿ったキャリア支援を行っています。全学年を対象に個人面談を行うことで、一人ひとりとより細やかな信頼関係が確立できるよう努めています。インターンシップの紹介や資格・検定受験の支援、就職活動全般のノウハウを学ぶ「就活講座」をはじめ、学内合同説明会、公務員試験受験対策講座、面接対策講座、ビジネスマナー講座など各種講座を開催しています。その他、内定を得ている4年生から情報を得る報告会を行うなど多角的にサポートしています。学生の個性や適性、志望を生かした進路実現を支援しています。

主なキャリア・就職支援スケジュール

1・2年次

- 就職ガイダンス
- 公務員試験受験対策講座
- 食品衛生責任者養成講習会
- 日商簿記検定
- 家畜商講習会



3年次

- 就職ガイダンス
- 就活講座(下記参照)
- 公務員受験対策講座
- 技術・ビジネス交流会
- 「ビジネスEXPO」見学
- SPI対策講座、WEBテスト
- 履歴書対策講座
- 業界セミナー
- 食品衛生責任者養成講習会
- 日商簿記検定
- 家畜商講習会
- 個人面談

資格・検定受験を支援
■食品衛生責任者
 飲食店や食品製造業など食品の営業施設において、施設の衛生管理を担う責任者。その資格を取得するための講習会を学内で開催します。

■家畜商
 日本においての家畜の取引を行うために必要な免許。家畜商法に基づく公的資格です。

学年学類問わず受験ができる上記の資格などについての告知、申込受付を行っています。

4年次

- 就職ガイダンス
- 面接対応力向上セミナー
- 集団面接・GD対策講座
- 合同企業説明会
- 公務員獣医師説明会
- 食品衛生責任者養成講習会
- 日商簿記検定
- 家畜商講習会
- 社会人準備セミナー



社会へ

※感染予防のため、Web対応への変更や、開催を見送る場合があります

2020年度 就活講座・合同業界セミナー 主なテーマ

3年次 (獣医学類5年次)

- 5月** ●就活スタート準備講座
 (「就職環境」「就活スケジュール」「今から準備できること」)
- 6月** ●コロナ禍における就活準備講座
 ●自己分析講座
 (進路選択・就活準備のための自己分析)
 ●筆記試験対策講座
- 7月** ●この夏に進める就活準備とインターンシップ講座
 ●業界研究・企業研究講座
 ●新型コロナの影響による企業の最新情報
 ●インターンシップの探し方講座
 ●道外就職を希望する人のための就活準備講座
- 9月** ●就活解禁に向けての準備講座
 (食と健康学類)
- 10月** ●就活解禁に向けての準備講座
 (循環農学類)
 ●就活解禁に向けての準備講座
 (環境共生学類、獣医学類、獣医保健看護学類)

- 11月** ●エントリーシート・履歴書対策講座 ①自己分析編
 ●エントリーシート・履歴書対策講座 ②志望動機編
 ●SPI模擬試験(筆記試験)解説会
 ●道外企業の採用関係、最新情報
 ◎酪農・畜産・農業系企業のWeb合同業界セミナー①
 ◎酪農・畜産・農業系企業のWeb合同業界セミナー②
 ◎家畜人工授精師Web合同業界セミナー①
 ◎家畜人工授精師Web合同業界セミナー②
 ◎環境・建設コンサルタントWeb合同業界セミナー①
- 12月** ●採用面接対策講座
 ●Web試験の注意点とマナー
 ●管理栄養士のための就活準備講座
 ◎環境系公務員・野生動物系 Web合同業界セミナー②
 ◎全国NOSAI(獣医師)Web合同業界セミナー
 ◎管理栄養士コース Web合同業界セミナー
- 2月** ●就活解禁直前業界セミナー
 (主に農食環境学群 対象 60社参加)

※●はWeb就活講座 ※◎はWeb合同業界セミナー(企業説明会)
 ※なお、本学学生専用のWeb単独企業説明会を約150件を開催



1F 生協サービス店・ルームガイド店
帰省や就職活動の時など飛行機、ホテルのチケットを手配してくれます。卒業旅行もここでチェック。物件探しもラクラクです。

酪農学園ホール (学園生協)



1F ホール
1Fのスペースは、食事まで、学生のいこいの場になっています。



1F ATM
ゆうちょ銀行のATM。財布が空っぽになっていても、慌てなくて済みます。
※北洋銀行は中央館1Fに設置しています。



1F 生協購買店・書籍店
大学オリジナルブランド製品が買えるのはここだけ！
また、ソフトクリームも販売しています。



中央館



1F ロビー お弁当を食べたり、友人とおしゃべりしたり、自習したり。学生たちが自由に入出りできるフリースペースです。



1F 生協中央店
軽なお昼をすませたい方はこちらへ。おにぎりやお弁当、パンなどがあります。



2F カラフルな椅子が並ぶ明るいスペース。ゆったりと自習するのに最適。

2F 生協食堂

カフェテリア方式で、1日70品以上のメニューを用意。季節に応じて色々なフェアメニューが登場するなど、通い続けても飽きがきません。



健民館 (2020年3月竣工)



アクティブスペース

大きな多目的アクティブスペースのほか、課外活動部室や合宿スペースを完備。コモンスペースでミーティングも可能です。地下1階には吹奏楽団専用部屋もあります。



B4号館



2F 学習支援室

勉強のことで悩んだり、困ったりしたらここへ。英語と数学の専門学習支援アドバイザーが常駐し、学生の習熟度に合わせてサポート。



1F アリーナ

開放感のあるアリーナには、吹き抜け部分にクライミングウォールを設置。ギャラリースペースもあり、観覧が可能です。

合宿部屋

合宿エリアは浴室や厨房・食堂を完備しております。



学生サービスセンター

1F

学生相談室

カウンセラーが常駐して、学生一人ひとりがより良い学生生活を送れるようサポートします。勉強のこと、健康のこと、対人関係など、相談できます。



1F

医務室

保健師が常駐しており、学生の日常の健康をサポート。ケガの応急処置のほか、健康や病気の相談にもつてくれます。



Campus

キャンパス

あなたの「好き」をかたちにするサポート体制も充実しています。学び・食・健康など学生生活のすべてを支援する施設と職員が揃っています。



キャンパスライフ紹介動画はこちら

Club & Circle

部活動

クラブ・サークル

日々の学びとともに、生涯にわたる仲間ができる
各種のクラブ・サークル活動も盛んです。
大学間の交流や、社会人との交流も広がります。



肉牛研究会 61名



酪農学園YOSAKOIサークル
“祭” 65名



弓道部 33名



フリークライミング
サークル 40名



中小家畜研究会 30名



どうぶつ
ボランティア
幸せなしっぽ 116名



吹奏楽団 44名



ラクロス部 19名



男子アイスホッケー部 37名



男子バスケットボール部 14名

ブルーグラス研究所 27名



ア・カペラサークル
『唄種』 41名



熱気球愛好会 9名



馬術部 29名

その他の文化系クラブ・サークル

- 合唱団 (8名)
- 軽音楽同好会 (61名)
- 写真部 (14名)
- 絵画研究会 (6名)
- 音楽研究会 (26名)
- 野生動物生態研究会 (37名)
- 近代演劇 (9名)
- キリスト者学生会 (11名)
- 旅行サークル“The travelers” (19名)
- 漫画倶楽部 (17名)
- 創作文化研究会 (7名)
- 酪農学園ボランティアクラブ (9名)
- ESS (22名)
- 酪農茶道部 (17名)
- 棋道部 (8名)
- 野菜サークル (V.R) (17名)
- 植林研究会 (9名)
- 室内楽団 (5名)
- 国際交流サークル SukaRela (16名)
- サマーアグリキャンプ (16名)
- ワインサークル (18名)



乳牛研究会 67名



その他の体育系クラブ・サークル

- ソフトテニス部 (30名)
- 剣道部 (24名)
- スキー部 (12名)
- ラグビー部 (20名)
- 山岳部 (8名)
- 男子バレーボール部 (13名)
- 柔道部 (22名)
- バドミントン部 (11名)
- ワンダーフォーゲル部 (20名)
- ウエイトリフティング部 (11名)
- サッカー部 (23名)
- 陸上競技部 (19名)
- 少林寺拳法部 (4名)
- 日本拳法部 (6名)
- 硬式野球部 (24名)
- 空手道部 (15名)
- アーチェリー部 (21名)
- 水泳部酪泳会 (22名)
- 硬式テニス部 (8名)
- 軟式野球部 (25名)
- 女子バスケットボール部 (12名)
- フリースタイルスキークラブ (13名)
- 女子バレーボール部 (10名)
- North Paddler (3名)
- 卓球部 (29名)
- ハンドボール部 (40名)
- ビリヤードサークル Number9 (13名)
- フットサルサークル「R-Foot」 (22名)
- 準硬式野球部 (10名)
- 自転車部 (11名)
- 女子アイスホッケー部 (31名)



合気道部 4名

※人数は2021年3月現在

暮らし

大学に入学してからはじまる新たな生活。学生に感想を聞いてみました。

Q&A

獣医学群 獣医保健看護学類 2年
丹羽 雄大さん
大阪府/槻の木高校

- 1 酪農学園大学に来て良かった事ベスト3
 - 1 全国に知り合いができる
 - 2 自由になんでもできる
 - 3 実家のありがたみを知る
- 2 冬がづらい。
- 3 15分ぐらい
- 4 ツルハドラッグ
- 5 仕送り5万円、バイト代5万円ぐらい
- 6 4万2000円
- 7 ESS

共通QUESTION

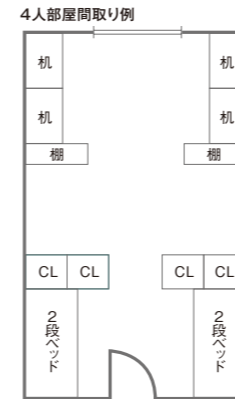
- 2 嫌だった事
- 3 大学まで徒歩何分?
- 4 よく行くスーパー
- 5 生活費 (バイト代、仕送り、奨学金)
- 6 家賃
- 7 部活

農食環境学群 循環農学類 2年
上村 実優さん
鹿児島県/市来農芸高校

- 1 酪農学園大学に来て良かった事ベスト3
 - 1 大好きな牛を学べる
 - 2 たくさんの人と出会える
 - 3 美味しいもので溢れている
- 2 鹿児島訛りがたまに通じないところ
- 3 10分ぐらい
- 4 トライアル
- 5 バイト代10万円
- 6 2万3千円
- 7 プリーダース



希望寮 [男子寮]



4人部屋

快適な環境で、学びと友だちづくりができる男子学生寮

「希望寮」はキャンパスの西側にある男子寮です。隣接する附属高校との併設寮という特徴があり、生活時間が異なることから、高校生のスペースと大学生のスペースは完全に分けて配置。上級学年は1人部屋を利用できます。また、共用スペースとして、食堂、談話室、集会室、多目的室、学習室、浴室、洗濯室、乾燥室、フリースペースなど快適な環境が整っています。



各フロアにある談話スペース

食堂で仲間と食事

キレイな洗面所

学生寮

色々な面で安心して暮らせるのが寮の魅力。大学の敷地内にあるから通学もラクラク。

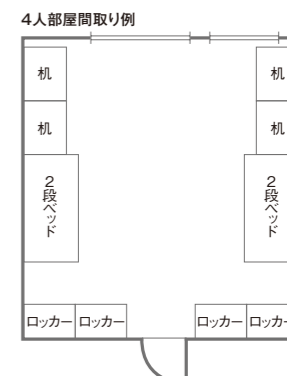


学生寮の紹介動画はこちら

清温寮 [女子寮]



4人部屋



学年を超えた輪が広がる、安心・便利な共同女子寮

キャンパスの中心部ほど近くに建つ「清温寮」。1人部屋、2人部屋、4人部屋があり、バランスのとれた食事を提供する食堂や多目的室、無料の洗濯室などが整えられ、充実した学生生活をサポート。寮生が企画運営するイベントや男子寮(希望寮)との交流会も開催されます。学年・学類の枠を超えた友人たちとの共同生活は、成長していくための大きな財産となるでしょう。



緑を感じる食堂

自由に使える洗濯機

セキュリティ対応・エントランスのカードキー

特設サイトを紹介！ WEBオープンキャンパス 2021

酪農学園大学の魅力を気軽にスマホひとつで知ることができます！
YouTubeで動画を見ることや、WEBイベント・WEB個別相談会へ参加することで、
たくさんの魅力に触れることができます！



特設サイトはこちら

ポイント1 RGU MOVIEで大学の魅力を知ることができる！

40本以上の動画を公開！酪農学園大学ならではの学びをご覧ください。



**酪農学園大学
YouTubeチャンネル**

RGU MOVIEはコチラ

ポイント2 WEBオープンキャンパスをライブ配信で開催！



あなたのスマホが北海道・酪農学園大学とつながる！
大自然・北海道での学びを体感してください！

第1回 入試広報センター職員が紹介！
5/29(土) 「大学概要・入試説明など」

第2回 学類教員、学生が紹介！
10/23(土) 「学類の魅力、研究紹介」

※ZoomまたはYouTubeでの視聴参加が可能

ポイント3 WEB個別相談会

酪農学園大学の「学び」「入試制度」
について詳しく知りたい方のために、
大学教職員が直接ご対応します！
学びや入試の相談だけではなく学生
生活、北海道での暮らしについてのご
相談も大歓迎です。

気軽に いつでも質問可能！
LINEでQ&A

LINEメニューから質問をタップ！自動
応答ですぐに回答を受け取れます。

開催日時 常時開催中！

気になる質問をタップすると
すぐに答えが表示されます！

※LINE相談で解消しない質問は、
Zoom個別相談を活用してください！

じっくり 事前予約制！
Zoom相談

Zoomを利用し、大学教職員が直接
相談・説明を行います。

開催日時 2021年 5月下旬～
10月29日(金)

お申し込みは
WEBオープンキャンパス
特設サイトにて！



来場型 オープンキャンパス 2021

感染予防策を十分にとったうえで、**完全予約制**、**人数限定**で開催！

第1回 **7/24(土)** 第2回 **8/28(土)・29(日)** 第3回 **2022/3/12(土)**

北海道の広大なキャンパスを体感してください！

学類イベント



体験見学イベント



出張オープンキャンパス in 大阪
9/18(土) 開催

出張オープンキャンパス in 東京
9/20(月祝) 開催

学食体験
お腹が空いたらおいしい
ランチ！アイスももらえる。

じっくり相談してみよう

学生相談 **教員相談** **入試相談**

お申し込みは受験生サイトから

※写真は2019年開催時のものを使用しています。

私大トップクラスの敷地面積135万㎡

キャンパスマップ



2020年7月撮影



J
C1号館



I
希望寮(男子寮)
詳しくは93ページをご覧ください



H
食品加工実習室
詳しくは23ページをご覧ください



G
乳製品製造実験実習室
詳しくは24ページをご覧ください



F
B4号館
詳しくは90ページをご覧ください



E
清温泉(女子寮)
詳しくは93ページをご覧ください



D
黒澤記念講堂



C
中央館
(学生ロビー・学生ホール)



B
附属動物医療センター
詳しくは25ページをご覧ください



A
酪農生産ステーション
詳しくは20ページをご覧ください



S
肉畜生産ステーション
所在地／北海道江別市元野幌1107
詳しくは21ページをご覧ください



R
酪農学園ホール(学園生協)
詳しくは90ページをご覧ください



Q
緑音館
(音楽系部室)



P
健身館
(格技・体育系部室)



O
健民館
(体育施設・トレーニングセンター)
詳しくは90ページをご覧ください



N
附属図書館
詳しくは89ページをご覧ください



M
実習棟



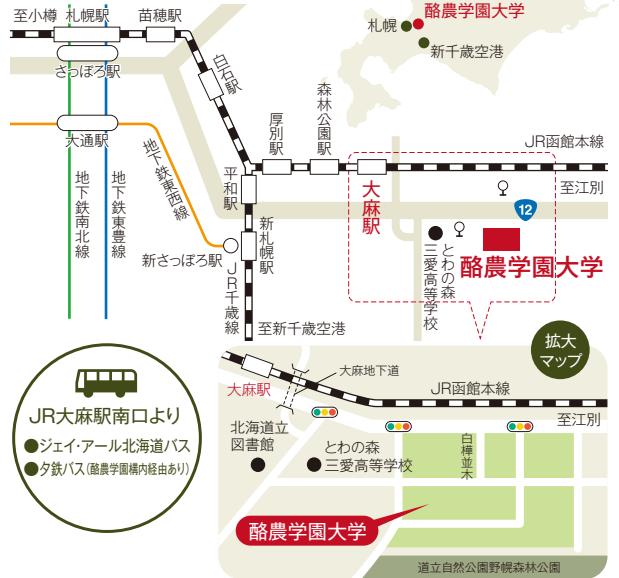
L
作物生産ステーション
詳しくは22ページをご覧ください



K
D1号館

ACCESS

JR札幌駅から5駅
乗車約15分



酪農学園大学は、2020年度公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において、大学評価基準に適合していると認証されました。

酪農学園大学公式サイト



酪農学園大学受験生専用サイト



公式Facebook



公式LINE



公式Instagram



公式Twitter



酪農学園大学への主な交通機関

(1) 全国主要空港から

- 仙台空港～新千歳空港 (約70分)
- 羽田空港～新千歳空港 (約95分)
- 中部国際空港～新千歳空港 (約105分)
- 伊丹空港～新千歳空港 (約105分)
- 福岡空港～新千歳空港 (約135分)

(2) 新千歳空港から

空港地下のJR新千歳空港駅から「快速エアポート」で

- JR札幌駅 (約40分) 下車→(3) 参照
- JR新札幌駅 (約30分) 下車→(4) 参照

(3) JR札幌駅・札幌市営地下鉄さっぽろ駅から

- JR札幌駅から函館本線江別・岩見沢方面行き「普通列車」に乗りし (約15分) JR大森駅下車→大森駅南口から徒歩約15分
- 札幌市営地下鉄さっぽろ駅から南北線真駒内方面行きに乗りし (約2分) 大通駅下車→東西線新さっぽろ方面行きに乗りし (約19分) 新さっぽろ駅下車→(4) 参照

(4) JR新札幌駅・札幌市営地下鉄新さっぽろ駅から

- バス会社：ジェイ・アール北海道バス
下車停留所：酪農学園前 (国道12号沿いのバス停)
新札幌バスターミナル・北レーン10番乗り場より下記のバスにご乗車ください。
[新25] 行先/ゆめみ野東町
[新26] 行先/野幌駅北口・江別駅
[新27] 行先/江別市立病院
[新29] 行先/情報大学前・野幌運動公園
※乗車時間は約15分。下車後、徒歩約10分にて本学に到着。
- バス会社：夕鉄バス
下車停留所：酪農学園前 (構内) (本学敷地内のバス停)
新札幌バスターミナル・北レーン12番乗り場より下記のバスにご乗車ください。
[札幌線] 行先/あけぼの団地昭光福祉会前
[札幌代行線] 行先/南幌東町
※乗車時間は約15分。
- バス会社：夕鉄バス
下車停留所：酪農学園前 (国道12号沿いのバス停)
新札幌バスターミナル・北レーン12番乗り場より下記のバスにご乗車ください。
[札幌代行線] 行先/栗山駅前
※乗車時間は約15分。下車後、徒歩約10分にて本学に到着。



- 農食環境学群 (循環農学類) (食と健康学類) (環境共生学類)
- 獣医学群 (獣医学類) (獣医保健看護学類)
- 大学院 (獣医学研究科) (酪農学研究科)

<https://www.rakuno.ac.jp>

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

入試広報センター

TEL (011) 388-4138 FAX 0120-771-663

FAX (011) 386-1220

【障がいのある方への支援について】 受験や就学については、事前にご相談ください。

酪農学園大学では、健康増進法の第25条に受動喫煙防止が規定されたことを受け、教育・研究・医療機関としての法の精神に鑑みて、2011年4月1日から敷地内を全面禁煙としています。

2021年度からの新カリキュラム移行や研究室ユニット化に伴い、大学案内冊子内において、授業名や研究室名の一部が旧名称での表記となっております。また、掲載写真の一部は新型コロナウイルス感染拡大以前に撮影したものを使用しております。